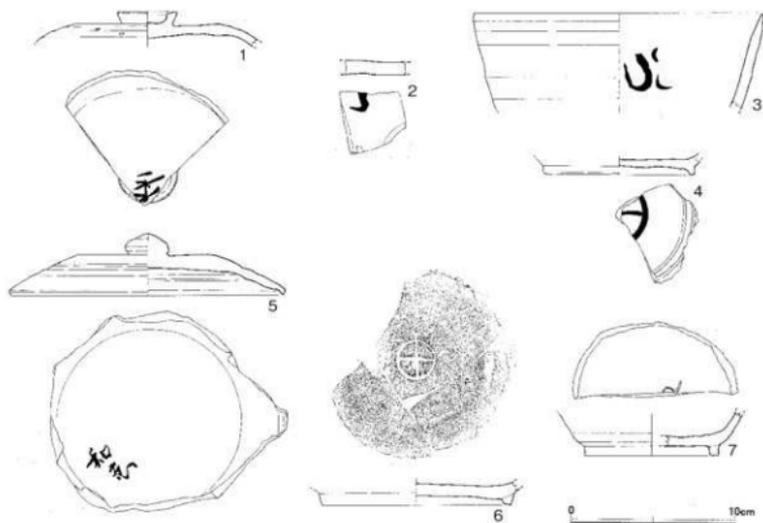


第3表 出雲国府跡地区別現出土点数

地区	調査区	定形硯	転用硯	計
宮の後	A区	9	36	45
	B区	4	10	14
	C区	13	31	44
	J区	1	4	5
	環境整備事業 東西復元溝	2	3	5
	環境整備事業 南北復元溝	0	2	2
	2006年度第46トレンチ	1	0	1
	2007年度調査	5	2	7
	小計	35	88	123
大舎原	1999～2004年度	18	78	96
	地区南の水路1981年採集	1	0	1
	小計	19	78	97
六所脇		1	2	3
一貴尻		9	7	16
日岸田		12	5	17
樋ノ口		2	1	3
	不明	3	8	11
	総計	81	189	270



第74図 宮の後地区出土墨書・刻書土器実測図 (S=1:3)

器である。高台付き坏で底部内面に「山」とある。玉湯町湯峠窯産と考えられる（島根県2003）。底部は静止糸切りである。7は宮の後A区出土の刻書土器である。須恵器高台付きの坏で底部内面に刻書があるが判読できない。（問野）

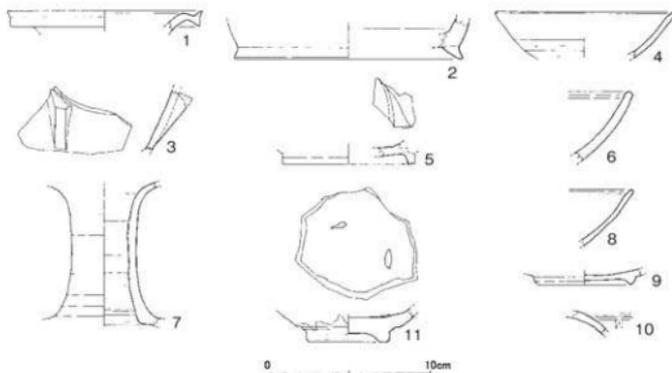
#### （4）木簡・和同開珎（第73図）

近藤正氏の調査日誌を確認した結果、出土地点が特定できた。和同開珎（5-155-2）はCK19の土坑、SK116から出土している。この土坑はSD005の北肩に重複し、切り合いからSD005より新しい。土坑の埋土は灰褐色粘土で、底に「桜わだの植物質」が堆積していた。遺物は須恵器皿（5-115-1）、製塩土器（同2）、「官」の墨書がある須恵器坏（同5）が出土している。

木簡は全部で12点が出土している。これまで、1号木簡（「大原評 口磯部 安□×」がSD004、2号木簡「進上兵士財□□」がSD034、3号木簡「□マニ百代」がSD005から出土したことが分かっていた（松江市1970・池田1996）。今回、1970年11月24日の日誌に、2号木簡と並んで4号木簡の略図が書かれていたことから、4号木簡（墨痕あり）もSD034から出土したことがわかった。また、近藤正氏の2号木簡の略図には、裏面にも「○○所○」と書かれている<sup>11)</sup>。これは、兵士を進上した先の「所」を記したものか、あるいは「進上所如件」のような文言の一部を示している可能性がある。さらに、同年11月17日の日誌にSD005のCJ21、同18日・19日にCJ20～CJ19グリッドからも木簡が出土したと記載されている。これらは出土地点が特定できていない木簡8点を示している可能性がある。（問野）

#### （5）陶磁器（第75図・第42表）

1～3は灰軸陶器である。1は壺で口縁端部に稜をもつ。2は短頸壺の底部である。底部に高台が付く。3は壺の肩部で耳が付く。9世紀後半以降の所産である<sup>12)</sup>。4は灰軸陶器。小碗で、外面下半は回転ヘラケズリ調整している。5～7は緑軸陶器である。5は高台付き坏である。見込みに凹線がみられる。6は器種不明である。口縁端部が肥厚している。7は瓶の水注である。頸部内外面が施軸される。美濃もしくは狼投窯産である<sup>13)</sup>。8は黒色土器である。内面が黒化処理されている。9～10は白磁である。9は皿の底部で高台が付く。10は蓋かと思われる。外面に2条の沈線、その



第75図 1968～1970年度調査出土陶磁器実測図（S=1：3）

下にクシ描き文がはいる。11は肥前陶器の皿である。内外面に灰釉がかかり、底部は無釉でケズリ出し高台が付く。高台の付け根には筋掘り状の沈線がはいる。見込みに胎土目が二つ残る。(間野)

## 第2節 瓦類

### (1) 出土状況 (第76図、第85図～第86図、第4表～第5表)

1968～1970年度の調査で出土した瓦類はコンテナ約150箱、総重量約1.2<sup>ト</sup>である。数量を地区別(5-72)にみると、調査面積が広いこともあるが、宮の後A区とC区が最も多く、次に多いのが六所脇地区である(第5表)<sup>(4)</sup>。軒瓦は、地区のなかでも分布に偏りがある(第76図)。宮の後地区ではSD010の周辺、SD005からSD027で画された区域、SD034周辺にまとまる。六所脇地区では、I区のSB020の東から東南のグリッドで出土している。平瓦、丸瓦について、出土量の多い宮の後A区、C区の3mグリッドごとの出土量を示した(第85図・第86図)。後方官衙の北を画するSD005、国司館の南を画するSD034の周辺で多く出土している。とくにCJ19グリッドでは、瓦溜まりが検出されており、まとまった量出土したことがわかる<sup>(5)</sup>。

### (2) 軒瓦 (第77図～第84図)

1968～1970年度を含む既往の調査で出土した軒瓦は全部で103点ある。そのうち軒丸瓦は97点、軒平瓦は4点である。軒平瓦は非常に少ない。軒丸瓦は、いずれも出雲国文寺と同范である。出雲国分寺の分類(山本1991)で、2類が最も多く38点、次に多いのが3類で19点である。創建期の1類はわずかに1点しか出土していない。これを地区別に集計したのが第4表である。宮の後地区はC区北端を東西に走るSD034から北が国司館の区画となることから、後方官衙(曹司)と国司館に整理

第4表 出雲国府跡軒瓦等の出土点数一覧

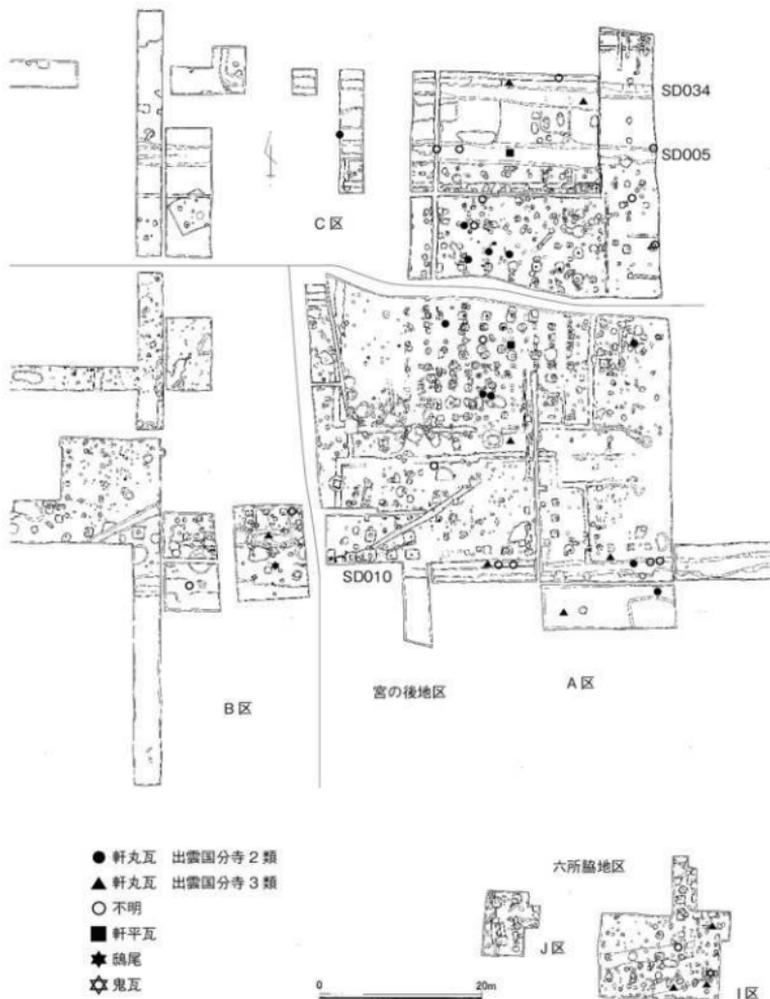
分類は山本1991による

地区名	年度	区	軒丸瓦					軒平瓦				鴉尾	鬼瓦	計
			国分寺1類	2類	3類	不明	丸瓦部	1類	2類	3類	不明			
六所脇	1970	I・J			3	1	3						1	8
	2006	T 4 7		1	1									2
	2007	T 4 9			2	1								3
小計				1	6	2	3	0				0	1	13
宮の後	1968～1970	A		6	4		10				1			21
		B			1	1	2					1		5
		C		5	3	3	6				1			18
		不明				1	4							5
	1972～1974 環境整備事業	東西復元溝									2			2
		南北復元溝			1									1
		北側築瓦溝		1			1							2
		不明		2										2
		2004	T 3 8		1									1
		2006	T 4 6		1									1
2007			5	1	4	2							12	
小計				21	10	9	25	0	0	0	4	1	0	70
大倉原	1999～2004		1	12	2		1							16
大倉原か	1981採集			2										2
小計				14	2	0	1	0				0	0	18
一貫尻	2003			1						1				2
堂田	2006				1						1			2
総計			1	38	19	10	29	0	0	1	5	1	1	105

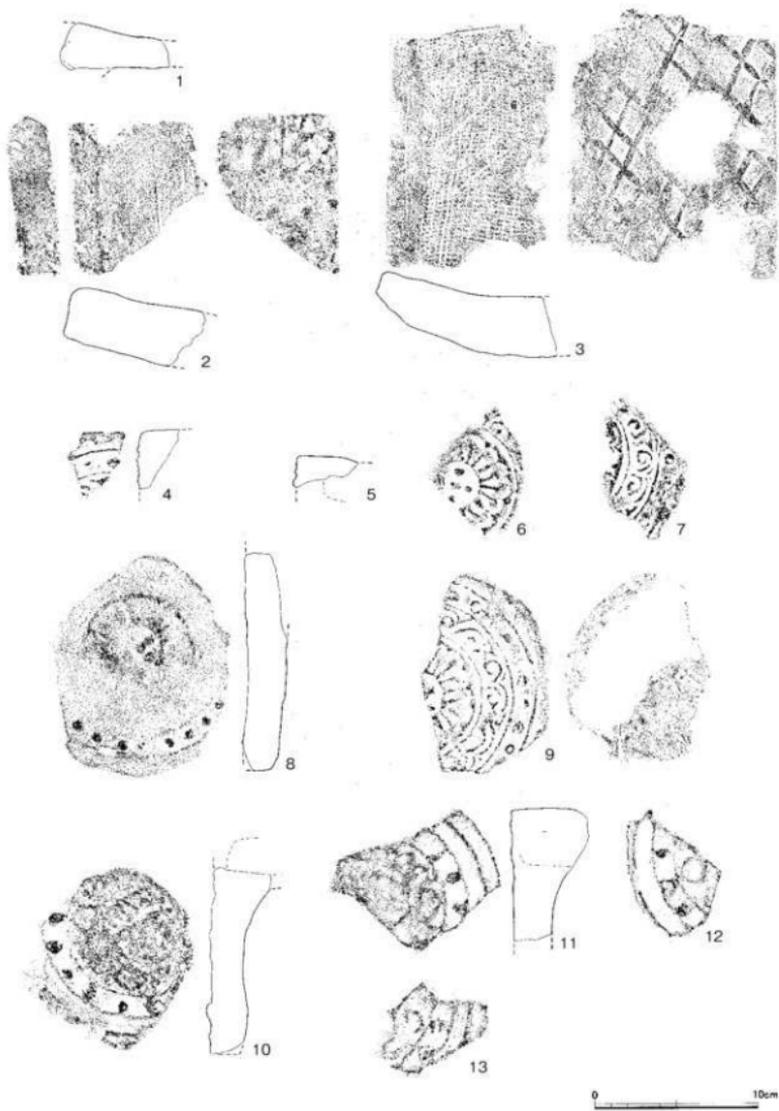
地区名	軒丸瓦					軒平瓦				
	国分寺1類	2類	3類	4類	不明	丸瓦部	1類	2類	3類	不明
六所脇(政府)	0	1	6	0	2	3	0	0	0	1
宮の後(曹司)	0	11	9	0	4	18	0	0	0	4
大倉原・一貫尻(館)	1	21	3	0	3	4	0	0	1	0

した(第4表下)。大舎原地区・一貫尻地区(国司館)は軒丸瓦2類が圧倒的に多い。これに対して宮の後地区(後方官衙)は、2類と3類がほぼ同じ点数となり、六所脇地区(政庁)は3類が圧倒的に多くなる。各地区の施設群の整備された時期、変遷を示しているものと考えられる。六所脇地区については調査面積も狭く、出土した破片も小さいことから、軒瓦のみで分析することは難しい。

**軒丸瓦** 完形品は1点もなく瓦当部も欠失したものが多く。出雲国分寺1類は焼成が良好であるのに対し、2～3類は焼きが甘いという特徴がある<sup>6)</sup>。丸瓦部だけの破片も1類と2～3類に分類で



第76図 1968～1970年度調査軒瓦出土地点 (S=1:600)

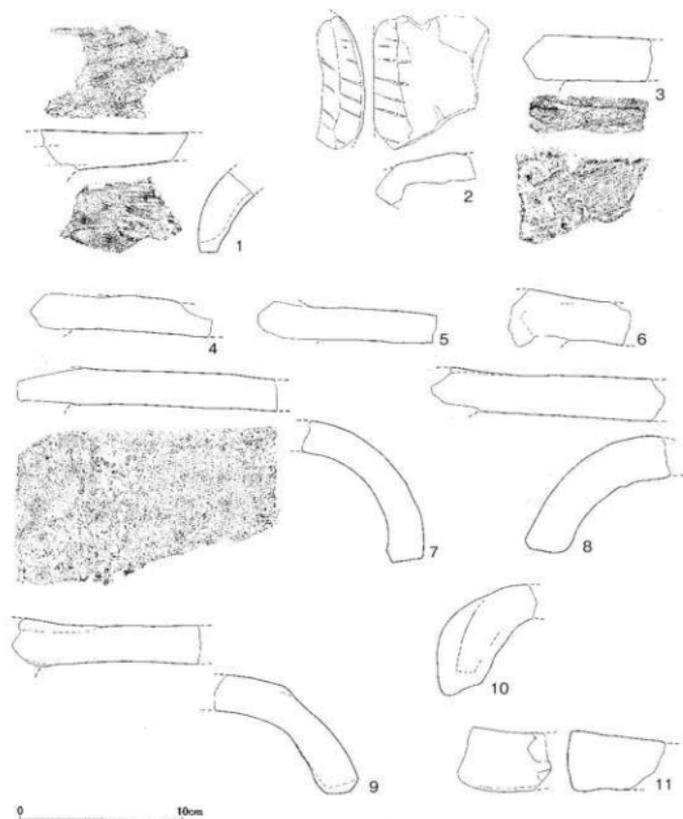


第77圖 1968~1970年度調査出土軒瓦実測図(1)(S=1:3)

きた。丸瓦部の刻みの形態などの観察結果を中心に記述する。

出雲国分寺1類 瓦当部は1-123-37の1点のみである(図版25)。瓦当上部部の小破片で珠文が4つ残る。珠文の間隔は0.3~0.7cmと密である。裏面には丸瓦部先端の刻みに対応する突線が2条ある。1.4cm間隔で平行にあり長さは2.8cmである。周縁は面取りされている。1類の丸瓦部と考えられるものが第78図1、第79図1、第81図1である。焼成は須恵質で硬い。先端に刻みがはいる。刻みは×状に引くものと平行線のものの2種類あるが、どちらも線は長い。

出雲国分寺2類・3類 丸瓦部との接合が確認できたものは、すべて瓦当背面に半円状の溝を掘り、はめ込む「印籠つき法」である。丸瓦部先端に刻みのはいるものがある(第78図2、第82図1、2-56-43)。丸瓦部先端を凹凸面とも先端に向けて斜めにケズリ、そこに刻みをいれている。ノ字状ないし平行する線を数条いれるが長さは短い。2-56-43は凹面側は先端から30cm前後まで長く引か



第78図 1968~1970年度調査出土軒瓦実測図(2)(S=1:3)

れている。こうした刻みのはいる丸瓦部が2類・3類のいずれかは不明である<sup>7)</sup>。

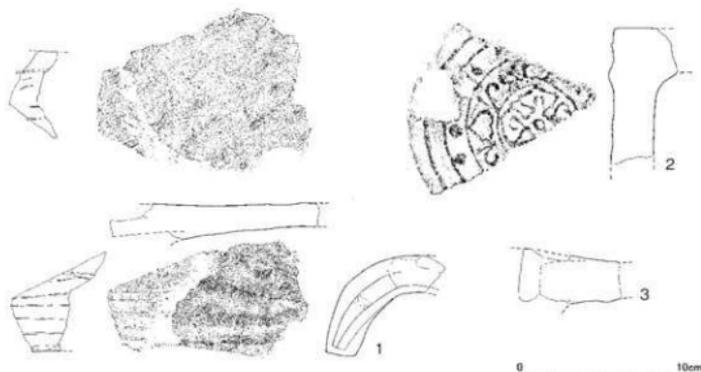
**軒平瓦** 非常に点数が少ない。出雲国分寺1・2類は1点もなく、3類が1点のみ出土している。出雲国分寺3類 3-31-2は瓦当面の文様を格子タタキとする<sup>8)</sup>。額は直線額である。凸面は格子タタキし、凹面は瓦当部際をヘラケズリする。須恵質で焼きは硬い(図版24)。出雲国分寺瓦窯跡(岡崎1979図4-3)や出雲国分寺僧坊北西のT13で検出されたSD10からも出土している(松江市2004第40図183、第41図184)。このほかに直線額で瓦当部の文様が不明なもの(5-30-146、第78図11)や平瓦部(第77図2・3、第83図1)も出土している。

以下に1968～1970年度調査で出土した軒瓦を地区別に記述する。

一貫尻地区(第77図1～3) 1は軒丸瓦の丸瓦部である。先端は楔形にし凹凸面に粘土を補充している。2と3は軒平瓦の平瓦部である。焼きは2が須恵質で硬く、3はやや甘い。厚さは3.7～3.8cm前後ある。凸面成形は格子タタキで、2は離れ砂を用いている。凹面は細線のみヘラケズリし、他は布目を残している。

宮の後A区(第77図4～13、第78図1～11) 第77図4～10は出雲国分寺2類、11～13は同3類である。いずれも焼きは甘い。4(5-156-4)は唐草文帯と外区の珠文帯が残る。8は瓦当面が摩滅している。9は瓦当裏面に丸瓦部を接合する溝が掘られている。10と11は瓦当面が磨滅するが唐草文帯と珠文帯がみえる。12と13は小破片で唐草文帯と珠文帯が残存している。第78図1～10は丸瓦部である。1は須恵質の硬い焼成で、そのほかは焼きは甘い。1は凹凸面に粘土を補充し縦方向に強くナデている。2は凹凸面先端を幅1.5～2.3cm斜めに面取りする。凹凸両面に幅0.5～2.0cm間隔で刻みをいれる。刻みは凸面側はほぼ平行に、凹面側は斜めにはいる。先端が残っているものは、いずれも凹凸面先端を斜めに面取りしている。11は軒平瓦である。瓦当面はナデ調整する。文様は確認できない。瓦当側面はナデ調整し、平瓦部凸面は布目を残したままである。

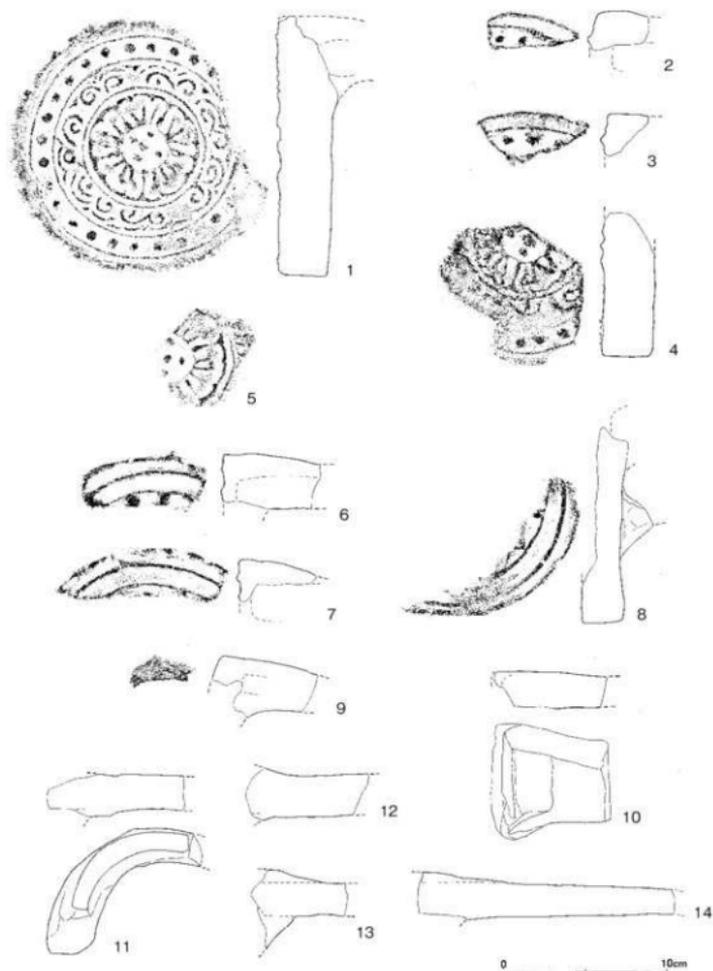
宮の後B区(第79図1～3) すべて軒丸瓦である。1は丸瓦部である。須恵質で硬い。厚さ1.0cm前後と薄手である。凹凸面に粘土を補充し強くナデている。先端部の凹凸面に刻みをいれている。凸



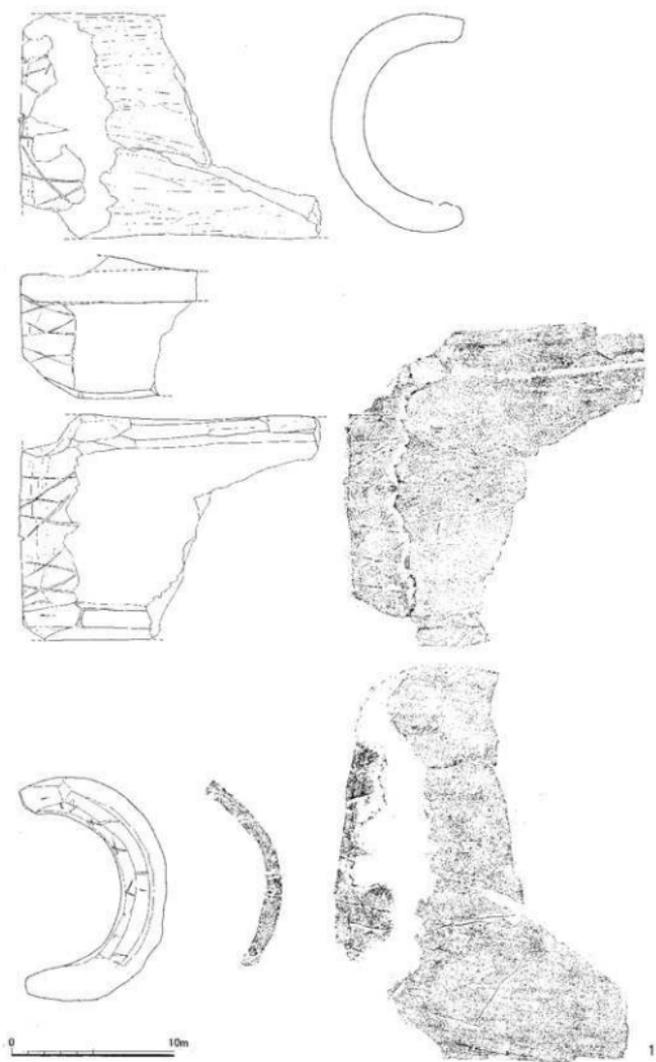
第79図 1968～1970年度調査出土軒瓦実測図(3)(S=1:3)

面の刻みは5本ある。0.6~1.3cm間隔で平行に浅く刻まれる。長さは1.9cm以上ある。凹面の刻みは8本ある。0.6~1.0cm間隔で6本が平行し、2本が斜めに刻まれる。深くしつかりとした刻みである。長さは4.0cm以上ある。2は出雲国分寺3類である。焼成はあまく軟質である。中房、変形唐草文帯がめぐる。外区は珠文帯の外に界線が1条めぐる。3(5-156-8)は丸瓦部である。焼きは甘い。凸面の補強粘土が剥がれた部分で、丸瓦部の刻みが1.1cm間隔で3条みえる。

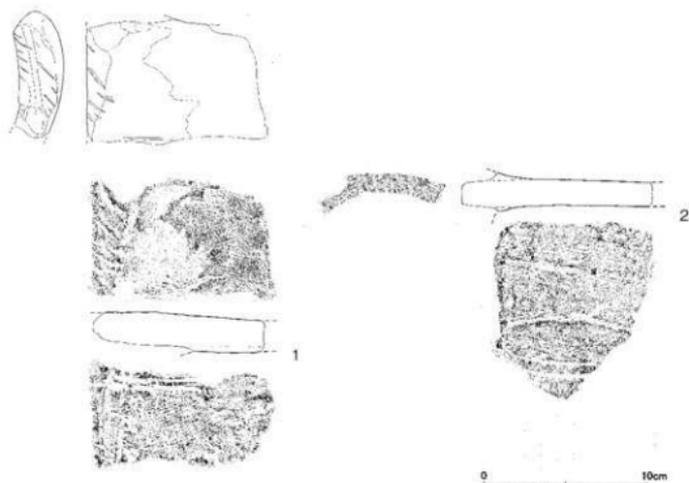
宮の後C区(第80図1~14、第81図1、第82図1~2、第83図1) 第80図1~5は出雲国分寺2



第80図 1968~1970年度調査出土軒瓦実測図(4)(S=1:3)

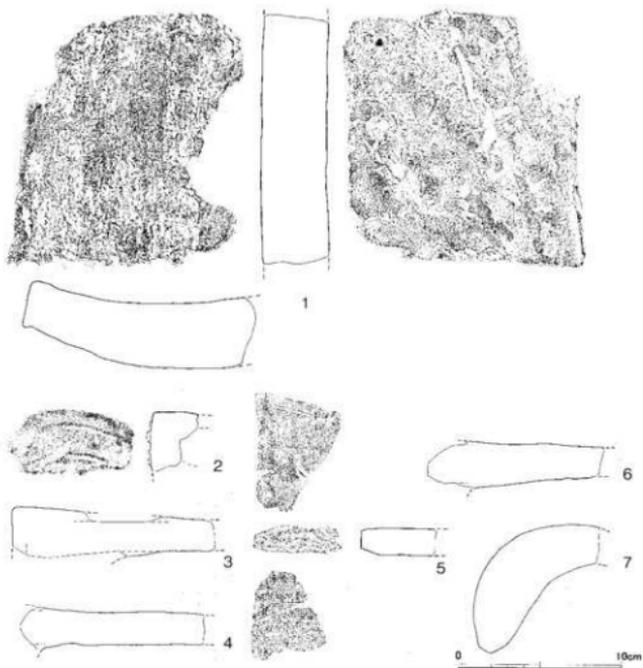


第81圖 1968~1970年度調査出土軒瓦実測図(5)(S=1:3)

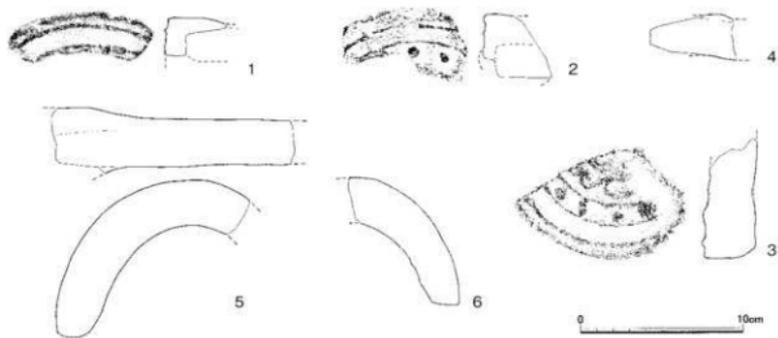


第82図 1968～1970年度調査出土軒瓦実測図(6) (S=1:3)

類、6～8は同3類である。1(5-156-1)は瓦当部がほぼ残っている。瓦当面の径は160cmある。中房はくほみ1+4の蓮子があり、その周囲を5葉の複弁、唐草文帯が巡る。外区は珠文帯が巡り、周縁は無文で平縁である。2と3は珠文帯と無文の周縁部の破片である。4は瓦当下半の一部である。中房と花弁、珠文帯、無文の周縁部が残っている。5(5-156-9)は中房、花弁、珠文帯の一部が残る。6と7(5-156-13)は瓦当上端の外区が一部残る。珠文帯のまわりに界線1条があり、周縁部は無文である。8(5-156-13)は瓦当面が大きく剥離している。外区の珠文帯とまわりの界線1条、無文の周縁がみえる。9(5-156-5)は瓦当面が欠失している。凹凸面は粘土を貼り付け、凸面を強くナデている。第80図10～14、第81図1は丸瓦部である。10～14は焼きが甘い。11は先端部の凸面側のみ、13は両面を斜めにケズリ、尖らせている。第81図1は須恵質の硬い焼きである。筒部幅13.6cm、丸瓦部先端は厚さ1.7cmである。凸面には厚さ0.9cmの補強粘土が残る。丸瓦部の先端は端面から側面を斜めにおとす。凹凸面も先端に向けて僅かに尖る。端面と凹凸面先端には刻みをいれる。端面には4箇所刻みがある。凹面は端面に対して1.0～2.9cm間隔で直行する8条と、1.8～2.3cm間隔で斜行する5条の線がはいる。両者が交差して×状になるところもある。交点の切り合いをみると、斜めの線があとから刻まれている。刻みの長さは端面から3.7cm以上である。凸面は9条の線がみられる。凹面と同じように直行する線と斜行する線、両者が交わるものが見られるが、凹面に比べて規則的ではない。斜め線をあとから引くのは凹面と同じである。線は中心から右が深く、左は浅い。凸面は強いナデ調整でタケ目を消している。凹面側先端はヨコ方向にケズリ、補強粘土の貼り付け後にナデ調整する。側縁近くに布の綴じ合わせ痕がみられる。第82図1・2とも焼きはあまい。1は先端部凹凸面を幅1.5cm前後ケズリ尖らせる。凸面の刻みは0.3～1.0cm間隔で6本いれる。刻みはノ字にいれ長さ0.5～2.0cmまでである。凹面の刻みは0.5cm間隔で6本いれる。長さは1.0～2.0cmまでである。2は先端部を尖らせていない。凹凸面に補強粘土が貼りつけてある。第83図1(5-



第83図 1968~1970年度調査出土軒瓦実測図(7)(S=1:3)



第84図 1968~1970年度調査出土軒瓦実測図(8)(S=1:3)

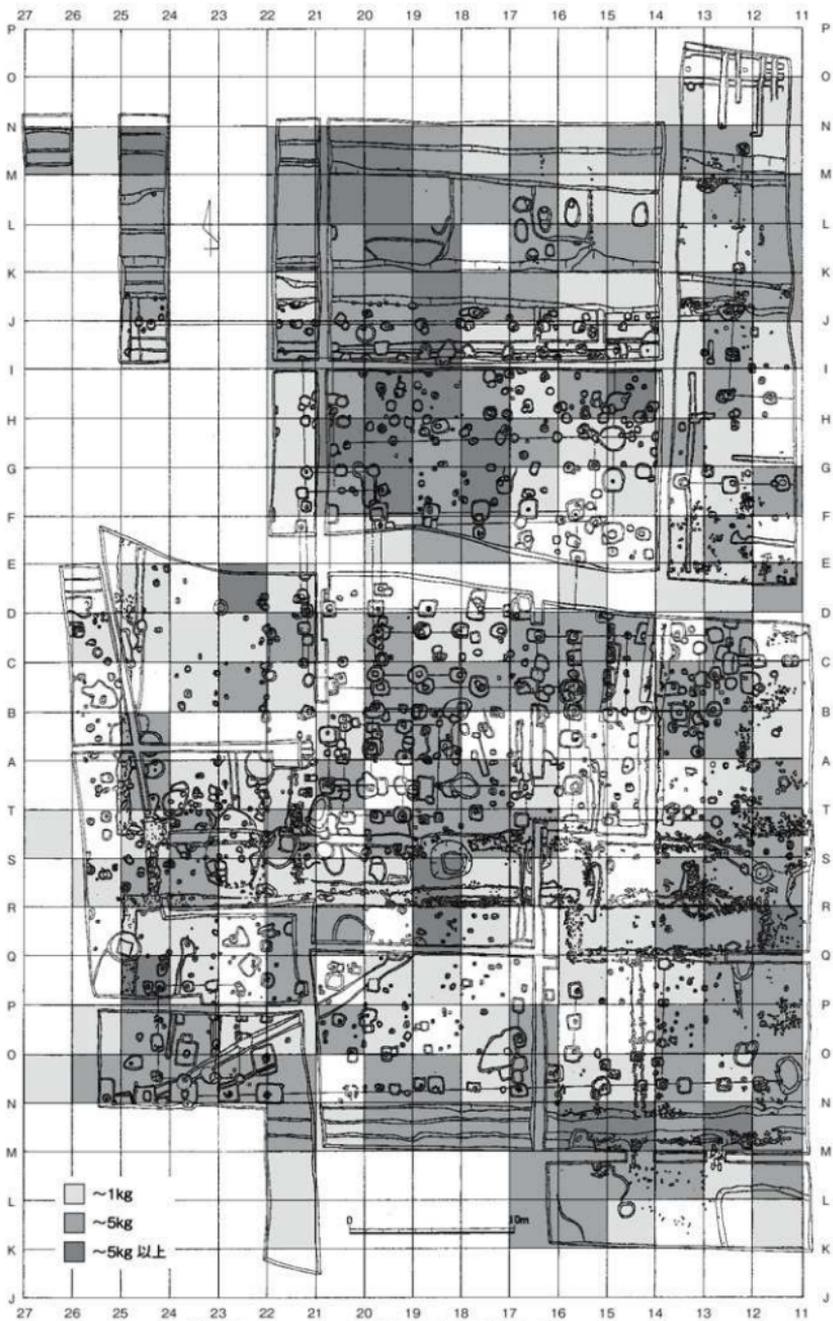
第5表 瓦類1968~1970年度調査区別分布

【破片数:点】

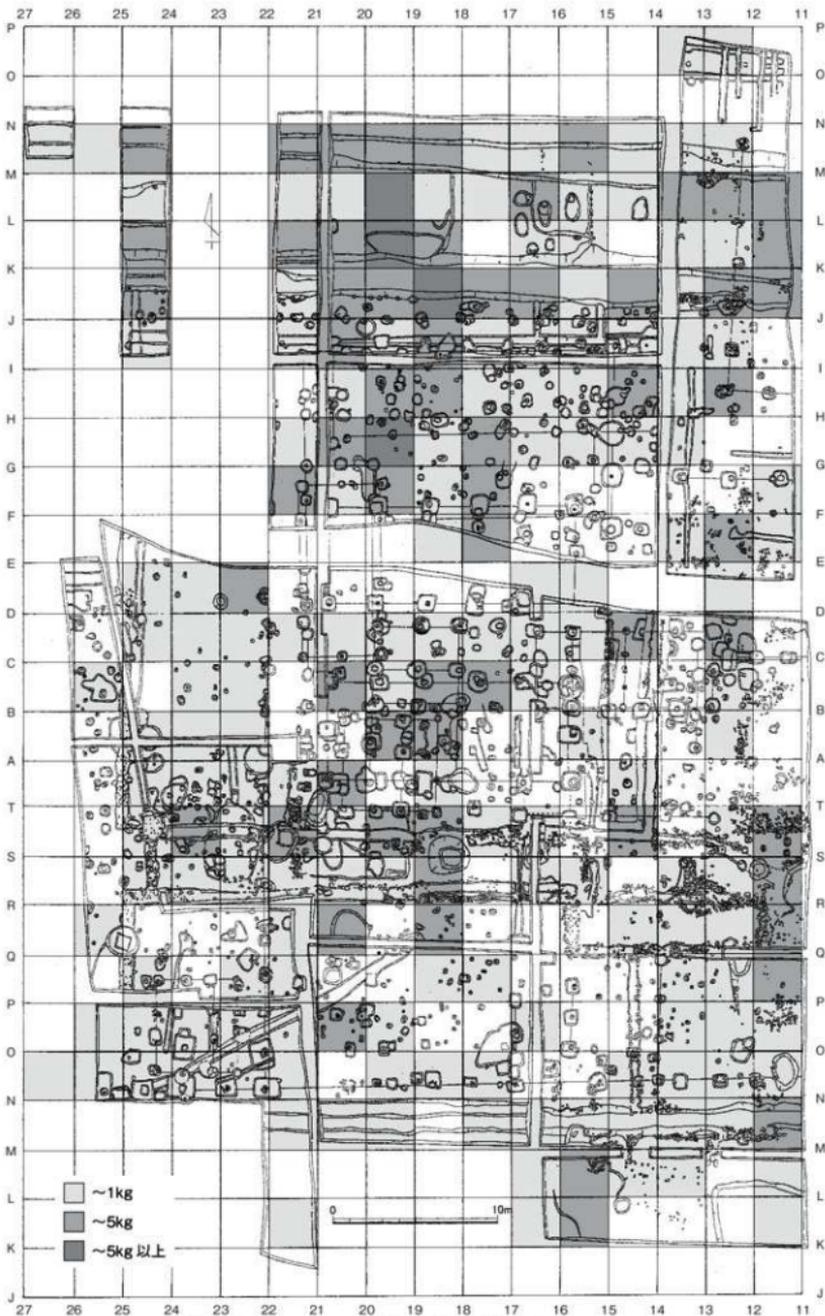
地区名		宮の後					六所脇		一貫尻	樋ノ口	不明	計	
		A	B	C	D	6XIQ-J	I	J					
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	16	11	12	1	1	0	0	0	0	2	43
	1枚	縄タタキ1	104	76	542	7	26	17	12	17	3	83	887
		縄タタキ2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	1枚	格子タタキ	395	65	476	8	12	81	37	74	0	164	1,312
		平行タタキ	9	1	13	0	3	2	2	2	0	3	35
		ケスリ・ナデ	92	7	23	1	1	0	0	0	0	8	132
1枚	タタキ不明	281	53	449	2	17	55	17	42	0	89	1,005	
小計		898	214	1,517	19	60	155	68	135	3	349	3,418	
丸瓦	有段式	A	28	4	55	1	3	4	1	8	1	16	121
		B	11	3	13	0	0	1	0	1	0	3	32
	無段式	57	11	67	0	3	7	0	2	0	20	167	
	不明	358	96	761	10	47	75	32	40	0	216	1,635	
小計		454	114	896	11	53	87	33	51	1	255	1,955	
道具瓦	1枚	製斗瓦	10	1	4	0	1	22	7	0	0	13	58
		埴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		鴝尾	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		隅切平瓦	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
		鬼瓦	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		不明道具瓦	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
小計		11	2	6	0	1	24	8	0	0	13	65	
不明		156	42	296	5	19	20	11	17	1	0	567	

【重量:kg】

地区名		宮の後					六所脇		一貫尻	樋ノ口	不明	計	
		A	B	C	D	6XIQ-J	I	J					
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	6,190	2,330	4,150	300	180	0	0	0	0	910	14,060
	1枚	縄タタキ1	56,570	15,120	114,020	1,110	5,590	3,870	2,070	3,060	380	17,490	219,280
		縄タタキ2	390	320	590	0	0	0	0	0	0	0	1,300
	1枚	格子タタキ	118,640	23,840	132,090	1,540	3,490	21,300	9,470	15,280	0	45,120	370,020
		平行タタキ	2,620	270	4,000	0	440	340	300	3,060	0	1,070	12,100
		ケスリ・ナデ	16,170	1,030	5,210	180	120	0	0	0	0	1,660	24,370
1枚	タタキ不明	54,580	10,020	74,650	320	2,600	10,550	2,810	6,560	0	15,350	177,440	
小計		255,160	52,930	334,710	3,450	12,420	36,060	14,650	27,960	380	81,600	818,570	
丸瓦	有段式	A	5,470	350	9,450	60	480	370	260	1,260	50	2,500	20,250
		B	2,590	190	1,470	0	0	100	0	150	0	460	4,960
	無段式	16,870	3,700	22,490	0	640	1,670	0	290	0	3,960	49,620	
	不明	63,030	17,170	134,880	1,460	7,080	11,210	5,720	7,480	0	33,990	282,020	
小計		87,960	21,410	168,290	1,520	8,200	13,350	5,980	9,180	50	40,910	356,850	
道具瓦	1枚	製斗瓦	3,930	240	1,280	0	110	6,300	3,510	0	0	5,700	21,070
		埴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		鴝尾	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	160
		隅切平瓦	960	0	0	0	0	810	0	0	0	0	1,770
		鬼瓦	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	200
		不明道具瓦	0	0	420	0	0	0	200	0	0	0	620
小計		4,890	400	1,700	0	110	7,310	3,710	0	0	5,700	23,820	
不明		11,260	2,910	16,280	190	890	1,360	780	910	40	0	34,620	



第85図 1968~1970年度調査出土平瓦重量分布 (S=1:300)



第86図 1968~1970年度調査出土丸瓦重量分布 (S=1:300)

122-23)は軒平瓦の平瓦部である。焼きはあまい。厚さは4.0cm前後ある。凸面はナデ調整、凹面の調整は摩滅により不明である。

六所脇地区(第84図1～6) いずれもI区からの出土である。1～3は出雲国分寺3類である。1は瓦当上端の外区と周縁部が残る。2は外区珠文帯まで残る。3は瓦当下半部で外区珠文帯と唐草文帯の外に園線1条がはいり、周縁部まで残る。4～6は丸瓦部である。いずれも焼きはあまい。4は先端部凹凸面を斜めにケズリ、尖らせている。刻みはみられない。5は先端が尖らない。凹凸面に補強粘土を貼りつけナデている。凸面側は粘土が厚い。

地区不明(第83図2～7) 2は外区と周縁の一部が残る。出雲国分寺2類である。3は瓦当面は摩滅し文様はみえない。凸面はタテ、凹面はヨコ方向にケズる。5は須恵質の硬い焼きである。先端部は凹面側を幅1.0cm、凸面側を幅0.4cm斜めにケズリ尖らせる。凹凸両面側に浅い線で刻みをいれている。凸面側は2.8～3.0cmの間隔で3条刻む。凹面側は1.8cm間隔で3条刻む。4・6～7の焼成は軟質である。

## (2) 平瓦

分類(第6表、第87図・第88図) 桶巻作りと1枚作りに大別した。さらに1枚作りについては凸面成形を中心にほかの特徴を加えて細分した。

**桶巻き作り平瓦**(第89図) これまで出雲国府からは桶巻き作りと認識できた平瓦はなかった。今回、1968～1970年度調査、1972～1974年度環境整備事業、2002年度樋ノ口地区第32トレンチ、大舎原地区5号溝、2004～2005年度日岸田地区の出土平瓦のなかに桶巻き作りと考えられるものが確認された。桶巻き作りは、以下の特徴から認定した。

- ①凹面に模骨痕がある(全点)
- ②粘土板の合わせ目がある(第89図6)
- ③凹面に布の織じ合わせ目がある(第89図4・5、2-50-38)
- ④側面の角度が内傾している(第60図2、第89図1～4、2-20-6、4-68-7・8)

これらは、凸面成形や凹面仕上げ、色調などの属性から二つに分類される。

**桶巻作り1**(第50図2、第89図1・2・4・6) 焼成は良好である。色調は凸面が灰～灰白色である。胎土中に白色の砂礫を多く含んでいる。凸面成形は縄タタキである。縄が太くタタキ目は深い。凹面の模骨痕をタテ方向のナデで消している。端面、凹面端縁付近はヘラケズりする。

**桶巻作り2**(2-20-6・35・38、4-68-7・8、4-98-6、第80図3・5) 焼成は良好である。色調は赤灰色をしている。凸面成形は縄タタキと平行タタキである。縄は細く、タタキ目が浅い。平行タタキは須恵器甕の平行タタキと良く似ている。凸面だけでなく端面も叩いている。

第89図1は狭端部幅26.2cm、厚さ2.0cm前後である。側縁と端縁はヘラケズりする。3は厚さ1.7cmで端面は肥厚し2.0cmある。凹面側縁は幅1.5cm前後、面取りする。端面も平行タタキする。

**1枚作り平瓦**(第87図～第88図、第90図) 凸面成形は、縄タタキ、格子タタキ、平行タタキ、ナデ・ケズリ・ハケメがみられた。それぞれの比率を破片数でみると格子タタキが最も多く52%、次に縄タタキ40%、ナデなど6%、平行タタキ2%の順となる。格子タタキは出雲国分寺の分類を参考に縄タタキ1～2、格子タタキ1～21に分けた。縄タタキ、平行タタキは詳細な分析ができなかった。なお、分類番号は出雲国分寺、中竹矢遺跡ともアルファベットが使用されている。両遺跡の分類との混乱を避けるためにアラビア数字とした。

縄タタキ（第90図1～3） 縄が細く、タタキ目が浅いもの（第37図1、第55図3、第90図3）で、タタキが交差しているものを縄タタキ2とし、その他は全て縄タタキ1とした。縄タタキ2は出土量が非常に少ない。いずれも焼きが硬く、凹面には模骨痕状の段がある。

第90図1と2は縄タタキ1である。1は状端部幅25.5cmある。焼きはやや甘い。凹面は側縁と端縁を面取りする。そのほかは粗くナデ調整し布目を消している。2は軒平瓦の平瓦部の可能性もある。凸面成形は縄タタキで離れ砂が用いられている。凹面は側縁のみ面取りし、ほかは未調整で布目を残している。3は縄タタキ2である。凹面は未調整で布目を残す。

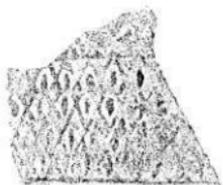
格子タタキ（第87図1～15、第88図16～21） 方形格子、斜格子、長方形格子、菱形格子、変形格子がある。出雲国分寺跡の分類（松江市1995）を参考に格子1～21種まで分類した。各分類ごとに破片数、隅数、重量は地区別にまとめた（第10表～第19表）。格子1・3・5・6・7・10が焼成が良好で、そのほかは甘い。前者は、凹面の端縁と側縁をヘラケズリ調整している。端縁付近を幅広くケズるものも見られる。これに対して、焼成のあまいものは、側縁は無仕上げとするなど、仕上げが異なる。

第6表 一枚作り平瓦の凸面成形による分類

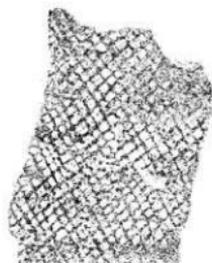
凸面	番号	形態	色調	胎土	焼成	離れ砂	出雲国分寺の分類
格子	1	斜格子。格子細かい	灰～灰白	砂礫少量	硬質	×	KA
	2	菱形格子。格子内部が突出する。一辺2.5cm程度	灰	砂礫多量	軟質	○	KB2
	3	菱形格子。一辺0.5～1.0cm程度	灰～灰白	砂礫少量	硬質	×	KC
	4	方形格子。一辺1.5cm程度	浅黄橙	砂礫少量	軟質	×	KD
	5	方形格子。一辺0.5cm程度のもの	灰	砂礫少量	硬質	×	KE
	6	方形格子。長辺1.5cm×短辺0.2cm程度の縦長の縦長	灰	砂礫少量	硬質	×	KF
	7	横方向の平行線と菱形格子の組み合わせ。平行線の間隔が狭い	灰～浅黄橙	砂礫少量	硬質	○	KG
	8	横方向の平行線と菱形格子の組み合わせ。平行線の間隔が広い	灰白～浅黄橙	砂礫少量	軟質	×	KH
	9	変形格子。「工」もしくは「H」形	灰白	砂礫少量	軟質	×	KI
	10	長方形格子。長辺2.0cm×短辺0.3cm程度の縦長の縦長	灰	砂礫少量	硬質	×	
	11	方形格子。長辺0.7cm×短辺0.1cm程度の縦長の縦長	灰白	砂礫多量	硬質	×	
	12	菱形格子。格子内に縦方向の細かい平行線が入る	淡黄	砂礫多量	軟質	○	
	13	方形格子。一辺2.5cm程度のもの。圏線が1.2cm程度と太い	灰白～浅黄橙	砂礫多量	軟質	×	
	14	方形格子。長辺3～4cm×短辺1～2cm程度の縦長の縦長	浅黄橙	砂礫多量	軟質	×	
	15	菱形格子。一辺1.5～2.5cm程度	淡黄	砂礫多量	軟質	×	KB1
	16	方形格子。長辺2.5cm×短辺0.5cm程度の縦長の縦長	灰白	砂礫多量	軟質	×	
	17	菱形格子。長辺3.5cm×短辺2.5cm程度	浅黄橙～灰	砂礫多量	軟質	○	
	18	斜格子。長辺2.5×短辺1.5cm程度	灰	砂礫多量	硬質	×	
	19	変形格子。山形状。頂点が突出する	浅黄橙	砂礫少量	軟質	○	
	20	菱形格子。格子内部が突出する。一辺4cm程度	灰～暗灰	砂礫少量	軟質（いり瓦風）	×	
	21	長方形格子。0.5×2.0～3.5cm程度。細長い	灰白	砂礫少量	軟質	×	
縄	1	綱目は太・細あり、タタキも深・浅あり	灰白～浅黄橙	砂礫少量	軟質	×	NA・NB
	2	細かい。タタキ浅い。交差する	橙～赤灰	砂礫少量	硬質	×	
平行			灰	砂礫少量	硬質	×	H
ナデなど		縦方向のナデ、ケズリ	灰白	砂礫少量	軟質	×	



格子タタキ 1 (44-3)



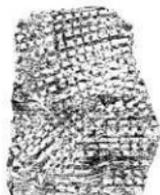
格子タタキ 2 (1-73-15)



格子タタキ 3



格子タタキ 4



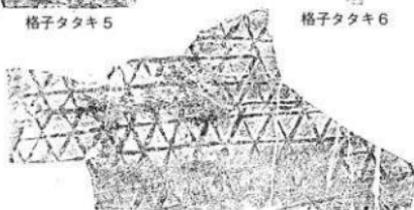
格子タタキ 5



格子タタキ 6



格子タタキ 7



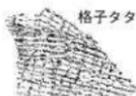
格子タタキ 8 (1-38-16)



格子タタキ 9



格子タタキ 10



格子タタキ 11



格子タタキ 12 (1-40-26)



格子タタキ 13 (1-38-19)



格子タタキ 14 (1-39-24)

平瓦分類 (1)

第87図 平瓦の凸面成形分類 (1) (S=1:4)



格子タタキ 15



格子タタキ 16



格子タタキ 17



格子タタキ 18



格子タタキ 19 (1-40-27)



格子タタキ 21



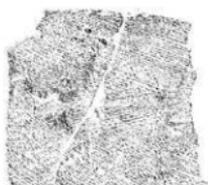
格子タタキ 20



縄タタキ 1 (90-1)



縄タタキ 1 (28-10)



縄タタキ 2 (55-3)



平行タタキ (1-73-18)



ナデ・ケズリ (90-4)



桶巻き作り  
平行タタキ・縄タタキ (2-20-6)

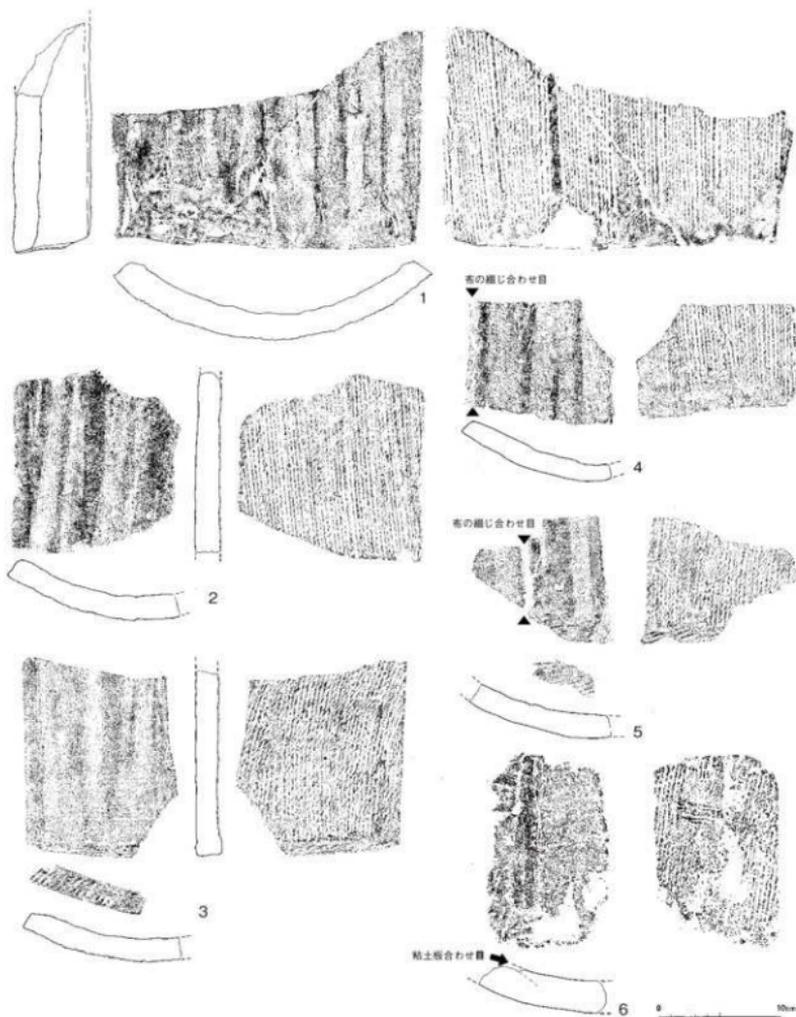


桶巻き作り  
縄タタキ (89-1)

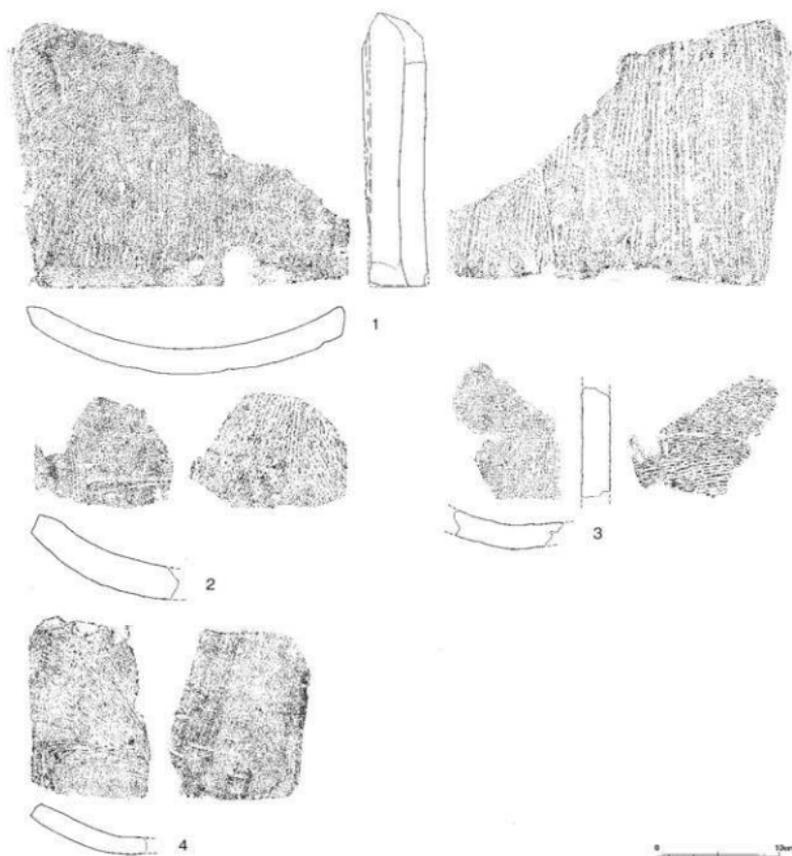
第88図 平瓦の凸面成形分類 (2) (S=1:4)

平行タタキ（第88図） 1-73-13など須恵質で焼きの硬いものがほとんどである。凹面は側縁、端縁をヘラケズリする。端縁部付近を広くケズっているものもみられる。

そのほか（第90図4） 凸面をケズリ、ナデ、ハケメなどで調整する。凹面は布目を残していない。焼きは甘い。第90図4は、灰～灰白色をし、薄手の作りである。凸面はタテ方向にナデ調整する。



第89図 1968～1970年度調査出土平瓦実測図（1）（S=1：4）



第90図 1968~1970年度調査出土平瓦実測図(2)(S=1:4)

凹面は側縁、端縁を粗くナデるが、全面に糸切り痕を残している。

### (3) 丸瓦

**有段式丸瓦** 全形のわかる資料は、大舎原地区で出土した1-38-14、1-73-12、1-73-13がある。この3点と共通する特徴をもつものが、中竹矢遺跡から出土しており（鳥根県1993）、中竹矢遺跡の瓦窯で製作されたものと考えられる。これを有段式丸瓦Aとし、それ以外のものを有段式丸瓦Bとした。

有段式丸瓦A 特徴は次のとおりである。

焼成 須恵質で焼きの硬いものが多い

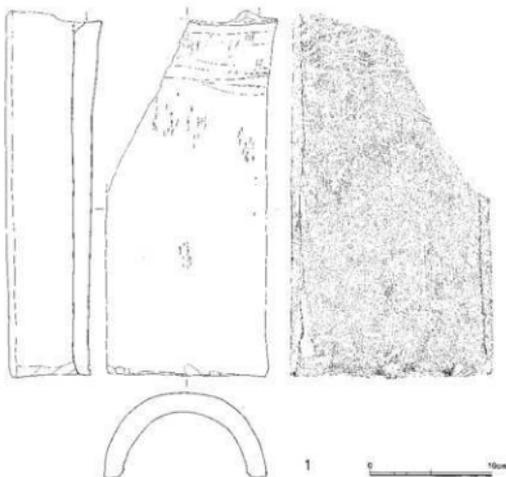
筒部 長さ31.4～33.2cm。凹面側縁、凹面広端縁をケズる。とくに凹面広端縁は幅広く丁寧にケズる（図版29）。凸面側縁、凸面広端縁はケズリ調整するものとしないものがある

段部 玉縁基部と同じあたりか、その前後に付く。段は盛りあがる

玉縁部 長さ4.6～5.7cm。基部高1.0～1.4cm。凹面側縁、端縁をケズる。凸面側縁、端縁はケズるものとケズらないものがある。

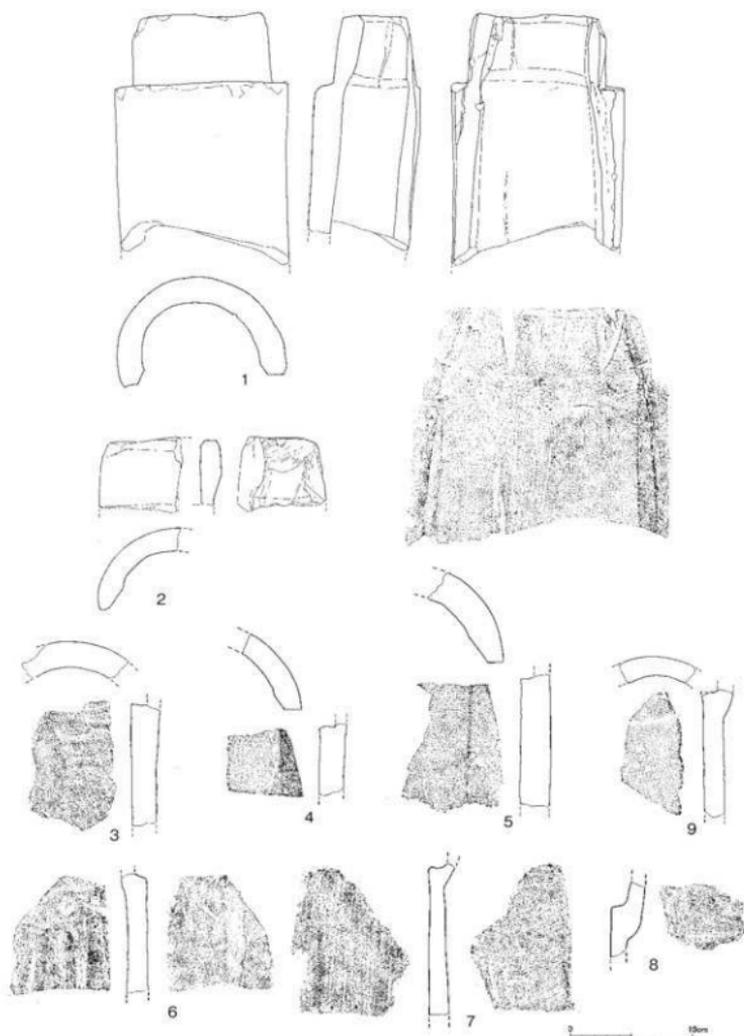
こうした特徴をもつ有段式丸瓦は、出雲国分寺創建期の瓦が一括して出土した僧坊北西瓦溜り（松江市1995）に含まれており、国分寺創建期に組み合うものと考えられる。

第91図1は広端部から玉縁基部まで残る。広端部幅13.2cm、筒部長28.9cm、玉縁基部の高さ1.4cmである。凸面は縄タタキ目をナデ調整で消すが、わずかに残る。凹面は端縁と側縁のみケズリ、ほかは未調整で布目を残している。第92図1は、第81図の軒丸瓦丸瓦部と同じグリッドから出土しており、同一個体の可能性もある。玉縁部から筒部の一部が残る。玉縁部の長さ5.7cm、基部の高さ1.3cm、段部長さ2.4cmである。筒部は幅13.8cmある。筒部は凸面側縁を面取りし、ほかはタテ方向の丁寧なナデ調整とする。凹面は側縁のみ面取りし、ほかは未調整で布目を残す。玉縁部は、凸面凹面側の側



第91図 1968～1970年度調査出土丸瓦実測図(1) (S=1:4)

縁、凹面側の端縁を面取りする。凸面側はヨコ方向のナデ調整とする。2は凹凸面側とも端縁をケズリとし、凹面側はケズリの幅が広い。凹面は側縁もケズる。玉縁部長さ5.3cmである。3は筒部の破片である。凸面はナデ調整、凹面は未調整で布目を残している。玉縁基部の高さ1.3cmである。4は筒部の凹面側縁を面取りする。玉縁基部の高さ1.2cmである。5は筒部の凹面側縁を広く面取りす



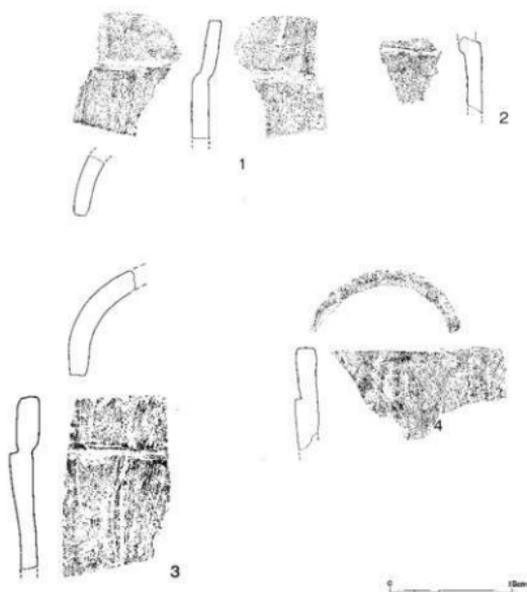
第92図 1968～1970年度調査出土土丸瓦実測図(2)(S=1:4)

る。玉縁基部の高さは1.3cmである。9は色調がにぶい黄橙色をしている。凸面はナデ調整、凹面は未調整で布目を残している。玉縁基部の高さは1.2cm、段部の長さは2.3cmである。

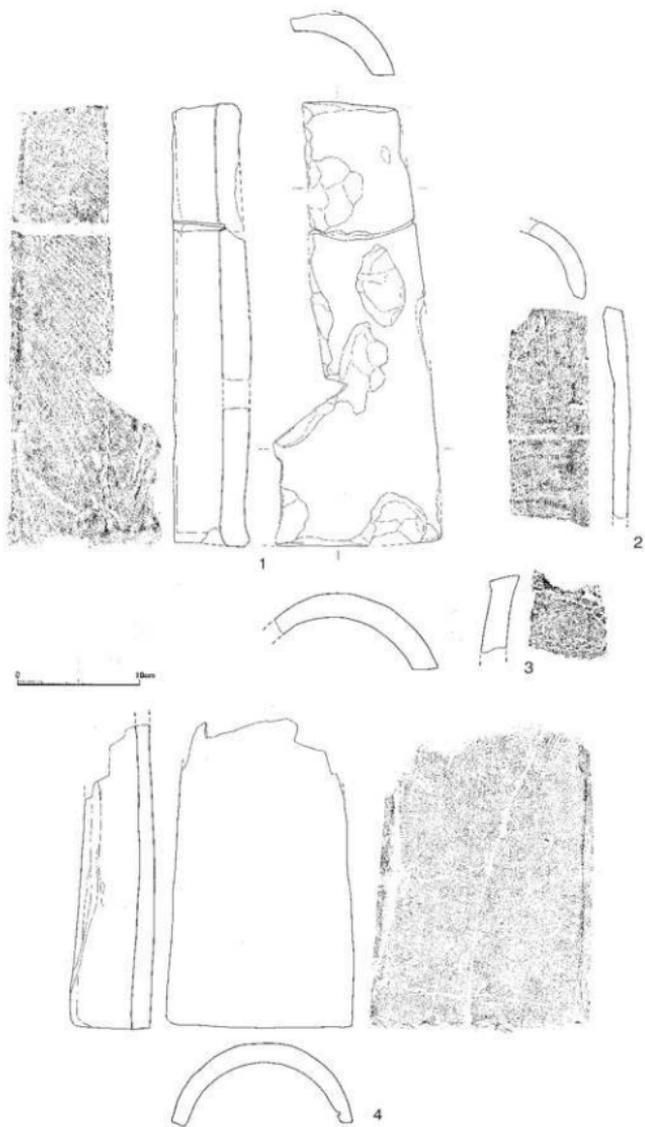
有段式丸瓦B 焼きの甘い一群である。小破片が多く十分な検討はできなかった。今後、分析が必要である。

第92図6はやや焼成があまり。色調は凸面が灰色、凹面が灰白色をしている。凹凸面ともタテ方向のナデ調整とする。玉縁基部はヘラ切りされており平滑な面をもたない。高さは1.0cm、段部長は1.3cmである。7の玉縁基部はナデ調整し窪んでいる。基部の高さは1.0cm、段部の長さは1.7cmである。筒部凸面は縄タキ成形後にナデ調整している。凹面は未調整で布目を残している。8は凸面は風化摩滅し調整は不明である。凹面は未調整で布目を残す。玉縁基部の高さは1.0cm、段部長は3.1cmである。第93図1と2は燻し焼き風のあまい焼成である。1は玉縁部の長さ4.3cm、基部の高さ0.5cmである。基部は垂直でなく、玉縁先端側になだらかになる。凸面はナデ調整、凹面も風化摩滅しているがナデ調整と思われる。2は凹凸面ともナデ調整する。基部高さ0.4cm、段部長は1.0cmである。3は凸面はタテ方向のナデ調整、凹面は糸切り痕を残す。玉縁は、基部を板状工具でケズリ出しており、木目の跡が残る。玉縁部の長さ4.8cm、段部長さ0.2cm、基部の高さ0.5cmである。4は凸面は風化摩滅し調整は不明、凹面は糸切り痕を残し未調整である。端面にも糸切り痕が残る。玉縁基部はヘラ状工具でケズリ出している。玉縁部の長さ4.2cm、基部の高さ0.4cmである。

無段式丸瓦（第94図） 全形のわかる資料は1-38-15、第56図1しかなく、詳細な検討はおこなえ



第93図 1968～1970年度調査出土丸瓦実測図（3）（S=1：4）



第94図 1968~1970年度調査出土土瓦実測図(4) (S=1:4)

なかった。1～3は軟質で焼きはあまい。1は広端部から狭端部まで残っている。幅は広端部が推定16.5cm、狭端部は推定11.1cmである。狭端部から11.0cm先端側のところに幅0.5cm、深さ0.4cmの溝があり、これを境に二つに割れている。内型に巻かれたツル状のひもが当たっていた部分と考えられる。凸面はナデ調整する。凹面は未調整で布目と糸切り痕を残している。2は厚さ1.3cm前後と薄手である。3は狭端面に2～3mm大の砂粒が多数付着している。4は焼成良好で灰～灰白色をしている。厚さ1.5cmと薄手である。広端部幅15.2cmである。凹面は側縁のみ面取りし、ほかは未調整である。布の縦じ合わせ目がみられる。

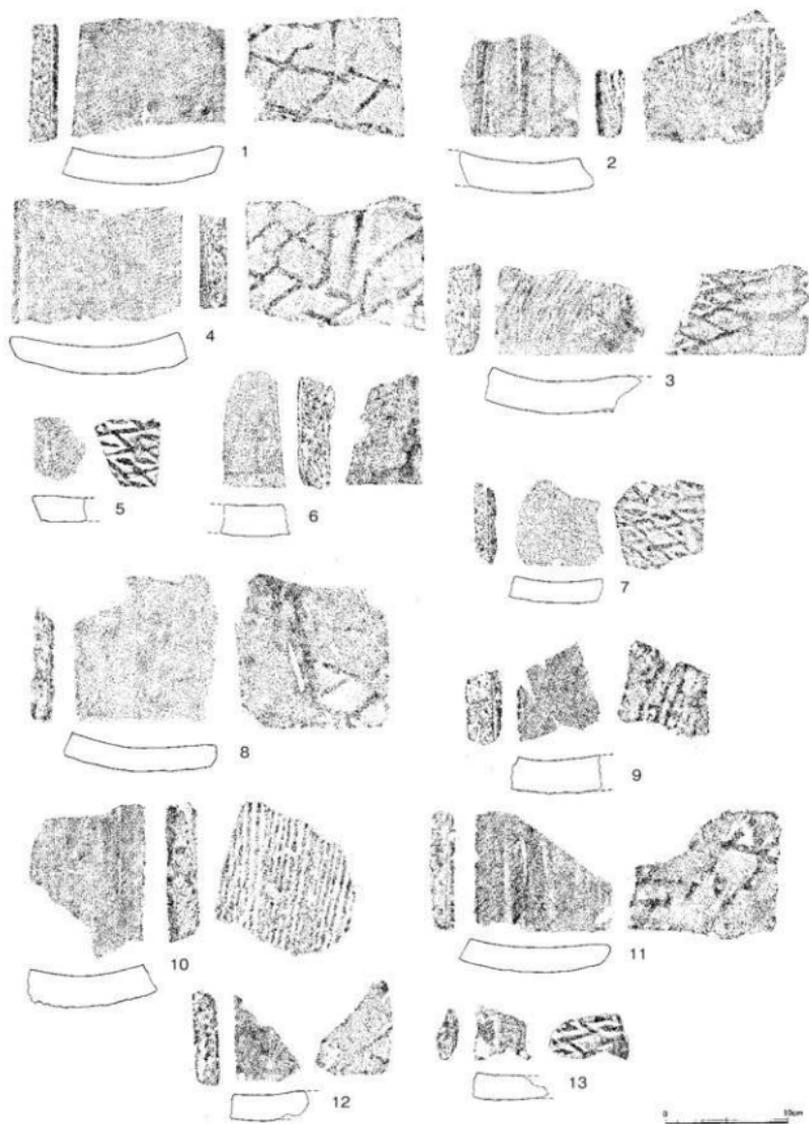
#### (4) 道具瓦 (第95図～第98図)

熨斗瓦 (第95図～第97図) 六所脇地区から最も多く出土している。いずれも平瓦に切りこみを入れて割られた切割熨斗である。狭端部から広端部まで残っているものではなく全て破片である。幅は10.5～13.5cm、厚さは1.7～3.0cmまでみられる。切りこみの深さは0.5～0.7mmがほとんどで、0.3cmと浅いもの、1.3cmと深いものもある。色調が灰白色をした焼成良好なものがほとんどである。第95図6は須恵質で硬く、胎土も5mm大の礫を含んでおり、異質のものである。凸面成形は格子タタキ (分類2、8)、縄タタキ (分類1) がみられる。離れ砂が用いられているものが多い。図はグリッド別に掲げている。第95図1～3はIP09から出土した。凸面成形は1と3が格子タタキで離れ砂がみられる。2は縄タタキである。4と5はIP10から出土した。4は幅13.9cmある。凸面成形は格子タタキで離れ砂がみられる。5は小破片だが、3・13と同一瓦である可能性がある。6はIP13から出土した。凸面はタタキ不明だが、離れ砂が用いられている。凹面側縁は面取りする。胎土に0.5cm大の礫が混ざる。7～10はIQ09から出土した。凸面成形が、7～9は格子タタキ、10は縄タタキである。8と9には離れ砂が用いられている。11と12はIQ10から出土した。凸面成形は格子タタキで、12には離れ砂が用いられている。13はI区だがグリッドは不明である。第96図1はIO09から出土した。凸面成形は格子タタキである。2はIR09灰黒色溝から出土した。凸面成形は縄タタキで離れ砂が用いられている。3はIQ09から出土した。凸面成形は格子タタキで離れ砂が用いられている。第96図4と5、第97図1～5は六所脇J区出土である。第96図4と5はJS18から出土した。凸面成形は格子タタキで離れ砂がみられる。第97図1～3はJR15から出土した。いずれも凸面成形は格子タタキで、1と2には離れ砂が用いられている。4と5はグリッド不明である。どちらも凸面成形は格子タタキで、4には離れ砂がみられる。

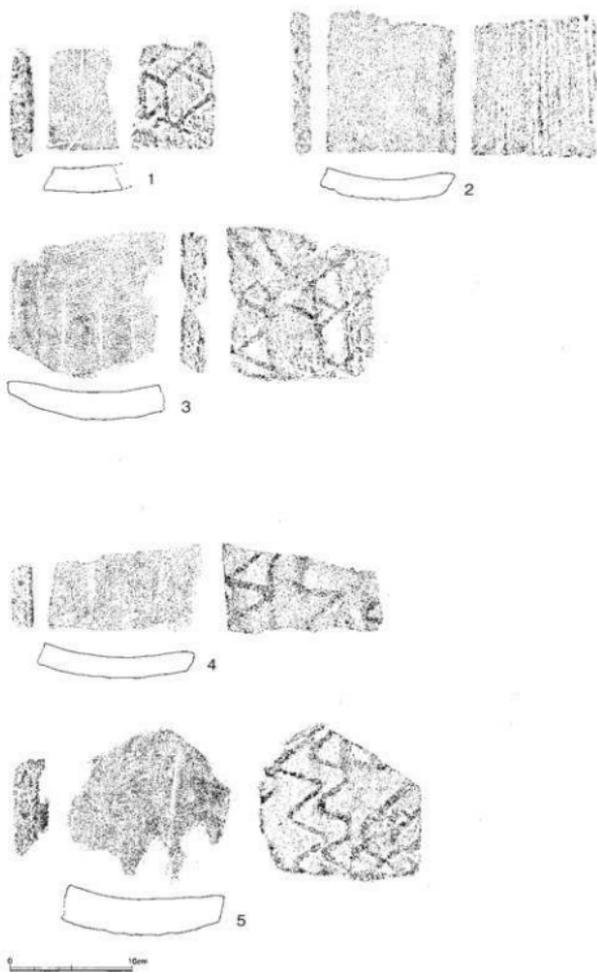
隅切平瓦 (第98図1・2) 2点確認している。1は宮の後A区「AS19グリッドバラス」から出土した。色調は浅黄橙～灰白色をしている。厚さは2.7cm前後である。凸面成形は格子タタキとし、離れ砂が用いられている。隅切部は直線的に切り落としている。凹面は端縁・側縁のみ面取りし、ほかは布目と糸切り痕を残している。2は六所脇I区「IP10黄褐バラス」から出土している。須恵質の硬い焼きである。厚さは1.9cm前後ある。凸面成形は格子タタキ (分類7) とする。凹面は端縁・側縁のみ面取りし、ほかは布目を残している。

鬼瓦 (第98図3) 六所脇地区から出土している。出雲国府跡ではこの1例しか確認できていない。色調は灰白色をしている。左側下方の抉り付近の小破片である。

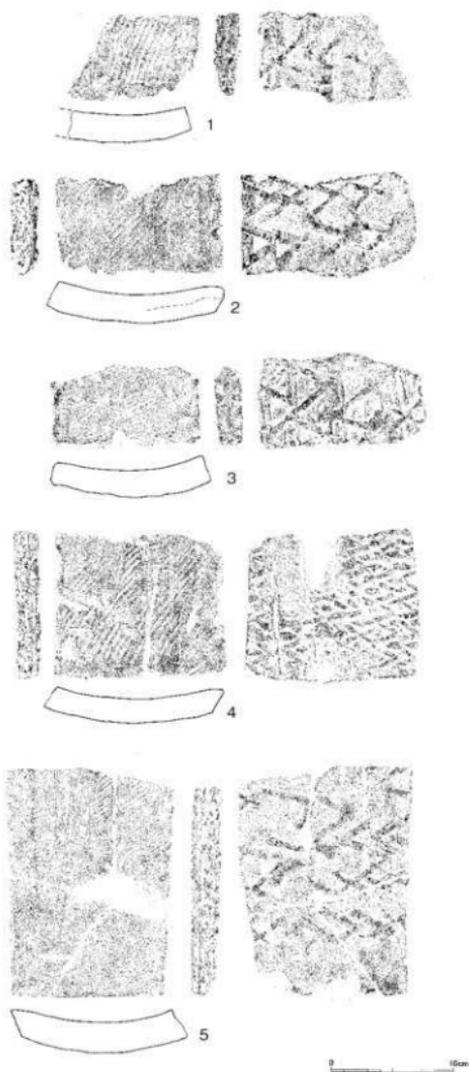
鴟尾 (第98図4) 宮の後B区「BM27グリッド褐色砂」から出土している。出土地点は六所神社境内地の北になる。山陰型鴟尾の破片と考えられる。須恵質の硬い焼きである。鰭部の小破片で突帯が一条みられる。厚さは2.2cm、突帯の高さは1.1cmある。外面はタタキ成形のちにハケメ調整をして



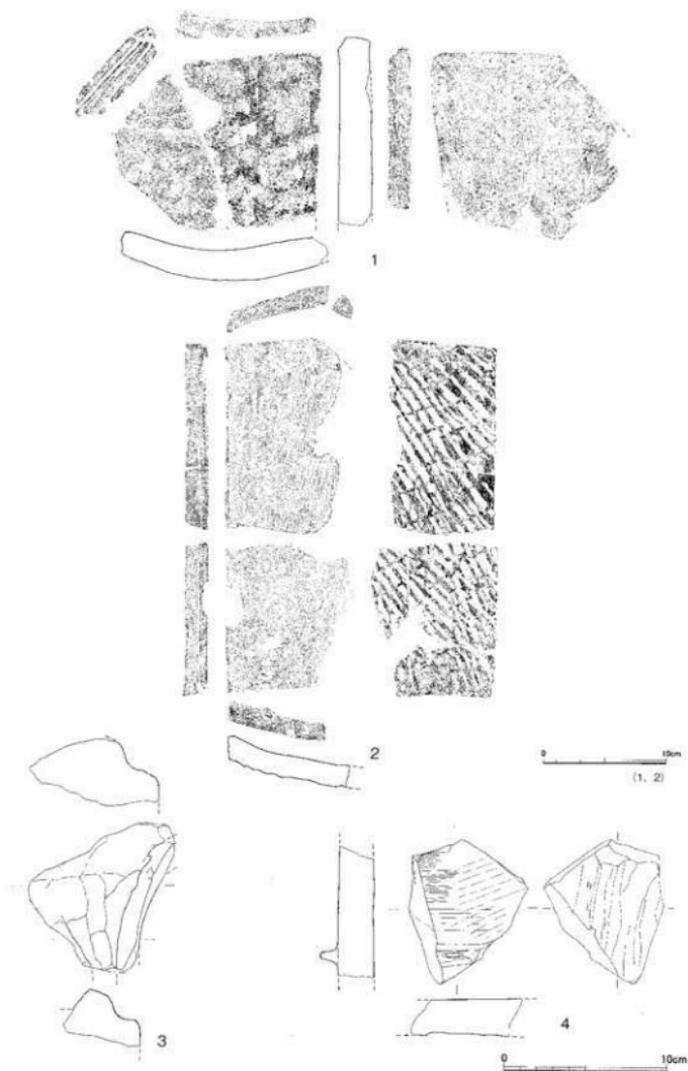
第95図 1968~1970年度調査出土製斗瓦実測図(1)(S=1:4)



第96図 1968~1970年度調査出土契斗瓦実測図(2)(S=1:4)



第97図 1968～1970年度調査出土熨斗瓦実測図(3)(S=1:4)



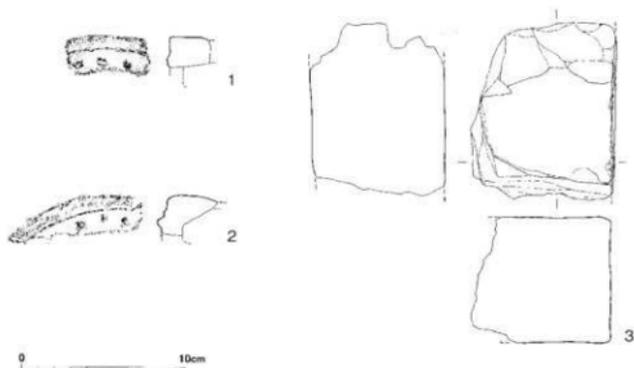
第98圖 1968~1970年度出土隅切平瓦・鬼瓦・鴟尾実測図 (S=1:3、1:4)

いる。内面はタテ方向にナデている。

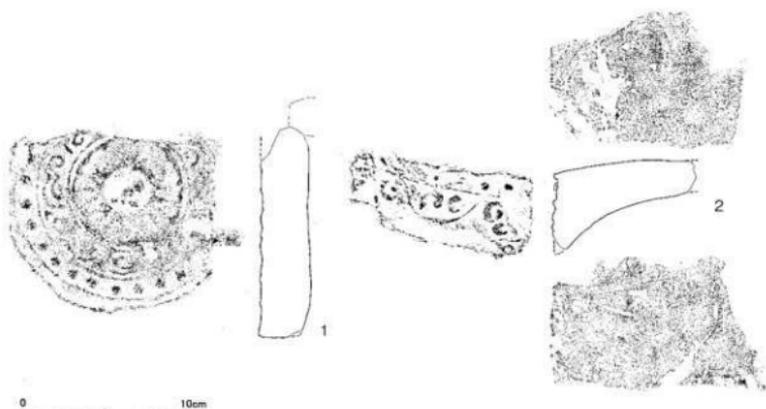
#### (5) そのほかの採集資料 (第99図～第100図)

1968～1970年度調査の出土品ではないが、出雲国府の瓦類を紹介する。第99図1～3は1981年12月25日に採集されている。大舎原地区の南端を走る水路の工事で出土した<sup>39)</sup>。1と2は出雲国分寺2類の軒丸瓦である。焼成はあまい。外区の珠文帯と周縁部が残る。3は埴である。焼成は良好で硬い。厚さは7.8cm、残存長11.0cm、残存幅8.8cmである。表面は丁寧にナデ調整する。胎土には砂粒を含んでいる。

第100図は恩田清氏採集の瓦である。出雲国府跡とその周辺で多数の遺物を採集している (第1章第1表)。出雲国府跡の所在地が特定されるまで「大草古瓦出土地」として知られていた<sup>38)</sup>。



第99図 1981年大舎原地区採集軒瓦・埴実測図 (S=1:3)



第100図 恩田清氏採集軒瓦実測図 (S=1:3)

2点は「こくてう 軒丸・軒平 11号」と書かれた袋に入れられていた。1は六所神社北の宮の後地区で採集されたものと思われる。2は瓦にある注記から六所神社東の六所脇地区で採集されたものと特定できる。1は軒丸瓦、2は軒平瓦である。1は出雲国分寺2類である。焼きはあまい。瓦当面は摩滅している。2は軒平瓦である。平瓦部の凹面に墨で「四〇・十二、ニニ 大草町字六所脇(六所神社東脇)」と書かれている。焼成は良好で硬い。中心部から左に均整唐草文が延び、上区は珠文を配す。下区と脇区は欠損している。ゆるい曲線額である。凸面はヨコ方向、凹面はタテ方向にケズる。来美庵寺Ⅳ類である(島根県2002・2007)。

### (7) 総括

**屋根景観の復元(第7表)** 瓦類は出土状況および出土量から二次的な移動ではなく、建物に葺かれていたものと考えられる。建物の特定はできないため、地区全体として屋根景観を復元することとし、六所脇地区(政庁)と宮の後地区(曹司)について、丸瓦と平瓦の比率を算出した。その結果、六所脇地区Ⅰ・Ⅱ区で丸瓦1:平瓦2.0~2.1、宮の後地区A~D・Ⅱ区で丸瓦1:平瓦1.5~1.8となった<sup>11)</sup>。二つの地区とも軒丸瓦が一定量みられ、隅切平瓦も出土しており、総瓦葺屋根の施設が存在したものと考えられる。しかし、軒平瓦はほとんど出土しておらず、使用されなかった可能性も考えられる。また、六所脇地区では、他地区に較べて巽斗瓦が多数出土し、鬼瓦も国府で唯一みられる。総瓦葺きであることから、大棟に巽斗瓦を葺き、両端に鬼瓦を置いた屋根景観が復元される。

**瓦葺施設の時期と変遷(第8表)** 出雲国府の軒丸瓦はすべて出雲国分寺と同範であることから、時期区分を出雲国分寺創建期・補修期の2時期とした。年代は、出雲国分寺創建期が8世紀中葉、補修期はそれ以降になる。さらに、補修期の年代については、出雲国府跡の遺構出土資料から検討を加える。軒丸瓦2類は4号建物跡(1-41、1-42-13) P6の掘形埋土(第2層)から出土している。出雲国府第4型式の須恵器と共存しており時期は8世紀後半と考えられている(島根県2003)。また、軒丸瓦3類は、3号建物跡(1-36、1-38-40) P2の柱抜き取り後の埋土から出土している。時期は大舎原Ⅱ-1期、出雲国府第4~5型式の時期とされる(島根県2003)。このことから、出雲国分寺軒丸瓦2・3類は、8世紀後半から9世紀初めまでに位置づけられることになる。

次に各時期の瓦の組み合わせを認定し、その変遷を分析する。創建期の軒瓦に組み合わせる平・丸瓦は、出雲国分寺僧坊北西の瓦溜り一括資料をもとに抽出できる(松江市1995・大橋2008)。この瓦溜まりでは、平瓦が格子タタキ(国分寺分類KA、KC、KG)、縄タタキ、平行タタキで須恵質のもの、丸瓦は有段式丸瓦が出土している。国府の分類では、格子タタキ1・3・7、有段式丸瓦Aがこれに該当する。さらに格子タタキについては、須恵質で焼きが良く、凹面端縁・側縁をヘラケズリする特徴から格子タタキ5・6・10も創建期に含めた。これ以外の平・丸瓦を出雲国分寺補修期にした。前述の3号建物の柱穴埋土からは、平瓦(格子タタキ1・3・7・8・12・13~15・19、縄タタキ1)、丸瓦(有段式A、無段式)も出土している。このうち、創建期の瓦を除いた格子タタキ8・12・13~15・19は補修期のなかで、8世紀後半から9世紀初めまでに位置づけられる。

各時期の数量をまとめると第8表のとおりである。軒瓦のみの分析では不明であったが、六所脇地区(政庁)、宮の後地区(後方官衙)とも、国分寺創建期には瓦葺屋根の建物が造営されたことがわかる。2時期の出土量を比べると、補修期が多くなっている。軒瓦も補修期の2・3類が多いことから、この時期に施設群の整備がはかられたことを示すものと考えられる。

**瓦の供給関係(第9表)** 軒丸瓦は出雲国分寺と同範であり、国分寺瓦窯・中竹矢遺跡(瓦窯)<sup>12)</sup>から

第7表 六所脇・宮の後地区の丸・平瓦の比率

地区名	平瓦			丸瓦		
	破片数 (点)	隅数 (点)	重量 (g)	破片数 (点)	隅数 (点)	重量 (g)
六所脇	223	39	50,710	120	19	13,610
宮の後	2,708	510	658,670	1,535	316	289,580

個体数 (隅数÷4)

地区名	個体数 (枚)		比率		
	丸	平	丸	平	
六所脇	I	3.3	6.8	1.0	2.1
	J	1.5	3.0	1.0	2.0
宮の後	A	27.0	49.0	1.0	1.8
	B	5.5	9.3	1.0	1.8
	C	44.8	65.5	1.0	1.5
	D	0.3	0.5	1.0	1.7
	J	1.5	2.3	1.0	1.5
	小計	79.1	127.6	1.0	1.6

第8表 地区別の瓦類変遷

宮の後地区

時期	国分寺軒瓦	瓦の組み合わせ	破片数	隅数	重量
国分寺創建期	軒丸瓦1類 軒平瓦1類	平瓦 格子タタキ (1・3・5・6・7・10・ 不明硬質) 縄タタキ (硬質) 平行タタキ 丸瓦 有段式 (A・硬質)	796	197	219,720
			283	74	51,980
国分寺補修期	軒丸瓦2~3類 軒平瓦2~3類	平瓦 格子タタキ (2・4・8・9・11~ 20・不明軟質)・縄タタキ (軟質)・ナデ 丸瓦 有段式 (B・軟質)	1,485	216	276,090
			1,105	136	191,430

六所脇地区

時期	国分寺軒瓦	瓦の組み合わせ	破片数	隅数	重量
国分寺創建期	軒丸瓦1類 軒平瓦1類	平瓦 格子タタキ (1・3・5・6・7・10・ 不明硬質)	51	18	13,500
		丸瓦 有段式 (A・硬質)	28	4	4,890
国分寺補修期	軒丸瓦2~3類 軒平瓦2~3類	平瓦 格子タタキ (2・4・8・9・11~ 20・不明軟質)・縄タタキ (軟質)	124	25	27,970
		丸瓦 有段式 (B・軟質)	88	10	12,680

供給されたものとわかる。有段式丸瓦Aも、その特徴から中竹矢遺跡 (瓦窯) で製作されたと考えられる。1枚作り平瓦もタタキ種の同定をおこなった結果、平窯資料では3種、I-d区 (灰原) では8種が中竹矢遺跡と同一のタタキと認定できた。有段式丸瓦A、平瓦格子タタキ1~9、15・16は出雲国分寺からも出土している (松江市1995)。出雲国分寺創建期から補修期まで一貫して、この瓦窯から国府へ瓦が供給されていることがわかる。中竹矢遺跡 (瓦窯) は国司が掌握し、国府や国分僧寺・尼寺に瓦を供給するために設けた国衛工房に位置づけられる (大橋2004)。四王寺跡、来美庵寺の平瓦にも同じ格子タタキの平瓦が確認されており<sup>13</sup>、各寺院の補修期にも中竹矢遺跡 (瓦窯) から瓦が供給されたと考えられる。また、国府出土瓦のなかには、小無田II遺跡瓦窯と同種のタタキをもつ平瓦や、産地不明の有段式丸瓦Bが少量出土しているほか、来美庵寺IV類軒平瓦も1点採集されている。国分寺補修期の段階に、他の瓦窯からも若干の瓦が供給されたようである。しかし、その量はわずかであり、国衛工房である中竹矢遺跡 (瓦窯) から国府へという集約的な供給体制が

第9表 出雲国府の格子タタキと他の消費地・瓦窯との対照表

出雲国府跡	消費地			瓦窯		
	出雲国分寺	来美廃寺	四王寺跡	中竹矢遺跡		小無田Ⅱ遺跡
				平窯	I-d区(出雲国分寺瓦窯の灰原)	
格子タタキ1	KA		○		○	
2	KB2				○	
3	KC				○	
4	KD	○		○		
5	KE	○				
6	KF					
7	KG		○			
8	KH	○				
9	KI					
10						
11						
12		○		○	○	
13					○	
14					○	
15	KB1	○		○	○	
16	未分類にあり					
17					○	
18						
19						
20						
21	未分類にあり		○			未分類にあり

一貫して続いたことは変わらなかったと考えられる。

このほか、出雲国分寺瓦窯・中竹矢遺跡（瓦窯）以外から供給されたものに、桶巻き作り平瓦や泥糸盤築技法の丸瓦、山陰型鴟尾がある。桶巻き作り平瓦は、大井窯跡群の四反田窯産の一部に似たものがみられる<sup>34</sup>。また、桶巻き作り平瓦の凸面成形のうち「須恵器甕のタタキ」は、来美廃寺金堂調査区出土の須恵器作りの平瓦に酷似したものがみられる（鳥根県2002第38図6）。須恵器作り工人の手によるものであり、窯は特定できないが大井窯跡群から供給されたものと考えられる。また、山陰型鴟尾も、大井窯跡群の山津1号窯H区灰原（松江市2006第196図H-1769）と2号窯（松江市2003第9図26）から出土している。国府へも同窯から供給された可能性がある。

課題 今後の課題として次の点があげられる。

瓦葺き建物の出現時期と瓦生産の体制 これまで出雲国府には奈良時代末期から瓦葺屋根の建物が造営されたと考えられてきた<sup>35</sup>。今回の分析により、出雲国分寺創建期まで、瓦葺き施設の出現時期が遡ることを確認した（大橋2008）。ここで問題となるのが、桶巻き作り平瓦・鴟尾の位置づけである。一般的に、桶巻き作りは国分寺創建期までは下らないものといわれている（大橋2004）。山陰型鴟尾についても、既往の研究から国分寺創建期までは下らないとされる<sup>36</sup>。国分寺創建期以前の8世紀前半代の瓦葺施設が存在した可能性もあり、今後の検討課題としたい。

さらに瓦生産体制の展開も大きな課題である。大井窯跡群（四反田窯・山津窯跡）の瓦生産のあ

りかたと、国衛工房（中竹矢遺跡・出雲国分寺瓦窯）の成立や整備との関係について、あらためて検討を加える必要がある<sup>10)</sup>。

**国司館（大舎原地区）の屋根景観** これまでの調査で、当地区に瓦葺き屋根の施設は存在しないものと考えられてきた（島根県2005）。しかし、先に記述した4号建物跡、3号建物跡の瓦の出土状況や、3号建物跡の柱穴埋土に一定量含まれていることは、付近に瓦葺建物が存在した可能性を示しているとも考えられる。今回、政庁（六所脇地区）、後方官衙（宮の後地区）について、屋根景観を復元し、その変遷を示すことができた。国司館（大舎原地区）についても同様の分析をおこない、国府全体の景観を明らかにする必要がある。（間野）

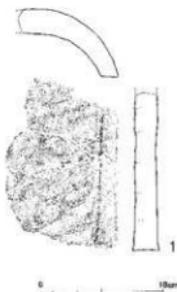
## 注

- (1) 4号木簡について、松江市1970には「裏面」にして翻を設けているものの記述はない。町田・近藤1975では、「裏面にも墨痕が認められるが、判読できない。全体に虫食いの痕がある」と書かれている。
- (2) 平尾政幸氏（財団法人京都市埋蔵文化財調査研究所）に御教示いただいた。
- (3) 藤澤良祐氏（愛知学院大学）に御教示いただいた。
- (4) 破片、複合資料とも1点として数えている。重量は上皿自動秤を使用し10<sup>2</sup>単位とした。
- (5) 調査時の所見では「集散的に見えた場所は宮の後地区中央部、SD005の南側と六所脇地区であり、そのほかの場所はきわめて少量である」とある（町田1975）。
- (6) 出雲国分寺軒丸瓦1類と2・3類で焼成が異なることは、前島己基氏等によって既に指摘されている（前島1975）。
- (7) 中竹矢遺跡1-d区で、3類軒丸瓦の丸瓦部に削みのはいるものが1点ある（島根県1992 第39図105）。
- (8) 軒平瓦3類（山本1991）は井桁状に似た文様を施したものが、ここでは、格子明き文もこの分類に含めた。
- (9) 島根県埋蔵文化財調査センター内田律雄の教示による。
- (10) 近藤正氏は、六所神社付近で採集された出雲国分寺軒丸瓦1点と四王寺軒平瓦第1類、鬼瓦1点を報告している（近藤1968）。
- (11) 京都府善仁京跡大極殿地区では丸瓦533枚に対し平瓦1179枚で1:2.2、塔院地区では丸瓦801枚に対し平瓦1362枚で1:1.7である（上原1984）。大田市中根遺跡では丸瓦と平瓦の比率が1:7または1:8と算出されている。軒瓦を含まないことから製木桶に復元されている（島根県2008b）。
- (12) 中竹矢遺跡は、出雲国府跡から約1.5km北東、出雲国分寺、出雲国分寺のあいだに位置する。東西方向に延びる丘陵の南斜面で平瓦1基が検出された。さらに東に屈折定跡出雲国分寺瓦窯跡があり、ここでは窯跡2基が見つかっている（岡崎1979）。この窯の南にあたる中竹矢遺跡1-d区は灰原と考えられている。中竹矢遺跡瓦窯と史跡出雲国分寺瓦窯は一体の窯跡群である。両遺跡の位置関係は島根県2000第2図に示されている。
- (13) 大橋泰夫委員の調査による。
- (14) 四反田窯（田平林窯）は松江市上宇部尾町に所在する。瓦陶窯で、灰原の調査では瓦類のほか須恵器・土瓦が出土している。窯の操業年代は8世紀を中心に比定されている（藤原2004）。瓦類は、内田1990に報告された資料（島根県埋蔵文化財調査センター保管）を実見した。全部でコンテナ1箱ある。平瓦の凸面成形は縄タタキと平行タタキがみられる。凹面は丁寧にナゲ調整するものとハケメ調整するものがある。出雲国府の桶巻き作りと比較すると、縄タタキで凹面を丁寧にナゲ調整するものはあるが、凸面成形を平行タタキするものや、凹面仕上げをハケメ調整とするものは出土していない。丸瓦は、粘土紐巻き上げの泥糸盤巻と、凹面に布目をもつもの（粘土紐巻き上げの可能性あり）の2種ある。出雲国府からは、泥糸盤巻の丸瓦が1点出土しているが、後者の特徴をもつものは確認していない。
- (15) 町田・近藤正氏は、国府出土の瓦をA・B2種に分類し、A種が国分寺2類、B種は国分寺・国分尼寺瓦と同范であるとした。これらは出雲国庁4型式と共存し、奈良時代末期から使用が開始されたものとしている（町田1975）。
- (16) 島根県教育庁文化財課林健亮の教示による。山陰型端尾は四脚・拍香・出雲の3国、12遺跡で出土している（中塚2007）。
- (17) 内田律雄は、「大井古窯跡群の中に存在する瓦陶窯は、当地方における寺院の建立に在地の須恵器工人が関係するようになったことを示している。（中略）大井古窯跡群における瓦生産の開始は新造院の建立がその契機となった（後略）」と考える（内田1990）。また、藤原哲氏は「大井古窯跡群内の造瓦活動は比較的不活性であり、四反田など限定された一部が、山津における端尾など限定された種類で占められていた」とする（藤原2004）。

## 引用・参考文献

- 池田満雄1996「出雲国庁跡出土木簡再考（1）」『八雲立つ風土記の丘No136』島根県八雲立つ風土記の丘  
岩橋孝典2003「山陰地域の古墳時代後期～奈良時代の炊飯具について」『古代文化研究No11』島根県古代文化センター

- 上原真人1984『慈仁京跡発掘調査報告 瓦編』京都府教育委員会
- 内田律雄1990『出雲国風土記 大井浜の須恵器生産(下)』『古代学研究』120古代学研究会
- 大橋泰夫2004『Ⅲ 瓦類』『古代の官衙道跡Ⅱ遺物・道跡編』奈良文化財研究所
- 大橋泰夫2008『国分寺と官衙』『シンポジウム国分寺の創建を読むⅡ-組織・技術論-』国土館大宇
- 岡崎雄二郎1979『出雲国分寺瓦窯址について』『八雲立つ風土記の丘』第35号 八雲立つ風土記の丘
- 近藤正1968『寺跡』『鳥根県文化財調査報告書第5集』鳥根県教育委員会
- 鳥根県教育委員会2000『第2章第2節これまでの発掘調査の概要』『社日古墳』
- 鳥根県教育委員会2002『栄美塚寺』
- 鳥根県古代文化センター2003『山陰古代出土文字資料集成』
- 鳥根県教育委員会2004『第3章第5節古代の遺構と遺物』『史跡出雲国府跡-2-』
- 鳥根県教育委員会2005『第7章4. 瓦類について』『史跡出雲国府跡-3-』
- 鳥根県教育委員会2007『史跡山代郷北新造院跡』
- 鳥根県教育委員会2008a『第4章第7節(3) 礎』『史跡出雲国府跡-5-』鳥根県教育委員会
- 鳥根県教育委員会2008b『第3章中祖道跡の調査』『中祖道跡 ナメラ道道跡』
- 宍道町教育委員会1983『小松古窯跡群範囲確認調査報告書』
- 中原 齊2007『上流庵寺式料丸瓦と山陰型陶瓦』『第34回山陰考古学研究会資料集 古代の隠岐』第34回山陰考古学研究会事務局
- 平石 充1995『出雲国庁跡出土木簡について』『古代文化研究』No.3 鳥根県古代文化センター
- 藤原智2004『古代出雲の須恵器生産と瓦生産-四反田窯跡の出土遺物とその評価』『出雲古代史研究』第14号
- 前島己基1968『古代寺院跡』『鳥根県文化財調査報告書第5集』鳥根県教育委員会
- 町田章・近藤正1975『古代の官衙跡』『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』鳥根県教育委員会
- 松江市教育委員会1971『出雲国庁跡発掘調査概報』
- 松江市教育委員会・財団法人松江市教育文化振興事業団1995『出雲国分寺跡発掘調査報告書』
- 松江市教育委員会2003『山津窯跡発掘調査報告書-2-3号室-』
- 松江市教育委員会2004『出雲国分寺跡発掘調査報告書』
- 松江市教育委員会・財団法人松江市教育文化振興事業団2006『大井浜窯群 山津窯跡・山津道跡発掘調査報告書』
- 山本 清1991『第五 出雲』『新修国分寺の研究第四巻』吉川弘文館。



第101図 南北復元工事出土  
遺物実測図(5)(S=1/4)



写真4 泥糸盤築技法の丸瓦

第10表 六所館I区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	偶数	重量:2 <sup>g</sup>
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0
		小計	0	0	0
	1枚作り	縄タタキ1	17	3	3,870
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	17	3	3,870
	1枚作り	格子1	5	1	2,360
		格子2	11	0	2,770
		格子3	1	0	850
		格子4	0	0	0
		格子5	0	0	0
		格子6	0	0	0
		格子7	5	3	1,590
		格子8	0	0	0
		格子9	0	0	0
		格子10	1	0	230
		格子11	0	0	0
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	0	0	0
		格子16	0	0	0
		格子17	1	1	1,200
		格子18	0	0	0
		格子19	1	0	300
		格子20	0	0	0
		格子21	0	0	0
	不明(硬質)	11	3	2,460	
不明(軟質)	45	8	9,540		
小計	81	16	21,300		
1枚作り	平行	2	1	340	
	小計	2	1	340	
1枚作り	ナデ	0	0	0	
	小計	0	0	0	
1枚作り	タタキ不明	55	7	10,550	
	小計	55	7	10,550	
総計			155	27	36,060
丸瓦	有段式	A	4	1	370
		B	1	0	100
		小計	5	1	470
	無段式		7	4	1,670
		小計	7	4	1,670
	不明	焼成硬質	12	2	2,320
		焼成軟質	63	6	8,890
小計		75	8	11,210	
総計			87	13	13,350
道具瓦	契斗瓦		22	11	6,300
	塼		0	0	0
	鴫尾				
	隅切平瓦		1	2	810
	鬼瓦		1	0	200
	不明		0	0	0
総計			24	13	7,310
不明			20	-	1,360

第11表 六所館J区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	偶数	重量:2 <sup>g</sup>
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0
		小計	0	0	0
	1枚作り	縄タタキ1	12	2	2,070
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	12	2	2,070
	1枚作り	格子1	4	1	1,150
		格子2	4	0	980
		格子3	0	0	0
		格子4	0	0	0
		格子5	0	0	0
		格子6	0	0	0
		格子7	4	3	1,250
		格子8	0	0	0
		格子9	0	0	0
		格子10	0	0	0
		格子11	0	0	0
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	0	0	0
		格子16	0	0	0
		格子17	1	0	180
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	0	0	0
		格子21	0	0	0
	不明(硬質)	4	3	1,390	
	不明(軟質)	20	4	4,520	
	小計	37	11	9,470	
	1枚作り	平行	2	0	300
		小計	2	0	300
	1枚作り	ナデ	0	0	0
		小計	0	0	0
1枚作り	タタキ不明	17	1	2,810	
	小計	17	1	2,810	
総計			68	14	14,650
丸瓦	有段式	A	1	1	260
		B	0	0	0
		小計	1	1	260
	無段式		0	0	0
		小計	0	0	0
	不明	焼成硬質	8	1	2,030
		焼成軟質	24	4	3,690
小計		32	5	5,720	
総計			33	6	5,980
道具瓦	契斗瓦		7	6	3,510
	塼		0	0	0
	鴫尾		0	0	0
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		1	0	200
総計			8	6	3,710
不明			11	-	780

第12表 宮の後A区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量：g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	16	3	6,190
		小計	16	3	6,190
	1枚作り	縄タタキ1	104	32	56,570
		縄タタキ2	1	0	390
		小計	105	32	56,960
	1枚作り	格子1	45	13	17,880
		格子2	18	2	4,730
		格子3	3	1	1,170
		格子4	8	1	2,390
		格子5	31	7	10,380
		格子6	8	2	1,500
		格子7	11	3	2,630
		格子8	9	4	4,780
		格子9	13	3	3,410
		格子10	4	1	1,480
		格子11	1	0	160
		格子12	2	1	830
		格子13	0	0	0
		格子14	1	0	130
		格子15	22	9	7,460
		格子16	1	1	170
		格子17	3	1	610
		格子18	13	6	5,670
		格子19	3	1	1,280
		格子20	5	1	1,320
		格子21	0	0	0
		不明(硬質)	12	2	2,870
	不明(軟質)	182	45	47,390	
	小計	395	104	118,640	
1枚作り	平行	9	2	2,620	
	小計	9	2	2,620	
1枚作り	ナデ	92	16	16,170	
	小計	92	16	16,170	
1枚作り	タタキ不明	281	39	54,580	
	小計	281	39	54,580	
総計			895	195	254,330
丸瓦	有段式	A	28	17	5,470
		B	11	7	2,590
		小計	39	24	8,060
	無段式		57	31	16,870
		小計	57	36	16,870
	不明	焼成硬質	45	9	9,690
		焼成軟質	313	39	53,340
	小計	358	48	63,030	
総計			454	108	87,960
道具瓦	契斗瓦		10	7	3,930
	塼		0	0	0
	鵝尾		0	0	0
	隅切平瓦		1	1	960
	鬼瓦		0	0	0
	不明		0	0	0
総計			11	8	4,890
不明			156	-	11,260

第13表 宮の後B区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量：g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	11	0	2,330
		小計	11	0	2,330
	1枚作り	縄タタキ1	76	12	15,120
		縄タタキ2	1	0	320
		小計	77	12	15,440
	1枚作り	格子1	4	1	1,670
		格子2	3	1	730
		格子3	2	0	960
		格子4	1	1	200
		格子5	10	5	3,300
		格子6	2	0	380
		格子7	3	0	580
		格子8	0	0	0
		格子9	2	0	1,260
		格子10	0	0	0
		格子11	1	1	120
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	1	0	220
		格子16	0	0	0
		格子17	2	0	580
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	1	0	240
		格子21	0	0	0
		不明(硬質)	6	0	6,730
	不明(タタキ種不明)	27	3	6,870	
	小計	65	12	23,840	
1枚作り	平行	1	1	270	
	小計	1	1	270	
1枚作り	ナデ	7	3	1,030	
	小計	7	3	1,030	
1枚作り	タタキ不明	53	7	10,020	
	小計	53	7	10,020	
総計			214	35	52,930
丸瓦	有段式	A	4	1	350
		B	3	2	190
		小計	7	3	540
	無段式		11	7	3,700
		小計	11	7	3,700
	不明	焼成硬質	25	2	4,510
		焼成軟質	71	9	12,660
	小計	96	11	17,170	
総計			114	21	21,410
道具瓦	契斗瓦		1	0	240
	塼		0	0	0
	鵝尾		1	0	160
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		0	0	0
総計			2	0	400
不明			42	-	2,910

第14表 宮の後C区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	12	4	4,150
		小計	12	4	4,150
	1枚作り	縄タタキ1	542	91	114,020
		縄タタキ2	2	0	590
		小計	544	91	114,610
	1枚作り	格子1	58	19	17,000
		格子2	15	3	4,530
		格子3	3	0	680
		格子4	15	3	4,780
		格子5	25	5	6,510
		格子6	8	0	2,000
		格子7	29	13	11,620
		格子8	1	0	100
		格子9	10	1	2,820
		格子10	2	1	740
		格子11	0	0	0
		格子12	4	1	1,310
		格子13	0	0	0
		格子14	5	0	1,540
		格子15	34	11	10,550
		格子16	3	1	1,070
		格子17	6	3	2,950
		格子18	2	0	370
		格子19	4	1	1,330
		格子20	9	1	2,660
		格子21	0	0	0
	不明(硬質)	61	18	18,960	
不明(軟質)	182	26	40,570		
小計	476	107	132,090		
1枚作り	平行	13	5	4,000	
小計	13	5	4,000		
1枚作り	ナデ	23	7	5,210	
小計	23	7	5,210		
1枚作り	タタキ不明	449	52	74,650	
小計	449	52	74,650		
総計			1,517	266	334,710
丸瓦	有段式	A	55	26	9,450
		B	13	4	1,470
		小計	68	30	10,920
	無段式		67	61	22,490
		小計	67	61	22,490
	不明	焼成硬質	111	17	20,240
		焼成軟質	650	71	114,640
小計		761	88	134,880	
総計			896	179	168,290
道具瓦	契斗瓦		4	0	1,280
	塼		0	0	0
	鴫尾		0	0	0
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		2	0	420
総計			6	0	1,700
不明			296	-	16,280

第15表 宮の後D区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	1	0	300
		小計	1	0	300
	1枚作り	縄タタキ1	7	2	1,110
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	7	2	1,110
	1枚作り	格子1	0	0	0
		格子2	0	0	0
		格子3	0	0	0
		格子4	0	0	0
		格子5	1	0	180
		格子6	0	0	0
		格子7	1	0	110
		格子8	0	0	0
		格子9	0	0	0
		格子10	0	0	0
		格子11	1	0	280
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	0	0	0
		格子16	0	0	0
		格子17	0	0	0
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	0	0	0
		格子21	0	0	0
	不明(硬質)	0	0	0	
不明(軟質)	5	0	970		
小計	8	0	1,540		
1枚作り	平行	0	0	0	
小計	0	0	0		
1枚作り	ナデ	1	0	180	
小計	1	0	180		
1枚作り	タタキ不明	2	0	320	
小計	2	0	320		
総計			19	2	3,450
丸瓦	有段式	A	1	0	60
		B	0	0	0
		小計	1	0	60
	無段式		0	0	0
		小計	0	0	0
	不明	焼成硬質	2	0	70
		焼成軟質	8	1	1,390
小計		10	1	1,460	
総計			11	1	1,520
道具瓦	契斗瓦		0	0	0
	塼		0	0	0
	鴫尾		0	0	0
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		0	0	0
総計			0	0	0
不明			5	-	190

第16表 宮の後J区出土瓦集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	1	0	180
		小計	1	0	180
	1枚作り	縄タタキ1	26	4	5,590
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	26	4	5,590
	1枚作り	格子1	2	0	410
		格子2	0	0	0
		格子3	0	0	0
		格子4	0	0	0
		格子5	1	0	110
		格子6	0	0	0
		格子7	2	0	720
		格子8	1	1	860
		格子9	0	0	0
		格子10	0	0	0
		格子11	0	0	0
		格子12	1	1	280
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	0	0	0
		格子16	0	0	0
		格子17	0	0	0
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	0	0	0
		格子21	0	0	0
	不明(硬質)	1	1	270	
	不明(軟質)	4	0	840	
	小計	12	4	3,490	
	1枚作り	平行	3	1	440
小計		3	1	440	
1枚作り	ナデ	1	0	120	
小計	1	0	120		
1枚作り	タタキ不明	17	0	2,600	
	小計	17	0	2,600	
総計			60	8	12,420
丸瓦	有段式	A	3	1	480
		B	0	0	0
		小計	3	1	480
	無段式	小計	3	2	640
		小計	3	2	640
	不明	焼成硬質	9	0	1,720
		焼成軟質	38	3	5,360
小計	47	3	7,080		
総計			53	6	8,200
道具瓦	契斗瓦		1	0	110
	塼		0	0	0
	鴫尾		0	0	0
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		0	0	0
総計			1	0	110
不明			19	-	890

第17表 一貫尻地区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0
		小計	0	0	0
	1枚作り	縄タタキ1	17	11	3,060
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	17	11	3,060
	1枚作り	格子1	11	3	3,180
		格子2	0	0	0
		格子3	0	0	0
		格子4	3	0	790
		格子5	4	1	800
		格子6	0	0	0
		格子7	2	0	510
		格子8	0	0	0
		格子9	0	0	0
		格子10	0	0	0
		格子11	0	0	0
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	1	1	290
		格子16	1	0	380
		格子17	1	0	200
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	1	0	140
		格子21	0	0	0
	格子(タタキ種不明)	50	6	8,990	
	小計	74	11	15,280	
	1枚作り	平行	2	0	3,060
		小計	2	0	3,060
1枚作り	ナデ	0	0	0	
	小計	0	0	0	
1枚作り	タタキ不明	42	2	6,560	
	小計	42	2	6,560	
総計			135	24	27,960
丸瓦	有段式	A	8	3	1,260
		B	1	1	150
		小計	9	4	1,410
	無段式	小計	2	2	290
		小計	2	2	290
	不明	焼成硬質	7	0	1,250
		焼成軟質	33	3	6,230
小計	40	3	7,480		
総計			51	9	9,180
道具瓦	契斗瓦		0	0	0
	塼		0	0	0
	鴫尾		0	0	0
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		0	0	0
総計			0	0	0
不明			17	-	910

第18表 樋ノ口地区出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	隅数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0
		小計	0	0	0
	1枚作り	縄タタキ1	3	0	380
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	3	0	380
	1枚作り	格子1	0	0	0
		格子2	0	0	0
		格子3	0	0	0
		格子4	0	0	0
		格子5	0	0	0
		格子6	0	0	0
		格子7	0	0	0
		格子8	0	0	0
		格子9	0	0	0
		格子10	0	0	0
		格子11	0	0	0
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	0	0	0
		格子16	0	0	0
		格子17	0	0	0
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	0	0	0
		格子21	0	0	0
	格子(タタキ種不明)	0	0	0	
		小計	0	0	0
	1枚作り	平行	0	0	0
		小計	0	0	0
1枚作り	ナデ	0	0	0	
	小計	0	0	0	
1枚作り	タタキ不明	0	0	0	
	小計	0	0	0	
総計			3	0	380
丸瓦	有段式	A	1	1	50
		B	0	0	0
		小計	1	1	50
	無段式		0	0	0
		小計	0	0	0
	不明	焼成硬質	0	0	0
		焼成軟質	0	0	0
	小計	0	0	0	
総計			1	1	50
道具瓦	契斗瓦		0	0	0
	埴		0	0	0
	鴫尾		0	0	0
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		0	0	0
総計			0	0	0
不明			1	-	40

第19表 調査区不明出土瓦類集計表

種別		凸面	破片数	隅数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	2	1	910
		小計	2	1	910
	1枚作り	縄タタキ1	83	12	17,490
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	83	12	17,490
	1枚作り	格子1	15	3	3,660
		格子2	6	2	1,360
		格子3	1	0	1,220
		格子4	2	1	780
		格子5	7	1	1,420
		格子6	2	0	480
		格子7	9	4	3,760
		格子8	1	1	300
		格子9	1	1	760
		格子10	3	1	1,430
		格子11	2	1	290
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	1	0	230
		格子15	10	2	2,350
		格子16	1	0	570
		格子17	3	1	590
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	1	0	500
		格子21	0	0	0
	格子(タタキ種不明)	102	16	26,400	
		小計	164	33	44,370
	1枚作り	平行	3	1	1,070
		小計	3	1	1,070
1枚作り	ナデ	8	3	1,660	
	小計	8	3	1,660	
1枚作り	タタキ不明	89	9	15,350	
	小計	89	9	15,350	
総計			351	59	81,600
丸瓦	有段式	A	16	7	2,500
		B	3	1	460
		小計	19	8	2,960
	無段式		20	16	3,960
		小計	20	16	3,960
	不明	焼成硬質	28	3	5,110
		焼成軟質	188	22	28,880
	小計	216	25	33,990	
総計			255	49	40,910
道具瓦	契斗瓦		13	12	5,700
	埴		0	0	0
	鴫尾		0	0	0
	隅切平瓦		0	0	0
	鬼瓦		0	0	0
	不明		0	0	0
総計			13	12	5,700
不明			0	-	0

第20表 2007年度宮の後地区出土瓦集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0
		小計	0	0	0
	1枚作り	縄タタキ1	105	10	12,590
		縄タタキ2	1	1	170
		小計	106	11	12,760
	1枚作り	格子1	10	1	1,410
		格子2	4	0	920
		格子3	2	0	270
		格子4	2	0	250
		格子5	7	1	1,530
		格子6	3	0	690
		格子7	0	0	0
		格子8	0	0	0
		格子9	0	0	0
		格子10	1	0	370
		格子11	0	0	0
		格子12	2	1	400
		格子13	1	0	80
		格子14	0	0	0
		格子15	8	1	2,080
		格子16	0	0	0
		格子17	1	0	100
		格子18	1	0	410
		格子19	1	0	290
		格子20	0	0	0
		格子21	0	0	0
	不明(タタキ種不明)	69	11	11,720	
小計	112	15	20,520		
1枚作り	平行	4	1	630	
	小計	4	1	630	
1枚作り	ナデ	15	1	1,560	
	小計	15	1	1,560	
1枚作り	タタキ不明	89	17	11,510	
	小計	89	17	11,510	
総計			326	31	46,980
丸瓦	有段式	A	8	1	580
		B	1	1	160
	小計	9	2	740	
	無段式	小計	13	12	2,760
		小計	13	12	2,760
	不明	焼成硬質	23	2	1,730
		焼成軟質	159	10	18,570
小計	182	12	20,300		
総計			204	26	23,800
道具瓦	契斗瓦	1	0	440	
	埴	0	0	0	
	鴫尾	0	0	0	
	隅切平瓦	1	1	500	
	鬼瓦	0	0	0	
	不明	0	0	0	
総計			2	1	940
不明			592	-	17,820

第21表 2006年度宮の後地区第46トレンチ出土瓦集計表

種別		凸面	破片数	周数	重量: g
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0
		小計	0	0	0
	1枚作り	縄タタキ1	6	1	890
		縄タタキ2	0	0	0
		小計	6	1	890
	1枚作り	格子1	1	0	90
		格子2	1	1	310
		格子3	0	0	0
		格子4	0	0	0
		格子5	1	0	130
		格子6	0	0	0
		格子7	0	0	0
		格子8	1	0	100
		格子9	0	0	0
		格子10	0	0	0
		格子11	0	0	0
		格子12	0	0	0
		格子13	0	0	0
		格子14	0	0	0
		格子15	0	0	0
		格子16	0	0	0
		格子17	0	0	0
		格子18	0	0	0
		格子19	0	0	0
		格子20	1	0	430
		格子21	0	0	0
	不明(タタキ種不明)	11	2	1,590	
小計	16	3	2,630		
1枚作り	平行	1	0	70	
	小計	1	0	70	
1枚作り	ナデ	2	0	200	
	小計	2	0	200	
1枚作り	タタキ不明	22	3	1,840	
	小計	22	3	1,840	
総計			47	7	5,630
丸瓦	有段式	A	1	0	30
		B	0	0	0
	小計	1	0	30	
	無段式	小計	7	5	640
		小計	7	5	640
	不明	焼成硬質	3	1	290
		焼成軟質	31	0	2,570
小計	34	1	2,860		
総計			42	6	3,530
道具瓦	契斗瓦	1	2	240	
	埴	0	0	0	
	鴫尾	0	0	0	
	隅切平瓦	0	0	0	
	鬼瓦	0	0	0	
	不明	0	0	0	
総計			1	2	240
不明			43	-	1,350

第22表 2006～2007年度出土瓦類調査区別分布

【破片数:点】

地区名		宮の後		六所篇					堂田				計	
		T46	本調査区	T47				T49	T50		T51			
				T47	磯埋土	SK01	SK02		T50	2号溝	T51	62号溝		
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1枚	縄タタキ1	6	105	3	0	0	1	4	2	0	1	0	122
		縄タタキ2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	1枚	格子タタキ	16	112	10	3	3	5	7	5	1	2	0	164
		平行タタキ	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		ケスリ・ナデ	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	1枚	タタキ不明	22	89	10	2	2	2	6	5	1	5	0	143
小計		47	326	23	5	5	7	17	12	2	8	0	452	
丸瓦	有段式	A	1	8	1	0	0	0	1	1	0	0	0	5
		B	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無段式	7	13	2	0	0	0	1	0	0	2	0	23	
	不明	34	182	11	2	3	3	8	5	2	0	4	254	
小計		42	204	14	2	3	3	10	6	2	2	4	282	
道具瓦	製斗瓦	1	1	2	0	0	0	3	0	0	1	0	7	
	塙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鷲尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	隅切丸瓦	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	鬼瓦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明道具瓦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		1	2	2	0	0	0	3	0	0	1	0	9	
不明		43	592	15	2	1	1	7	36	0	4	0	701	

【重量:kg】

地区名		宮の後		六所篇					堂田				計	
		T46	本調査区	T47				T49	T50		T51			
				T47	磯埋土	SK01	SK02		T50	2号溝	T51	62号溝		
平瓦	桶巻き	縄タタキ・平行タタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1枚	縄タタキ1	890	12,590	490	0	0	190	680	160	0	20	0	15,020
		縄タタキ2	0	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170
	1枚	格子タタキ	2,630	20,520	1,260	190	650	1,200	1,300	1,060	200	280	0	29,290
		平行タタキ	70	630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700
		ケスリ・ナデ	200	1,560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,760
	1枚	タタキ不明	1,840	11,510	970	400	230	100	490	560	210	770	0	17,080
小計		5,630	46,980	2,720	590	880	1,490	2,470	1,780	410	1,070	0	64,020	
丸瓦	有段式	A	30	580	30	0	0	0	30	20	0	0	0	690
		B	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160
	無段式	640	2,760	410	0	0	0	160	0	0	270	0	4,240	
	不明	2,860	20,300	1,120	360	790	540	860	370	460	0	230	27,890	
小計		3,530	23,800	1,560	360	790	540	1,050	390	460	270	230	32,980	
道具瓦	製斗瓦	240	440	600	0	0	0	1,040	0	0	390	0	2,710	
	塙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鷲尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	隅切丸瓦	0	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	
	鬼瓦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明道具瓦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		240	940	600	0	0	0	1,040	0	0	390	0	3,210	
不明		1,350	17,820	450	30	10	130	180	830	830	90	0	21,720	

第23表 平瓦凸面成形分類基準資料

項目	簿記 番号	写真 図版	出土遺構名 出土年月日	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
格子タタキ1	87 (44.3)	34-41	2区東西溝 灰口土の ところ 74126	凸: 斜格子タタキ 凹: 春日瓦	白色砂粒を含む	やや不良	灰白色	
格子タタキ2	87 (17.13)	41	5号土坑	格子タタキ	~1mmの白色砂粒を含む	良好	青灰色	須恵質
格子タタキ3	87	42	1968-1970地区不明	凸: 斜格子タタキ 凹: 春日 瓦、赤切り瓦、横割瓦	滑、1mm以下の白・黒色砂 粒を多く含む	やや不良	灰白色	軟質
格子タタキ4	87	42	黒色土	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦	滑、2mm以下の白・黒色砂 粒を多く含む	やや不良	淡褐色	土師質
格子タタキ5	87	43	HA32(ハウス681112)	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦、赤切り瓦	滑、1mm以下の白・黒色砂 粒を多く含む	良好	明灰色	須恵質
格子タタキ6	87	43	CK21(ハウス701028)	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦、赤切り瓦	滑、1mm以下の白・黒色砂 粒を多く含む	良好	淡灰色	須恵質
格子タタキ7	87	44	CG19瓦葺	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦	2~3mm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	軟質
格子タタキ8	87 (1.38.16)	44	3号建物跡	凸: 格子タタキ	2mmの砂粒を含む	やや不良	灰白色	
格子タタキ9	87	45	AR-AT21~23黒色土 68126	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦	2~3mm以下の砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質
格子タタキ10	87	45	表碁 840418探査	凸: 格子タタキ、ケズリ 凹: 春日瓦、ケズリ	1mm以下の白砂を含む	良好	紫灰色	須恵質
格子タタキ11	87	46	AM18東西溝SD10 69104	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦	砂粒を多く含む	良好	灰色	須恵質
格子タタキ12	87 (1.40.26)	46	3号建物跡	凸: ハケメ後格子タタキ	2mmの砂粒を含む	やや不良	淡褐色	
格子タタキ13	87 (1.38.19)	47	3号建物跡	凸: 格子タタキ	2mmの砂粒を含む	やや不良	灰褐色	
格子タタキ14	87 (1.39.24)	47	3号建物跡	凸: 格子タタキ	3mmの砂粒を含む	不良	黄灰色	
格子タタキ15	88	48	CM39灰色ハウス701118	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦	やや滑、2mm以下の砂粒を とでも多く含む	やや不良	淡灰褐色	軟質
格子タタキ16	88	48	C1.30黄褐色粘土	凸: 格子タタキ	1~2mmの砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質
格子タタキ17	88	49	1968-1970地区不明	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦	1~2mm以下の砂粒を含む	やや不良	暗灰色	軟質
格子タタキ18	88	49	AA18黄褐色土691299	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦	2~3mm以下の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質
格子タタキ19	88 (1.49.27)	50	3号建物跡	凸: 格子タタキ	5mmの小石を含み粗い	不良	灰白色	
格子タタキ20	88	50	CK 77102	凸: 格子タタキ、ケズリ 凹: 春日瓦、ケズリ	砂粒を多く含む	やや不良	暗灰色	軟質
格子タタキ21	88	51	南北大溝(ハウス 73109)	凸: 格子タタキ 凹: 春日 瓦、横割ケズリ	1mm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	
縄タタキ1	88 (90.1)		CG17黄褐色粘土 701112	凸: 縄タタキ 凹: 漆部、 横割ケズリ	1mm以下の砂粒を含む	やや不良	浅黄褐色	
縄タタキ2	88 (55.9)		東西大溝(ハウス731114・ 南北大溝(ハウス731113)	凸: 縄タタキ 凹: 横 割瓦	1mm以下の白色砂粒を多く 含む	良好	淡赤灰色	須恵質
平行タタキ	88 (17.13)		5号土坑	瓦葺	1mmの砂粒を含む	良好	青灰色	須恵質
ナデ	88 (90.4)		AM35(ハウス691037)	凸: ナデ 凹: 赤切り瓦、 横割・横縁ナデ	粗粒、砂粒を含まない	やや不良	灰白~白	
桶巻き作り 縄タタキ	88 (99.1)	28	CJ16東西溝SD06 灰5049120	凸: 縄タタキ 凹: 横割瓦、 横縁ケズリ	2~3mm以下の砂粒を含む	良好	凸: 灰白 凹: 灰白色	
桶巻き作り 縄タタキ・平行タタキ	88 (2.20.6)	28	AM12東西溝289 SD10 691109	凸: 縄タタキ 凹: 横割瓦、 横縁ケズリ	2~3mm以下の砂粒を含む	良好	凸: 灰~灰白 凹: 黄褐色	

第24表 『出雲国府路1~5』 軒瓦一覽

区分 分類	簿記 番号	掲載 ページ	出土遺構名	種類	器種	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	報告書の 写真図版
1	1.123.37	140	N30E10耕作土	瓦	軒丸瓦	2~3mmの石炭を含む	良好	良好	青灰色	25
2	1.42.13	54	1号建物 P6	瓦	軒丸瓦	2mmの小石を含む	良好	良好	灰黒~黒褐色	
2	1.102.1	118	15号土坑	瓦	軒丸瓦	3mmの砂粒を含む	不良	良好	灰白~黒色	
2	1.109.79	124	16号土坑	瓦	軒丸瓦	3mmの石炭を多く含む	不良	良好	淡灰褐色~灰褐色	
2	1.123.34	140	N77W35	瓦	軒丸瓦	3mmの砂粒を含む	不良	良好	暗灰色~灰白色	
2	1.123.35	140	NGW0	瓦	軒丸瓦	3mmの砂粒を含む	やや不良	良好	灰白~淡黒褐色	
2	1.123.36	140	N72E20	瓦	軒丸瓦	2mmの砂粒を含む	不良	良好	灰褐色	
2	1.123.38	140	N72E5	瓦	軒丸瓦	2mmの石炭を含む	不良	良好	灰褐色	
2	2.56.40	77	N79W10 2層(ハウス 7)	瓦	軒丸瓦	1mm以下の白色砂粒を含む	やや不良	良好	乳褐色	
2	2.56.41	77	第33トレンチ (大倉257) 燼土	瓦	軒丸瓦	白色・黒色の小砂粒を含 む	軟質	良好	灰白~淡褐色	
2	2.56.42	77	N79W10 2層(ハウス 7)	瓦	軒丸瓦	1mm以下の白色砂粒を含む	やや軟質	良好	暗灰褐色	
2	2.43.89	60	大倉30A(燼土)	瓦	軒丸瓦	1mm以下の白色砂粒を含む	良好	良好	乳褐色	
2	3.73.1	92	N30E25 3層	瓦	軒丸瓦	粗砂・砂粒を多く含む	軟質	良好	暗灰白~白褐色	
3	1.38.13	49	3号建物P2	瓦	軒丸瓦	2mm以下の砂粒を含む	良好	良好	乳褐色	25
3	2.46.22	66	N102E20 2層	瓦	軒丸瓦	1mm以下の白色砂粒を含む	やや不良	良好	乳褐色	
3	2.56.43	77	第33トレンチ (大倉257) 燼土	瓦	軒丸瓦	白色の微細砂粒を含む	やや軟質	良好	明褐色	
2	3.39.1	57	一貫瓦1区(N37W75 第1石葺面)	瓦	軒丸瓦	3mm以下の砂粒を多く含む	良好	良好	乳白~暗灰色	
3	3.39.2	57	一貫瓦1区(N32W65 第1石葺面)	瓦	軒丸瓦	3mm以下の砂粒を多く含む	良好	良好	淡明灰色	24
2	3.85.1	105	第38トレンチ N30E23 3層	瓦	軒丸瓦	2mm以下の白色砂粒を含む	やや不良	良好	白褐色~黒灰色	32
3	5.20.3	22	常田地区 2号溝 暗灰色粘土	瓦	軒丸瓦	1~2mmの砂粒を含む	良好	良好	黒色	
5.30.146	33		常田地区 N10E43 黒色土下層	瓦	軒丸瓦	凸: 格子タタキ 凹: 春日瓦	1~2mmの砂粒を含む	やや不良	浅黄褐色	

第25表 恩田清氏・周藤国実氏採集遺物観察表

検出番号	写真 図録	出土地点名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	形態・手法の 特徴	胎土	焼成	色調	備考
4-1		竹矢町三軒家	瓦	軒平瓦				凸：横方向のケズリ、春日瓦型	1~2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	図分1期 恩田清資料 (古代文化センター所蔵)
4-2		竹矢町三軒家	瓦	軒平瓦				凸：横方向のケズリ	1~2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	図分1期 恩田清資料 (古代文化センター所蔵)
4-3		竹矢町三軒家	瓦	軒平瓦				凸：横方向のケズリ、春日瓦型	2~3mm大の砂粒を含む	良好	灰色	図分1期 恩田清資料 (古代文化センター所蔵)
5-1		今宮寄森付近田ヨリ出土 32年2月	土師器	高坏				外面：ナデ 内面：ヘラケズリ	1~2mm大の砂粒を含む	良好	外面：赤色塗彩 内面：脚部は赤色塗彩 ほかは淡黄褐色	周藤国実氏採集資料(風土記の丘展示学術館寄託)
5-2		大草六所社 30.4	土師器	甕	9.2	5.2	2.3		緻密	やや不貞	淡黄褐色	周藤国実氏採集資料(風土記の丘展示学術館寄託)
5-3		大草六所社 30.5	土師器	甕	9.0	3.6	2.5		緻密	やや不貞	淡黄褐色	周藤国実氏採集資料(風土記の丘展示学術館寄託)
5-4		大草六所社 31.4	土師器	高台付甕	8.6	4.8	4.1		1mm大の砂粒を含む	やや不貞	淡黄褐色	周藤国実氏採集資料(風土記の丘展示学術館寄託)
5-5		六所社日岸田出土	養生土器	壺・甕					2~3mm大の砂粒を含む	良好	淡黄褐色	周藤国実氏採集資料(風土記の丘展示学術館寄託)
1001		こくてう軒丸・軒平11号	瓦	軒丸瓦					3~5mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	恩田清資料 (古代文化センター所蔵)
1002		大草町字六所蔵 651222	瓦	軒平瓦				凸：横方向のケズリ、春日瓦型、横断方向のケズリ	1~2mm大の砂粒を含む	良好	暗灰色	恩田清資料 (古代文化センター所蔵)

第26表 出雲国府跡採集筋砥石観察表

検出番号	写真 図録	出土地点	石材	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)	特徴など
6-1		堂田小日岸田採集	細粒花崗岩	砥石	(34.6)	22.2	13.9	11.2	三面を使用
6-2		811225採集	細粒花崗岩	砥石	30.2	18	14.8	10.2	二面を使用

第27表 出雲国分寺跡ほか出土遺物観察表

検出番号	写真 図録	出土遺跡名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	形態・手法の 特徴	胎土	焼成	色調	備考
7-1		米東古墳群南裾野野地古塚69111	土製品	土製文脚				風化	2~3mm大の砂粒を含む	やや不貞	暗褐色	
7-2		風土記の丘駐車場横 79882	須恵器	坏		8.6		ナデ	1mm以下の砂粒をわずかに含む	やや不貞	褐色	表部外面に細書「印+東上」 山陰古代出土文字資料集成1 出雲国分跡50
7-3		出雲国分寺 OK10 灰色砂こほみ 73111	土師器	坏		10.1		外面：ナデ 内面：暗文、ナデ	2mm以下の砂粒を含む	良好	外面淡黄褐色 内面淡褐色	赤色塗彩、山陰古代出土文字資料集成1 出雲国分跡71
7-4		出雲国分寺 OK10 灰色砂質土73110	須恵器	蓋				回転ナデ	0.5mm大の白色砂粒を含む	良好	黒灰色	福書「表」山陰古代出土文字資料集成1 出雲国分跡67
7-5		出雲国分寺 X B GI 黄銅砂71112	須恵器	坏		8.2		回転ナデ	密、ごく少量の砂粒を含む	良好	灰色	福書「表」山陰古代出土文字資料集成1 出雲国分跡71
7-6		出雲国分寺 X B GI 黄銅砂71102	須恵器	風字硯				ナデ	2mm以下の砂粒を含む	良好	青灰色	残存長さ6cm、残存幅7.3cm、高さ1.6cm

第28表 神魂神社所蔵(県寄託)資料観察表

検出番号	写真 図録	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	形態・手法の 特徴	胎土	焼成	色調	備考
8-1		養生土器	壺				ナデ	1mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	淡灰色~淡褐色	
8-2		須恵器	蓋	21.2			回転ナデ	1mm以下の白色砂粒を含む	良好	灰色	
8-3		須恵器	坏	9.7	3.3		回転ナデ、へう切りのちナデ	1~2mm大の砂粒を含む	良好	暗褐色	
8-4		須恵器	高台付坏		8.0		回転ナデ、回転糸切	1~2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	
8-5		須恵器	壺	14.8			外：平行タタキ 内：同心円当て 具痕	2~3mm以下の砂粒を含む	良好	青灰色	
8-6		須恵器	甕				外：波状文	1.5mm以下の白色砂粒を多く、 黒色細砂粒をわずかに含む	良好	暗灰色	
8-7		須恵器	壺				外：波状文	2~3mm以下の砂粒を含む	良好	青灰色	
8-8		須恵器	壺				外：波状文	1mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	暗褐色	
8-9		須恵器	壺				外：波状文	1mm以下の砂粒を少し含む	良好	黄灰色	
8-10		須恵器	長頸瓶				回転ナデ	1mm以下の砂粒を多く含む	良好	淡灰色~淡褐色	
8-11		輪部	埴輪				盛り目	3~5mm以下の砂粒を多く含む	良好	淡灰色~赤灰色	
8-12		唐津	碗				回転ナデ、回転ヘラケズリ	1~2mm以下の砂粒を含む	良好	淡黄褐色	
8-13		瓦	平瓦	14.8			凸：格子タタキ	1mm以下の白色砂粒を密に含む	良好	青灰色	須恵質
8-14		瓦	塼				凸：縄タタキ	1mm以下の砂粒を含む	良好	淡褐色	
8-15		土製品	土製文脚					1mm以下の砂粒を多く含む	良好	淡褐色~暗褐色	
8-16		石製品	打製石斧	長さ36.6	幅6.4	厚さ3.1					重量400g
8-17		石製品	不明	長さ17.7	幅2.6	厚さ4.8					土質、重量895g

第29表 2006~2007年度調査出土遺物観察表

碑号	写真 図説	出土遺物名 出土年月日	種類	部種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
10-1		T66 70号遺跡灰白色粘質土 060901	灰泥器	坏				回転ナデ	1mm以下の白・黒色砂粒をやや多く含む	良好	灰白色	
10-2		T66 70号遺跡灰白色粘質土 060830	灰泥器	坏				回転ナデ	1mm以下の白・黒色砂粒を少し含む	良好	灰色	
10-3		T66 70号遺跡灰白色粘質土 060901	灰泥器	坏				回転ナデ	白色細砂粒を少し含む	良好	内面：灰色 外面：灰白色	
10-4		T66 70号遺跡灰白色粘質土 060901	灰泥器	高台付坏				回転ナデ	2mm以下の白・黒色砂粒を多く含む	良好	灰色	
10-5		T66A色砂利層 061001	灰泥器	高台付坏				回転ナデ	1mm以下の白色砂粒を多く含む	良好	灰白色	
10-6	16	T66A色砂利層 060801	灰泥器	平盤				ヘラツクリ	白・黒色砂粒を少し含む	良好	灰色	肥子
10-7	16	T66A色粘質土 060801	灰泥器	円筒器				回転ナデ	白色砂粒を多く含む	良好	明青色色	
10-8		T66A色砂利層 060801	土師器	高台付坏				回転ナデ	2mm以下の砂粒を多く含む	良好	浅黄褐色	
10-9		T66A色砂利層 060801	土師器	坏		3.8		回転ナデ	白色細砂粒を多く、赤色砂粒をわずかに含む	良好	灰白色	底面・断面に傷行者
10-10		T66A色砂利層 061001	土師器	坏		4.0		回転ナデ	白・褐色砂粒を少し含む	良好	浅黄褐色	
10-11		T66A色砂利層 060801	土師器	高台付坏		3.6		回転ナデ	1mm以下の褐色砂粒を少し含む	良好	浅黄褐色	
10-12		T66耕作土 060831	白磁	碗					磨製	良好	灰白色	
10-13	16	T66塚土 061016	中国陶器	鉢				回転ナデ	2mm以下の白色砂粒を非常に多く含む	良好	黄灰色	鉢1-10組
10-14	16	T66A色砂利層 060801	瓦	軒瓦					1mm以下の砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質、面付守割
10-15	16	T66A色砂利層 060801	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日庄重	1~2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	灰泥質
10-16	16	T66A色砂利層 №11 060901	瓦	平瓦				凸：格子タタキ20 凹：春日庄重、赤切り敷	0.5~1mmの砂粒を多く含む	良好	青灰~灰色	灰泥質
10-17	16	T66A色砂利層 060901	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日庄重	0.5~1mmの砂粒を多く含む	良好	灰色	灰泥質
10-18		T66A色砂利層 №2 060901	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日庄重	3mm大の石を含む	不良	灰白色	土師質
10-19		T66A色砂利層 060802	瓦	丸瓦				凸：格子タタキ2 凹：春日庄重	0.5~1mmの白色砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質
10-20	16	T66A色砂利層 №5 060901	瓦	軒平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日庄重、飯取庄重	磨製、1~2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	灰泥質
10-21	16	T66A色砂利層 060725	瓦	平瓦				凸：網タタキ 凹：表面風化	0.5~1mmの砂粒を多く含む	不良	黒灰~黄褐色	軟質
10-22		T66A色砂利層 060802	瓦	丸瓦				凸：ナデ 凹：春日庄重	0.5~1mmの砂粒を含む	良好	にじみ黄褐色	土師質
10-23		T66耕作土 060831	瓦	軒平瓦				凸：格子タタキ 凹：表面風化	1~2mm大の砂粒を含む	良好	浅黄褐色	軟質(土師質)、磨7~10組
	16	T66A色砂利層 060801	灰泥器	坏					1mm大の砂粒を含む	良好	灰色	内面に傷行者
13-1	17	T47SK01南区 南灰土 060922	灰泥器	甕 (13.4)				回転ナデ、大甕形：回転ヘラツクリ	黒・細砂粒、白色細砂粒を少し含む	良好	黄褐色	
13-2	17	T47SK01北北東 南灰土 060924	灰泥器	有蓋高坏				回転ナデ、外面：ナシによる割製	黒、1mm以下の砂粒、白色砂粒を多く含む	良好	黄褐色	
13-3	17	T47SK01060914	灰泥器	甕				回転ナデ、回転ヘラツクリ、ナデ	やや重、2mm以下の砂粒、白色砂粒を多く含む	良好	黄褐色	
13-4		T47SK01南灰土 №2 060929	灰泥器	高台付坏		19.0		回転ナデ、ナデ、回転糸切り	黒、黒色細砂粒を少し含む	良好	灰白色	外面傷付着
13-5	17	T47SK01 №25 061016	灰泥器	甕				回転ナデ	黒、白・黒色砂粒を少し含む	良好	明灰色	
13-6	17	T47SK01 №5 南灰土 060929	灰泥器	甕				外面：平行タタキ 内面：同心円文当て具敷	白色砂粒を含む	やや不良	黄褐色	
13-7		T47SK01 №7 南灰土 060929	灰泥器	甕				外面：平行タタキ 内面：同心円文当て具敷	白色砂粒を含む	良好	青灰色	外面自然釉
13-8	17	T47SK01 №29 061016	瓦	平瓦				凸：網タタキ 凹：春日庄重	1~2mm大の白色砂粒を含む	良好	灰色	灰泥質
13-9	17	T47SK01南灰土 粘質土 №4 060920	瓦	平瓦				凸：格子タタキ2 凹：春日庄重 (赤切り敷)	黒、1mm以下の砂粒、白色砂粒を多く含む	良好	黄灰色~黄褐色	土師質
13-10	17	T47SK01 №18 061016	瓦	平瓦				凸：北形格子タタキ 凹：春日庄重	0.5mm前後の砂粒を多く含む	良好	灰白~灰色	軟質
13-11		T47SK01 №20 061016	瓦	平瓦				凸：網タタキ 凹：ナデ方ヘラツクリ	0.5~1mmの砂粒を多く含む	不良	黄褐色	土師質
13-12	17	T47SK01南灰土 粘質土 №1 060920	瓦	平瓦				凸：網タタキ 凹：春日庄重	0.5mm程度の砂粒を含む	良好	にじみ黄褐色	土師質
13-13		T47SK01南灰土 粘質土 №3 060920	瓦	平瓦				凸：ナデ 凹：春日庄重	0.5~2mmの砂粒を含む	不良	黄褐色	土師質
13-14		T47SK01 №20 061016	瓦	丸瓦				凸：網タタキ後ナデ 凹：春日庄重	1~3mm大の砂粒を含む	良好	灰色	軟質
13-15		T47SK01 №24 061016	瓦	丸瓦				凸：ナデ 凹：春日庄重	3~5mm大の小粒を含む	良好	灰色	軟質
14-1		T47SK01南区下層 060922	灰泥器	坏 (120)	6.8	35.0		回転ナデ、ナデ、回転糸切り	黒、白色砂粒を少し含む	良好	灰白色	
14-2	17	T47SK01 060914	灰泥器	高台付坏 (11.7)				ナデ、回転ナデ、回転糸切り	黒、白色細砂粒を少し含む	良好	黄褐色	
14-3		T47SK01 060914	土師器	坏 (6.3)				回転ナデ、ナデ、回転糸切り	黒、砂粒、赤色砂粒を少し含む	良好	黄褐色	
14-4	17	7号 塚内調査区 赤瓦 №9 061001	土師器	皮張高台付坏		8.2		回転ナデ、回転糸切り	黒、1mm以下の砂粒を多く含む	良好	黄褐色	
14-5	16	T47SK01 №11 061016	土師器	肥子				ナデ、ヘラツクリ	0.5~1mmの砂粒を多く含む	良好	黄褐色	

編目 番号	写真 図説	出土遺物名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
14-7		T47SK01 No.31 061016	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日瓦重	0.5-1mmの砂粒を多く含む	やや不貞	淡黄-灰色	土質質
14-8	17	T47SK02 No.8 060928	瓦	丸瓦				凸：縄目タタキ後ナデ 凹：春日瓦重、ナデ	0.5-1mmの砂粒を少量含む	良好	灰白色	軟質
14-9		T47SK01 No.12 061016	瓦	丸瓦				凸：表面磨耗 凹：春日瓦重	やや不貞、3mm以下の砂粒を多く含む	良好	暗灰色-茶褐色	土質質
14-10	17	T47SK01 No.33 061018	瓦	丸瓦				凸：縄目タタキ後ナデ 凹：春日瓦重	0.5mmの砂粒を含む	不貞	灰黄色	土質質
14-11	17	T47SK01 No.10 061016	瓦	復元瓦				凸：表面磨耗 凹：春日瓦重	0.5-1mmの砂粒を多く含む	良好	灰色	土質質
15-1	16	T47 061016	土師器	高坏	(19.8)			凹：ナデ	0.5-1mmの砂粒を多く含む	良好	にじみ-黄灰色	
15-2	16	T47陶器土(透成土) 061012	土師器	修飾式甕				ハケ目、ヘラケズリ	0.5-1mmの砂粒を細かに含む	良好	褐色	基部
15-3	16	T47東葉サプトレ 型台1.060803	土師器	蓋				凹：ナデ	微砂粒を含む	良好	淡褐色	つまみ部
15-4		T47東葉サプトレ No.060823	土師器	杯	(12.8)	(5.8)	3.5	凹：ナデ	0.5mm程度の砂粒を含む	良好	淡褐色	
15-5		T47東葉サプトレ No.060833	土師器	杯	(14.8)			凹：ナデ	微砂粒を含む	良好	褐色	
15-6		T47黑色土.060908	土師器	皿	(11.4)			凹：ナデ	0.5-1mmの砂粒を含む	良好	黄褐色	
15-7		T47耕作土.060817	土師器	杯	(15.8)			凹：ナデ	微砂粒を含む	良好	にじみ-黄褐色	
15-8		T47耕作土-灰褐色 土.060818	土師器	皿	(6.4)			凹：ナデ	0.5-1mmの砂粒を含む	良好	淡黄-にじみ-黄褐色	
15-9		T47 No.32 061016	土師器	皿	5.6			凹：ナデ	0.5mm程度の砂粒を含む	良好	淡黄-淡褐色 (内面赤影?)	
15-10	16	T47耕作土-灰褐色 土.060817	土師器	皿	5.2			凹：ナデ	0.5-1mmの砂粒を含む	良好	淡褐色	
15-11		T47 No.30 061006	土師器	杯	(7.6)			凹：ナデ、ナデ	0.5-1mm程度の砂粒を含む	良好	淡褐色	
15-12		T47黑色土.060908	土師器	杯	(6.2)			凹：ナデ	0.5mm程度の砂粒、黒色ガラス砂粒を含む	良好	にじみ-褐色	
15-13		T47耕作土.060801	土師器	高台付杯	(6.2)			凹：ナデ	微砂粒を含む	良好	淡褐色	
15-14	16	T47耕作土.060802	土師器	高台付皿	(11.6)	(7.2)	3.00	凹：ナデ	0.5-1mmの砂粒を含む	良好	にじみ-淡褐色	
15-15	16	T47耕作土.060802	土師器	高台付皿	(11.6)	(5.8)	2.0	凹：ナデ	0.5mm程度の砂粒を少量含む	良好	にじみ-黄灰	
15-16		T47ハコト西耕作土 F.060823	土師器	高台付杯	8.4			凹：ナデ	0.5mmの砂粒を含む	良好	褐色	
15-17		T47耕作土.060801	土師器	高台付杯	(5.2)			凹：ナデ、ナデ	微砂粒を含む	良好	淡褐色	
15-18		T47東葉サプトレ No.060833	土師器	高台付皿	(5.6)			凹：ナデ	0.5-1mmの砂粒を含む	良好	外面-淡褐色 内面-灰色	
15-19		T47耕作土.060817	土師器	柱状高台付杯	(5.6)			凹：ナデ、ナデ	微砂粒を含む	良好	褐色	
15-20		T47耕作土.060817	土師器	柱状高台付杯	(4.4)	2.6		凹：ナデ	微砂粒を含む	良好	淡褐色	
15-21		T47耕作土.060817	土師器	柱状高台付杯	(4.6)			凹：ナデ	微砂粒を含む	良好	にじみ-褐色	
15-22		T47ハイF.061021	灰質土器	鉢				外面：ナデ 内面：ナデ	密	良好	灰白-灰色	口縁部尖直状着
15-23	16	T47黒の戻し土 No.060833	瓦	軒丸瓦				ナデ	密、1mm以下の砂粒を多く含む	良好	暗褐色	土質質、因分32類
15-24	16	T47ハイF.061021	瓦	軒丸瓦				ナデ	1mm以下の砂粒を含む	やや不貞	浅黄褐色	軟質、因分32類
15-25		T47黑色土.060908	瓦	平瓦				ハケ目、ナデ	0.5mm程度の砂粒を含む	白色精緻	灰白色	
15-26	16	T47耕作土-灰褐色 土.060818	瓦	平瓦				格子タタキ、春日瓦重	1mm程度の砂粒を含む	良好	灰色	軟質
15-27		T47東葉サプトレ 型台1.060803	瓦	平瓦				ナデ、春日瓦重	0.5-1mmの砂粒を多く含む	良好	灰白色	軟質
18-1	18	T49陶の戻し土 070921	灰質土器	坏身	(10.2)			凹：ナデ、ナデ、 ヘラケズリ	密、1mm以下の白・黒色砂粒を全体に少し含む	良好	淡灰色	
18-2		T49陶の戻し土 071120	灰質土器	坏身	(10.4)			凹：ナデ	密、1mm以下の白・黒色砂粒を多く含む	良好	淡灰色	
18-3		T49ハイF.071126	灰質土器	高坏				凹：ナデ	密、1mm以下の白色砂粒、黒色微砂粒を少し含む	良好	淡灰白色	
18-4		T49中世ビット型 戻し土.071018	灰質土器	高坏	(9.2)			凹：ナデ	密、1mm以下の白色砂粒を多く含む、黒色砂粒を僅かに含む	良好	淡灰色	
18-5	19	T49陶の戻し土 070921 070925	灰質土器	長筒無蓋 高坏	(6.8)			凹：ナデ、ハケ目	密、1mm以下の白・黒色砂粒を多く含む	良好	暗灰色	
18-6	18	T49陶の戻し土 070925	灰質土器	腹瓶				凹：ナデ、平行タタキ、ナデ、 同心円文で当具	密、2mm以下の白・黒色砂粒を全体に多く含む	良好	暗灰色	
18-7	18	T49陶の戻し土 070925	灰質土器	節弁				凹：ナデ、透成土、ナデ	密、1.5mm以下の白・黒色砂粒を多く含む、褐色砂粒を細粒に含む	良好	暗灰色	長方形通かじり方以上
18-8	18	T49陶の戻し土 070928	土師器	ミニホウ 上器	(7.8)	(14.0)		ナデハナテ、ナデ、ヨコハテ	密、1.5mm以下の砂粒、白・黒色微砂粒を多数含む	良好	明暗褐色	備付者、面で整形
18-9	18	T49陶の戻し土 070920	瓦	軒丸瓦					3-4mm以下の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	軟質、因分32類
18-10	18	T49陶の戻し土 070920	瓦	軒丸瓦				凸：珠文帯 凹：ナデ	1mm以下の砂粒を含む	やや不貞	淡褐色	軟質
18-11	18	T49陶の戻し土 070920	瓦	軒丸瓦				凸：珠文帯 凹：ナデ	2mm以下の砂粒を密に含む	やや不貞	淡褐色	軟質
18-12	18	T49陶の戻し土 071011	瓦	復元瓦				凸：格子タタキ7(磨れ影あり) 凹：春日瓦重	2-3mm以下の砂粒を含む	良好	暗灰色	幅13cm、厚5.2cm
18-13	18	T49陶の戻し土 070925	瓦	復元瓦				凸：格子タタキ 凹：春日瓦重	2-3mm程度の砂粒を含む	良好	灰白色	軟質
18-14	18	T49陶の戻し土 070925	瓦	復元瓦				凸：格子タタキ17 凹：春日瓦重、未磨り	1mm程度の白色砂粒を含む	やや不貞	灰白色	軟質

練土 番号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
21-1		T50 2号溝	白磁	皿					黒色砂粒を含む	良好	灰白色	節目・溝筋
21-2		T50 2号溝	白磁	碗					黒色砂粒を含む	良好	灰白色 釉：黄白色	輪1期
21-3	18	T50 黒色土 071010	土製品	土鉢					2m大の砂粒を含む	良好	灰白色	
21-4	18	T50赤土	土製品	土鉢					1~2m大の砂粒を含む	良好	淡褐色	
21-5	18	T50 071101	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：ナデ (一部春日庄)	1~2m大の砂粒を含む	やや不良	浅黄褐色	軟質
21-6	18	T50 2号溝黒色土 №5 071101	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：ナデ、春日庄	2~4m内の砂粒を含む	良好	灰白色	
21-7	19	T51 071122	灰磁器	高台付瓶	22.6	17.8	3.0	回転ナデ	0.5mmの白色砂粒を含む	良好	灰白色	内面に墨痕あり
21-8	19	T51 071122	灰磁器	高杯	24.5		(7.5)	外面：回転ナデ、回転ヘラズリ 内面：回転ナデ、ナデ	砂粒を多く含む	良好	靑灰~灰色	
21-9	19	T51 071122	灰磁器	高杯		12.5	(13.1)	回転ナデ、ナデ	0.5~1mmの砂粒を多く含む	不良	淡紫色	外面に黒・付着
21-10	18	T51	土師器	杯		8.5		回転糸切り	緻密	良好	灰白色	外面に赤色顔料塗布
21-11		T51 071122	白磁	皿				回転ナデ	密	良好	白~白青色	節目・釉化、内面施釉
21-12		T51 071122	白磁	碗	16.4		(4.0)	回転ナデ	黒色砂粒を含む	良好	灰白色	緻密
21-13	18	T51№4 071122	瓦	丸瓦				凸：ナデ 凹：春日庄	1.4×0.8cmの礫を含む	良好	灰白色	軟質
21-14	18	T51 62号溝 №27・28 071122	瓦	圓平瓦				凸：格子タタキ後部直圧痕 凹：ナデ、春日庄	4m大の礫を含む	やや不良	灰色	軟質、幅11cm
21-15		T51木間継作土	石製品	不明								ゴド石、逆方完成品少
28-1	20	N35W25 SD0001 練土	灰磁器	高台付杯	14.0	7.2	2.6	回転ナデ	精良	良好	灰~灰白色	軟用磁
28-2	20	N35W30 SD0001	灰磁器	高台付杯		13.8	(3.2)	外面：回転ヘラズリ 内面：回転ナデ	1mm程度の白色砂粒を含む	やや不良	灰褐色	
28-3	21	N35W25 70号溝練土	土師器	瓶	12.8	8.3	1.9	回転ナデ	密、砂粒を含む	良好	淡褐色	
28-4	20	N35W20 70号溝練土071107	土師器	軒丸瓦					4m大の砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質、固分多量
28-5	20	N35W208種キヤ トシ遺埋土070910	瓦	軒丸瓦					1~2m大の砂粒を含む	やや不良	灰色	軟質
28-6	20	N35W25内種 SD001練土071025	瓦	軒丸瓦					1~2m内の砂粒を含む	やや不良	灰色	軟質
28-7	20	N35W30 70号溝 №195 071119	瓦	平瓦				凸：格子タタキ12 凹：春日庄	4m大の礫を含む	やや不良	灰色	軟質
28-8	20	N35W25 70号溝練 土№8007102	瓦	平瓦				凸：格子タタキ18、磨れ砂 凹：ナデ	1m大の砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質
28-9	20	N35W25 70号溝練 土№126 071099	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日庄	2~3m大の砂粒を含む	やや不良	灰色	軟質、全体に風化
28-10	20	N35W25 70号溝練 土№84 071102	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日庄	精良	良好	灰白色	灰磁器 (厚膜)
28-11	20	N35W25 70号溝練 土№94 071102	瓦	圓平瓦				凸：格子タタキ一部ナデ、磨 れ砂 凹：春日庄	1~2m大の砂粒を含む	良好	浅黄褐色	幅12cm
30-1	20	N35W35 71号溝 練キヤトシ№4	灰磁器	蓋				回転ヘラズリ、ナデ、回 転ナデ	白色砂粒を含む	良好	灰~靑灰色	
30-2	20	N35W35 71号溝 練キヤトシ№1 070921	灰磁器	高杯				風化	白色砂粒を含む	やや不良	灰白色	坏部
30-3	20	N35W35 71号溝 練キヤトシ 071001	土師器	高台付杯			(1.9)	風化のため不明	微細砂を含む	良好	淡黄褐色	
30-4	20	N30W35 71号溝 練キヤトシ№2	瓦	軒丸瓦					1~2m大の砂粒を含む	やや不良	灰色	軟質、固分多量
30-5	20	N30W35 71号溝 №160	瓦	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日庄	1m大の砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質
30-6	20	N30W35 71号溝 №177 071116	瓦	平瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂、 磨れタタキ 凹：糸切り、ナデ	1~2m大の砂粒を含む	やや不良	灰白色 凹：浅黄褐色	軟質
30-7	20	N30W35 71号溝 №176	瓦	平瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：ナデ	1~2m大の砂粒を含む	やや不良	凸：灰色 凹：浅黄褐色	軟質
34-1		N30W20 井桁	灰磁器	高台付杯	12.6	12.7		回転ナデ	精良 白色砂粒を含む	良好	灰白色	
34-2	21	N30W10 井桁	灰磁器	蓋	20.0			外面：回転ナデ、タタキ 内面：回転ナデ、当て具痕	精良 白色砂粒を含む	良好	灰白色	
34-3	23	N25W10溝ベル ト南整地土071025	灰磁器	蓋				回転ナデ、ナデ	白色砂粒を含む	良好	灰白色	
34-4	23	N30W10 南側キヤ トシ上	灰磁器	蓋				回転ナデ	5m大のレキを含む	良好	灰色	
34-5	23	N30W15 整地土	灰磁器	蓋	15.0	2.4		外面：回転ヘラズリ、回 転ナデ 内面：回転ナデ	0.5~1mmの砂粒を含む	良好	灰色	
34-6	21	N30W10 井桁	灰磁器	蓋	14.4	3.4		外面：回転ヘラズリ、回 転ナデ 内面：回転ナデ	白色砂粒を含む	やや不良	灰黄色	
34-7	21	N25W10井桁 №13整地土071118 N25W10南側キヤ トシ遺埋土071001	灰磁器	蓋	(16.4)		(4.1)	回転ナデ	白色砂粒を含む	良好	靑灰色	
34-8	21	N30W10 井桁	灰磁器	蓋	15.9	4.7		回転ナデ	0.5~1mmの白色砂粒を 多く含む	やや不良	灰~靑褐色	
34-9	23	N25W10・N30W10	灰磁器	蓋	19.4		(3.5)	外面：回転ヘラズリ、 回転ナデ 内面：回転ナデ	密	良好	灰~灰白色	
34-10	21	N30W10 井桁	灰磁器	杯	11.4	7.4	3.5	回転ナデ	0.5~1mmの砂粒を含む	良好	灰~灰褐色	
34-11		N30W10 井桁	灰磁器	杯	11.2	9.9	3.6	回転ナデ	0.5mm程度の白色砂粒 を含む	やや不良	灰~靑褐色	
34-12		N25W10 井桁	灰磁器	杯	7.6		(2.2)	回転ナデ	0.5mm程度の砂粒を 多く含む	良好	灰色	
34-13		N30W15 整地土	灰磁器	杯		3.9		回転糸切り	1~2m大の砂粒を含む	良好	灰色	
34-14		N25W10 井桁	灰磁器	高台付杯	11.4	7.4	3.5	回転ナデ	1mm程度の砂粒を多 く含む	良好	灰色	

標品 番号	写真 添付	出土遺物名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	直径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
34-15		N25W10 身付 整地上	磁器器	高台付杯		7.6	(2.9)	回転ナデ	精良	良好	灰色	
34-16		N25W10身付 №16 整地上	磁器器	高台付杯	(6.4)	(1.6)		回転ナデ、ナデ	白色砂粒を含む	良好	紺灰色	
34-17		N25W10身付	磁器器	高台付杯	11.3	(2.1)		回転ナデ	1mm程度の砂粒を多く含む	良好	灰～灰白色	
34-18		N30W10南側サツ トレ	磁器器	高台付皿	17.8	13.0	3.2	回転ナデ	0.5～1mmの白色砂粒を含む	良好	灰色	
34-19	21	N25W10 身付 整地上	磁器器	高台付杯	13.0	8.8	10.0	外面：回転ヘラズリ、内 面：回転ナデ	微砂粒を多く含む	良好	紺灰～灰色	
34-20		N25W10身付 №8 南側・整地 土溝ヘルト北 071108	磁器器	高台付皿	(18.0)	(12.6)	(3.6)	回転ナデ、ナデ	紫、白色砂粒を含む	良好	紺灰色	
34-21		N25W10 整地上	磁器器	高台付皿	16.6	12.8	3.5	回転ナデ	白色砂粒を含む	不貞	褐色	
34-22	21	N30W10身付 №31 071109	磁器器	蓋	2.1		(6.3)	削いナデ、タタキ、当て具		良好	灰色	
34-23	23	N25W20サツト レ整地土070903	磁器器	蓋				回転ナデ、ナデ	白色砂粒を含む	良好	灰白～紺灰 色	
34-24		N30W15ヘルト 北北東土 (北) 071005	磁器器	蓋	(12.4)		(3.0)	回転ナデ、ナデ	0.5mm～1mmの白色砂 粒を含む	良好	暗青色	
34-25	21	N30W30西・南側 サツトレ	磁器器	蓋	13.4		(2.6)	回転ナデ	精良	良好	灰色	
34-26	21	N25W20 整地上	磁器器	蓋	14.4		(2.1)	回転ナデ	1～2mmの砂粒を含む	良好	灰色	
34-27	23	N30W20サツト レ	磁器器	皿	10.4	6.6	2.9	回転ナデ	1mm以上の砂粒を含む	良好	灰白色	
35-1		N35W25灰色砂利 層一敷地上	磁器器	杯*				ナデ	1mm以下の砂粒を含む	良好	灰色	内面に漆付着
35-2		N35W30灰色砂利 層№66	磁器器	杯*				回転ナデ、ナデ	白色砂粒を含む	良好	灰白色	
35-3		N30W25東北側 灰色砂利層上面 070918	磁器器	皿				回転ナデ	精良	良好	灰色	
35-4		N35W30灰色砂利 層№26	磁器器	羹				タタキ、当て具	紫、白色砂粒を含む	良好	灰白色	
35-5	21	N35W30灰色砂利 層№69&70 071021	磁器器	羹	(18.4)		(6.9)	回転ナデ、タタキ、当て具	白色砂粒を含む	良好	灰色	
35-6	23	N30W25砂利層一 敷地上上面	磁器器	碗				回転ナデ、ナデ 底面：回転未切リ	精良	良好	灰白色	
35-7		ハイド071126	磁器器	風子碗				回転ナデ、ナデ	白色砂粒を含む	良好	灰色	
35-8		ハイド071127	磁器器	圓形四角 皿				回転ナデ	紫	良好	灰色	
35-9		ハイド071128	磁器器	圓形四角 皿				回転ナデ	紫	良好	暗部	
35-10	23	N35W25 灰色砂利層	磁器器	圓形四角 皿	23.8	(1.8)		回転ナデ	精良	良好		
35-11		N35W20 柱穴	土器器	杯				風化	1mm以下の砂粒を含む	やや不貞		
35-12		N25W30灰色砂利 層№43 071004	土器器	高台付杯				回転ナデ、ナデ	1～2mmの白色砂粒を 含む	良好	淡黄褐色	
35-13		N35W30灰色砂利 層№63 071025	土器器	高台付杯				風化	白色砂粒を含む	良好	淡褐色	
35-14		N35W30灰色砂利 層№63 071025 灰色砂利層№19 071004	土器器	柱状高台 付杯	3.6	(2.4)		ナデ	0.5～1mmの砂粒を含む	良好	淡褐色	
35-15		N25W20 灰色砂利層	土器器	高台付杯 *皿		4.4		風化	2～3mm大の砂粒を含む	良好	淡黄褐色	
35-16	23	N25W10昭和調査 16期の戻し土	陶磁器	羹*	(10.0)			回転ナデ	釉面	良好	内面：灰白色 外面：オリーブ 灰色	
35-17		N30W15 南側サツトレ 水田耕作土	青磁						釉面	良好	オリーブ灰色	越州産系
35-18		N35W15 SD0001 直上	信楽系	皿				見込みに砂目	釉面	良好	外面：濃い 黄褐色 外面： 灰白色	
35-19	23	N30W35灰色砂利 層	磁器器*						釉面	良好	内・外面：オ リーブ灰色 断面：灰色	
35-20		ハイド071128	土製品	土鍋				ナデ	0.5～1mmの砂粒を含む	良好	褐色	長さ：45cm 最大幅：15cm 孔径：0.5cm 重さ：7.8kg
35-21		N30W15昭和水利 層070827	土製品	土鍋				ナデ	長石を含む	良好	に黄い灰色	長さ：34.4 cm 最大幅：13cm 孔径：0.5cm 重さ：5.5kg
35-22		N30W30昭和水利 層071018	土製品	土鍋				ナデ	砂粒を含む	良好	淡褐色	長さ：38cm 最大幅：15cm 孔径：0.5cm 重さ：7.5kg
36-1	22	N25W20灰色砂利 層上面	瓦	軒丸瓦					2～3mm以下の砂粒を 含む	やや不貞	灰白色	軟質、回分2型
36-2	22	ハイド071129	瓦	軒丸瓦					2～3mm以下の砂粒を 含む	やや不貞	紺灰色	軟質、回分2型
36-3	22	N30W35東北側 水利層070919	瓦	軒丸瓦				凸：ナデ	2～3mm以下の砂粒を 含む	やや不貞	紺灰色	軟質、回分2型
36-4	22	N25W30灰色砂利 層上面070918	瓦	軒丸瓦				凸：ナデ	1mm以下の砂粒を含む	やや不貞	淡黄褐色	軟質
36-5	22	N30W35雑草中 №179 071116	瓦	軒丸瓦				凸：コ方向のタズリ	2～3mm大の砂粒を含む	良好	灰色	軟質、回分3型
36-6		N35W20砂利一 敷層070918	瓦	軒丸瓦					1～2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	軟質、瓦当面は風化 剥離
36-7		N35W20灰色砂利 層№120 071108	瓦	軒丸瓦					4～5mm大の礫を含む	やや不貞	灰白色	軟質、丸瓦部
36-8		N35W30灰色砂利 層070920	瓦	軒丸瓦					2～4mm大の砂粒を含む	やや不貞	淡黄褐色	軟質

練土 番号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
36-9	22	N35W20内側サ ツレ砂利層No1	丸	丸瓦				凸：格子タタキ、器面ケズリ 凹：春日圧痕、赤切り、 縦線ケズリ	2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	須恵質
36-10	22	N35W25灰色砂利 層No194	丸	軒丸瓦				凸：格子タタキ、器面・器 底ケズリ、凹：春日圧痕、 赤切り、縦線・縦線ケズリ	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質
36-11	22	N35W20内側サ ツレ砂利層・埋戻 070914	丸	平瓦				凸：格子タタキ 凹：春日圧痕、縦線ケズリ	2-3mm大の砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質
36-12	22	N35W20灰色砂利 層No52	丸	平瓦				凸：格子タタキ17、器面砂 凹：ナデ	2-3mm大の砂粒を含む	やや不良		軟質
36-13		N30W35敷地土 (埋戻り) No192 071116	丸	平瓦				凸：格子タタキ23、器面砂 凹：春日圧痕、赤切り痕	器・2mm以下の白・ 黒色砂粒を多く含む	良好	赭灰色	軟質
37-1	23	N35W35敷地上土 面No171 071116	丸	平瓦				凸：縦タタキ、器面ケズリ、 器面板伏工具によるタタキ 凹：春日圧痕、縦線ケズリ	1mm大の砂粒を含む	良好	灰赤～赤灰 色	
37-2	23	N35W30灰色砂利 層No34 071104	丸	平瓦				凸：縦タタキのちナデ 凹：春日圧痕をナデす	1-3mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	須恵質
37-3	23	N35W20灰No132 071119	丸	平瓦				凸：ケズリ 凹：ナデ、器面ケズリ	1mm以下の砂粒を含む	やや不良	灰色	軟質
37-4	23	N35W15灰色砂利 層No199	丸	丸瓦				凸：ナデ 凹：春日圧痕	1-2mm大の砂粒を含む	やや不良	灰白色	軟質、有段式丸瓦（玉 縁部長径3cm）
37-5	23	N30W35砂利埋戻 成土上面071002	丸	丸瓦				凸：器面・器面ケズリ 凹：縦線ケズリ、春日圧痕	1mm大の砂粒を含む	やや不良	灰色	軟質、有段式丸瓦（玉 縁部長径4.7cm）
37-6	23	N35W20灰側サ ツレ色砂利層	丸	丸瓦				凸：ナデ 凹：ナデ、春日圧痕	1mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質、有段式丸瓦 （玉縁部）
37-7	23	N35W20灰色砂利 層No54	丸	丸瓦				凸：ナデ 凹：春日圧痕	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質、有段式丸瓦 （玉縁式）
37-8	23	N35W25東から 1.5cm灰色砂利層	丸	丸瓦				凸：縦線ケズリ 凹：縦線ケズリ	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質、有段式丸瓦 （玉縁部）
37-9	23	N35W25埋和水回 壁上面070802	丸	丸瓦				凸：縦線ケズリ 凹：縦線ケズリ、春日圧痕	2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質、有段式丸瓦 （玉縁部）
37-10	23	N35W25東から 1.5cm灰色砂利層	丸	丸瓦				凸：ナデ 凹：縦線ケズリ、春日圧痕	1mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質
37-11	23	N35W20灰色砂利 層No112	丸	丸瓦				凹：春日圧痕	1mm以下の砂粒を含む	やや不良	浅黄褐色	軟質、無段式丸瓦（玉 縁部あり）
37-12		N35W25灰色砂利 層	丸	隅切丸瓦				凸：ナデ 凹：赤切り	1-2mm大の砂粒を含む	やや不良	灰白色	

第30表 2006～2007年度調査出土石製品・玉作関係遺物観察表

押図番号	写真図版	出土遺構名 出土年月日	石材	器種	長さ(cm)	幅(cm)	幅(cm)	重量(g)
35-23		N25W20畦西側昭和和田層 070903	黒曜石	石鏃	(1.1)	(1.2)	0.2	0.22
35-24		N30W25昭和和田層071013	玉髓	二次加工のある剥片	1.80	1.60	0.40	0.87
35-26		N30W30畦昭和和田層 071015	水晶	平玉成品	1.70	1.90	0.70	3.28
35-27		N30W25畦南側昭和和田層 070903	水晶	平玉成品	1.70	1.70	0.90	3.29
35-28		N30W25畦北側昭和和田層 070903	水晶	平玉成品	1.00	1.00	0.90	0.74

第31表 2006～2007年度出土金属器生産関係遺物観察表

押図番号	写真図版	出土遺構名 出土年月日	種別	胎土	色調	重量(g)	備考
14-6	17	T47SD02 060914	羽口	やや密、2mm以下の砂粒、 白色砂粒を多く含む	黒褐色～明 褐色	134.0	外径(4.0)cm
35-29		N30W15 塾地上上面	羽口	やや密、2mm以下の砂粒、 白色砂粒を多く含む	黒褐色～明 褐色	32.25	外径(7.2)cm、 内径(3.6)cm
35-30		N25W20サブトレ 塾地層	羽口	やや密、2mm以下の砂粒、 白色砂粒を多く含む	黒褐色～明 褐色	86.0	

第32表 2006～2007年度調査出土銭貨観察表

押図番号	写真図版	出土地点	名称	初鑄年	銭径(A) / (B) mm	内径(A) / (D) mm	銭厚(mm)	量目(g)
35-25		N35W20昭和和田層	寛永通宝	寛永13年(1636)	24.42/24.37	20.63/20.49	1.30	3.21

第33表 堂田地区12号井戸出土木製品観察表

押図番号	写真図版	出土遺構名	器種	樹種	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	備考
22-1	19	12号井戸	桶	スギ	9.8	1.4	0.3	5-25-60
22-2	19	12号井戸	桶	スギ	3.6	1.4	0.3	5-25-59
22-3	19	12号井戸	桶	スギ	14.5	1.4	0.5	5-25-61
22-4	19	12号井戸	桶	スギ	6.9以上	1.3	0.3	5-25-66に1片複合
22-5	19	12号井戸	桶		9.1	0.7-0.9	0.2	
22-6	19	12号井戸	桶		8.3	1.0-0.9	0.3	
22-7	19	12号井戸	不明		6.7	0.8	0.5	0.2×0.25cm以上の孔あり

第34表 2006～2007年度調査出土土作関係遺物石材別・製作段階別集計表

本品	合計	
	点数	重量 (g)
T46	25	167.27
T47	3	39.3
T49	2	20.7
T50	22	163.87
T51	30	121.85
宮の池地区	469	2799.48
計	540	3096.37

本品	原石		素材		調整削片		削片	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
T46	4	24.09	4	41.96	7	76.07	1	4.03
T47			1	16.19				
T49	1	10.87			1	12.83		
T50	2	40.31	4	73.88			2	8.47
T51			3	45	1	11.28	5	11.47
宮の池地区	33	321.22	48	864.02	28	351	319	127.74
計	38	596.49	60	1133.95	37	452.88	8	23.96

本品	素材		二次調整		削打		完成品	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
T46	1	6.95						
T47								
T49								
T50	3	30.76	1	4				
T51	4	19.6						
宮の池地区	13	115.8	13	67.75	3	7.13	3	6.37
計	20	163.11	14	71.79	3	7.13	3	6.37

本品	素材		二次調整		削打	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
T46						
T47						
T49						
T50			1	7.65	2	7.68
T51			5	20.35	1	6.03
宮の池地区	3	20.87	6	28	3	13.72
計	3	20.87	6	28	3	13.72

碧玉	原石		石核		素材		削片		平玉		合計		
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)									
T46					2	10.27					2	10.27	
T47					2	21.86					2	21.86	
T49							1	2.13		1	1.07	2	3.2
T50			1	210.29	2	11.6	2	11.6			3	233.49	
T51													
宮の池地区	3	236.69	5	223.25			57	113.81	3	18.4	68	591.35	
計	3	236.69	6	433.54	6	43.33	60	126.74	3	18.4	79	859.71	

かり石	道乃方 (半完成品)		不明		削片		合計	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
T46			5	60.87			5	60.87
T47			3	21.1			3	21.1
T49								
T50			9	131.45			9	131.45
T51	1	1.6	2	4.04			2	4.04
宮の池地区			38	520.52	64	215.44	102	807.96
計	1	1.6	57	737.98	64	215.44	121	1055.43

メノウ	原石		石核		素材		削片		不明		合計	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)								
T46									4	17.02	4	17.02
T47									4	28.19	4	28.19
T49												
T50									5	15.41	5	15.41
T51									6	23.7	6	23.7
宮の池地区	34	1038.2	1	83.56	6	96.57	69	190.43			110	1408.76
計	34	1038.2	1	83.56	6	96.57	69	190.43	10	134.32	120	1543.08

緑化木	結石		結石*		不明		合計		石英	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
T46										
T47										
T49			1	6.02			1	6.02		
T50			1	0.86			1	0.86		
T51										
宮の池地区	8	106.76			1	12.57	9	128.33		
計	8	106.76	2	6.88	1	12.57	11	135.21	20	128.91

灰色頁岩*	合計		不整		平玉		合計	
	点数	重量 (g)						
T46								
T47								
T49								
T50	3	34.7			1	213	2	8.33
T51					1	1.43	1	1.43
宮の池地区	26	147.19	30	85.28	30	85.28	30	85.28
計	29	171.89	32	88.86	2	8.33	34	92.19

オヌマカイト (斑山岩)	合計		総重量		合計	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
T46						
T47						
T49						
T50						
T51			4	2.76		
宮の池地区	5	17.36	21	30.75		
計	5	17.36	25	36.66	2	1133.34

石製品 (叩石)	合計	
	点数	重量 (g)
T46		
T47		
T49		
T50		
T51		
宮の池地区	2	1133.34
計	2	1133.34

第35表 2006～2007年度調査出土陶磁器分類表

種別	分類	2006年度調査		2007年度調査				計	備考
		宮の後 T46	六所脇 T47	宮の後 地区	六所脇 T49	堂田			
						T50	T51		
白磁	皿Ⅱ類					1	1		
白磁	皿Ⅲ類				1	1	2		
白磁	皿Ⅳ類					4	1	5	
白磁	皿Ⅴ-2類			1			1		
白磁	皿Ⅵ類						1	1	
白磁	皿ⅦⅠ類(輪花)					1	1	内面縦線	
白磁	広東系皿					2		2	
白磁	福建系皿						1	1	
白磁	皿			1				1	
白磁	碗Ⅰ類			1				1	
白磁	碗Ⅱ類	1	1	1				3	
白磁	碗Ⅲ類	1	8	1	5	1	16		
白磁	碗Ⅳ-4b					1		1	
白磁	碗Ⅴ類			1				1	
白磁	碗Ⅵ類					1		1	
白磁	碗直口縁			1				1	
白磁	碗屈曲口縁			2				2	
白磁	広東系碗					1		1	
白磁	福建系碗					1		1	
白磁	碗(白埋線)		1					1	
白磁	碗 <sup>カ</sup> 皿		1					1	
白磁	碗 <sup>カ</sup>	1						1	
白磁	小碗2b						1	1	
白磁	広東系合子蓋			1				1	
白磁	瓶Ⅱ類					1		1	
白磁	福建系壺	1						1	
白磁	広東系		2			31		33	
白磁	福建系		1			12		13	
白磁			4	68	3		11	86	
青磁	越州窯系碗Ⅲ類			1				1	
青磁	越州窯系碗			2				2	
青磁	越州窯系			1				1	
青磁	越州窯系 <sup>カ</sup>			2				2	
青磁	龍泉窯系皿Ⅰ類					1		1	
青磁				1				1	
青磁	青磁 <sup>カ</sup>			1				1	
青花				1				1	
中国陶器						4		4	
中国陶器	碗Ⅱ類					1		1	
中国陶器	鉢Ⅰ-1b	1						1	
中国陶器	壺					3		3	
中国陶器	壺 <sup>カ</sup> (羯輪)					1		1	
中国 <sup>カ</sup> 朝鮮陶器				1				1	
灰釉陶器	壺 <sup>カ</sup>	2						2	
灰釉陶器	瓶				1			1	
山茶碗 <sup>カ</sup> 灰釉陶器						1		1	
灰釉陶器				1				1	
灰釉陶器	灰釉陶器 <sup>カ</sup>			2		1		3	
山茶碗 <sup>カ</sup>				1				1	
緑釉陶器	軟質					2		2	
緑釉陶器	碗鉢 <sup>カ</sup>				2			2	
緑釉陶器		1						1	
瓦質土器	鉢		2					2	
日本陶器	唐津			1				1	
日本陶器	唐津・肥前	2						2	
日本陶器	瀬戸・美濃 <sup>カ</sup>			1				1	
日本陶器	備前 <sup>カ</sup>			1				1	
須恵器 <sup>カ</sup>				1				1	
近世以降		1	31	141	32	5	4	214	
不明陶器				25	2	1		28	
合計		8	45	269	43	78	24	467	

第36表 1972～1974年度環境整備事業出土遺物観察表

調査 区画	写真 図説	出土遺物名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	直径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	施 灰	色 調	備 考
42-1		E50Mの跡跡内2 750116	須恵器	瓶	13.3	7.2	2.6	回転ナデ ナデ 回転糸切り	1～2mmの白粉を含む	良好	灰白色～黒 灰色	
42-2		E54F跡内 750107	須恵器	坏	(11.4)	(6.9)	3.6		黒、白色粒子・黒色砂 粒を多く含む	やや不良	灰白色	
42-3	33	E27F跡 750115	土師器	壺	(10.8)			ヨコナデ、ヘラケズリ、擦面 正煎	黒、1mm以下の白色 砂粒を全体に含む	良好	明褐色	外面残存者、内面ま ばらに黒色付着物
42-4		Ⅴ区西溝 東の 溝取口から14.5m 付近 741225	須恵器	坏	12.8	8.8	3.7	回転ナデ ナデ 回転糸切り	1～2mm以下の砂粒を 含む	やや不良	灰色	
42-5		Ⅴ区西溝 東の 溝取口から14.5m 付近 741225	須恵器	坏	12.6	8.4	4.1	回転ナデ 不定ナデ 回転糸切り	1mm以下の白粉を含む	良好	暗青灰色	
42-6		Ⅴ区西溝 491226	須恵器	壺				回転ナデ	黒、1mm程度の砂粒 を少量含む	良好	灰～灰褐色	漆付者
42-7		Ⅴ区西溝	須恵器	壺				回転ナデ、ナデ、沈澱2発	黒、微砂粒を多く含む	良好	灰白色	漆付者
42-8	33	東西溝3区中口と 75年	須恵器	蓋	(17.3)		4.1	回転ナデ、ナデ	1～3mmの砂粒を含む	良好	赤灰～白灰	宝珠つまみ、甕地 模刻者首書目尻-4
42-9	33	Ⅴ区溝内から 40m付近750116	須恵器	坏	11.2	6.4	4.3	回転ナデ、ナデ、回転糸切り	白色粒子を含む	良好	灰～灰褐色	甕地模刻者首書目 尻-19
42-10	30	4区 1975	須恵器	蓋	11.8		4.2	回転ナデ 回転ヘラケズリ	1mm以下の白粉を含む	良好	青灰色	
42-11	4区	4区	須恵器	坏	10.2			回転ナデ	1mm以下の白粉を含む	良好	青灰色	
42-12	33	4区 75年	須恵器	ハコウ		4.0		回転ナデ、回転ヘラケズリ 沈澱発 漆灰を 同行内点 ナメハケ、ヘラケズリ ケズリ後ナデ	1mm以下の白粉を含む	良好	灰色	
42-13		4区中央	埴輪	円筒埴輪					5mm以下の砂粒を含む	やや不良	淡褐色	
42-14	33	溝取口の東端から 50mの地点のE50 の中から出土 74年	須恵器	蓋	17.6		3.3	回転ナデ、回転ヘラケズリ、 ナデ	1mm前後の白色粒子 を多く含む	良好	灰色	ボタン状つまみ 部部内点首書「淨土」 甕地模刻者首書目 尻-3
42-15		4区中央 500107	須恵器	瓶	18.4			回転ナデ	1mm以下の白粉を含む	良好	青灰色	
42-16		4区中央 750107	須恵器	坏		7.8		回転ナデ 不定ナデ	1mm以下の白粉を含む	良好	灰色	ヘラ記号「X」
42-17		56730125	土師器	高坏				ナデ、擦面正煎	やや滑、2.5mm以下の 砂粒を多く含む	良好	淡褐色	
42-18		56730125	土師器	高坏		(12.9)		ナデ	やや滑、2mm以下の 砂粒、微細砂粒を 多く含む	良好	淡褐色	
42-19	33	Ⅴ区西3区 750111	須恵器	坏 台	8.1	5.7	4.1	回転ナデ、ナデ、回転糸切り	やや滑、2mm以下の 砂粒・白色粒子を多く 含む	良好	明灰色	甕地模刻者首書目 尻-16
42-20		85m地点	須恵器	高台付坏	(12.0)			回転ナデ	微細な砂粒を少量含 む	やや不良	灰色	底部外面磨書「少日」
42-21		Ⅴ溝東端 741221	白磁	瓶				施釉	細密	良好	青ナリーブ白	鏡吉製
44-1	34	Ⅲ区炭化土中 741226	瓦	軒丸瓦				凸・欄線ナデ	5～6mm以下の砂粒、 小石を含む	不良	黒褐色	
44-2	31	Ⅲ区西溝 741226	瓦	平瓦				凸・格子ナデ1、ナデ 四・春日瓦、ナデ	黒、3mm以下の黒色 砂粒を多く、白色細 砂粒を少し含む	良好	暗灰色	
44-3	31	Ⅲ区西溝 南二 土のころ741228	瓦	平瓦				凸・格子ナデ1 四・春日瓦	白色砂粒を含む	やや不良	灰白色	
45-1	36	Ⅲ区西溝	瓦	平瓦				凸・格子ナデ19、磨れ砂 四・春日瓦	1～2mm大の砂粒を含む	やや不良	灰色	
45-2	35	Ⅲ区西溝ハラス 761226	瓦	軒丸瓦					1～3mmの砂粒を含む	良好	灰色	
45-3		西溝北端 750111	瓦	丸瓦				凸・ナデ、ナデ 四・春日瓦、ナデ	1mm以下の白粉を含む	良好	青灰色	
46-1	33	西溝北端 750113	須恵器	蓋	(11.8)	(4.2)		回転ナデ、ナデ、回転ヘラ ケズリ後ナデ	黒、白色細砂粒を微 かに含む	良好	明灰色	
46-2	33	西溝北端 750111	須恵器	蓋坏	(13.2)			ナデ	黒、白・黒色 砂粒を 全体に多く含む	良好	灰褐色	
46-3		西溝北端 750111	須恵器	坏身	10.4		4.8	回転ナデ、ナデ、回転ナ ズリ	黒、1mm以下の白・ 黒色砂粒を多く含む	良好	淡灰色	
46-4		西溝北端1層 750111	土師器	坏	(12.8)			ヨコナデ、ナデ	黒、0.5mm以下の白 粉粒を全体に少し含む	良好	淡褐色	
46-5		西溝北端1層 750110	土師器	坏	(13.3)			ヘラケズリ	黒、1.5mm以下の砂 粒を多く、白色細砂 粒を少し含む	良好	黒褐色	
46-6		西溝北端1層 750111	土師器	坏	(13.6)			ヘラケズリ	黒、3mm以下の黒色 砂、1mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	良好	暗褐色	
46-7	33	西溝北端1層 750111	土師器	坏	12.6		5.2	ヘラケズリ、 手持ちヘラケズリ	黒、1mm以下の半 透明砂粒・白・褐色 砂粒を多く含む	良好	暗褐色	
46-8		西溝北端1層 750111	土師器	罌	(14.1)			ナデ、ハケ目、ヘラケズリ	やや滑、1.5mm以下の 砂粒を非常に多く含 む	良好	淡褐色	
46-9		西溝北端1層 750111	土師器	罌	16.3				2～3mm以下の砂粒を 含む	やや不良	灰白色	
46-10		西溝北端1層 750111	土師器	壺				内面に絞目	やや滑、1mm以下の砂 ・白・黒色砂粒を非 常に多く含む	良好	淡褐色	
46-11		西溝北端1層 750111	土師器	小型丸形 壺	(20.1)			風化	黒、2mm以下の砂粒、 白色細砂粒を多く含 む	良好	暗褐色	
46-12		西溝北端1層 750111	土師器	直口罌	(8.2)			ヘラケズリ、ヨコナデ	黒、2mm以下の白・ 黒色砂粒を多く含む	良好	明褐色	
46-13		西溝北端1層 750111	土師器	高坏	(19.2)				1～2mm以下の砂粒を 含む	不良	灰 白 色～ 暗 灰色	
46-14		西溝北端1層 750111	土師器	高坏	(17.2)				1～2mm以下の砂粒を 含む	不良	黒褐色	

標品 番号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種別	跡様	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
66-15		西清北園1層 750114	土師器	高坏				ナデ、ヘラケズリ	底、3mm以下の砂粒、 白色細砂粒を多く含む	良好	淡褐色	
66-16		西清北園 750114	土師器	高坏				ケズリ、ナデ	底、2mmの平直な滑 砂粒、白・褐色細砂粒 を全体に少し含む	良好	淡褐色	
66-17		西清北園 750114	土師器	高坏				ケズリ	底、2mm以下の砂粒、 白・黒・褐色砂粒を 多く含む	良好	橙褐色	
66-18		西清北園1層 750114	土師器	高坏	(9.5)			ナデ	やや中層、2mm以下の白 粒・平直な滑砂粒を全 体に多く含む	良好	橙褐色	
66-19		西清北園1層 750114	土師器	高坏				ナデ	底、2mm以下の砂粒 を多く含む	良好	淡褐色	
66-20		西清北園2層 750114	土師器	高坏	(9.3)			ナデ	底、白・黒・砂粒を 全体に多く含む	良好	淡橙褐色	
47-1		東西大濠ハウス 7311	須恵器	蓋	13.6	3.5	3.5	回転ヘラケズリ、回転ナデ、 ナデ	底、2mm前後の砂粒 を少量含む	やや不貞	赭灰-褐色	宝塚つまみ
47-2	36	東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	17.0	3.9	3.9	回転糸切り、回転ヘラケズリ、 回転ナデ、ナデ	白色の小砂粒を含む	良好	淡青灰色	宝塚つまみ、重ね焼き 蓋
47-3		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	(14.0)	2.7	2.7	回転糸切りの後ナデ、回転ナ デ、ナデ	1mm以下の白色砂粒 を含む	良好	灰-暗青灰 色	宝塚つまみ
47-4		東西大濠ハウス 731105	須恵器	蓋	(12.6)	3.3	3.3	ヘラケズリ、回転ナデ、ナデ	白色の小砂粒をやや 多く含む	良好	くすんだ青灰 色	
47-5	36	東西大濠ハウス 731106	須恵器	蓋	17.8	3.8	3.8	回転ヘラケズリ、回転ナデ、 ナデ	2mm前後の砂粒を含む	良好	灰-赭灰色	宝塚つまみ、地盤整 備報告書第1104-1
47-6		東西大濠ハウス 731106	須恵器	蓋	(12.5)	3.3	3.3	ヘラケズリ、回転ナデ、ナデ	2mm以下の白色砂粒を 含む	良好	赭灰色	宝塚つまみ
47-7	36	東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	14.2	3.5	3.5	回転ナデ、ナデ、ヘラケズリ、 回転糸切り後ナデ	1mm以下の砂粒を多く 含む2mm前後の砂粒 を顔に含む	良好	白色	宝塚つまみ、大井部内 部へ記号「1」、地 盤整備報告書第1104 -5
47-8		東西大濠ハウス 731106	須恵器	蓋	(16.8)	3.4	3.4	回転ナデ、ケズリ、ナデ	白色の砂粒を多く含む	良好	灰褐色	つまみ径：25cm
47-9		東西大濠ハウス 731108	須恵器	蓋	(12.7)	3.3	3.3	回転糸切りの後ナデ、ヘラケ ズリ、回転ナデ、ナデ	白色の砂粒をやや多 く含む	良好	灰色	宝塚つまみ
47-10		東西大濠ハウス 731105	須恵器	蓋	(12.9)	3.5	3.5	ヘラケズリ、回転ナデ、ナデ	白色の小砂粒を含む	良好	淡青灰色	宝塚つまみ
47-11		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	(17.7)	1.2	1.2	ヘラ切り、回転ナデ、ナデ	白色の砂粒をやや多 く含む	良好	淡青灰色	ボタン状つまみ、重ね 焼き蓋
47-12	36	東西大濠ハウス 731106	須恵器	蓋	13.0	1.6	1.6	回転ヘラケズリ、回転ナデ、 ナデ	底、白色細砂粒、黒 色細砂粒を多く含む	良好	赭灰色	宝塚つまみ、外田 照雄報告書第1104-7
47-13		東西大濠ハウス 731105	須恵器	蓋	(13.2)	2.9	2.9	静止糸切り後ナデ、回転ナデ、 目コナデ、ナデ、回転ヘラケ ズリ	底、右裏が少量と網 目、小白色砂粒が少量 混入	良好	灰色	宝塚つまみ
47-14		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	14.0	2.9	2.9	回転ヘラケズリ、回転ナデ、 ナデ	1mm大の砂粒を含む	良好	暗青灰色	宝塚つまみ
47-15		東西大濠ハウス 731106	須恵器	蓋	13.3	2.4	2.4	回転ヘラケズリ後回転ナデ、 回転ナデ、ナデ	底、2mm以下の白色 砂粒を多く含む	良好	淡青灰色	宝塚つまみ
47-16		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	13.3	2.5	2.5	回転糸切り、ヘラケズリ、回 転ナデ、ナデ	白色の小砂粒をやや 多く含む	良好	灰色	宝塚つまみ
47-17		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	12.6	3.5	3.5	回転ヘラケズリ、回転ナデ、 ナデ	底、網目砂粒、白色細 砂粒を多く含む	良好	明灰色	宝塚つまみ、内外部に 印記・褐色付着物 あり
47-18	36	東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	12.1	3.1	3.1	回転ナデ、ナデ	1mm大の白色砂粒を 顔に含む	良好	灰色	宝塚つまみ、重ね焼 き蓋
47-19		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	16.6	3.7	3.7	回転ヘラケズリ、回転ナデ、 ナデ	底、3mm以下の黒色 砂粒、白色細砂粒を 多く含む	良好	明灰色	宝塚つまみ、地盤整 備報告書第1104-30
47-20		東西大濠ハウス 731105	須恵器	蓋	(15.0)	2.5	2.5	回転ヘラケズリ後回転ナデ、 回転ナデ	底、白色砂粒を含む	良好	暗青灰色	宝塚つまみ
47-21		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	13.2	2.7	2.7	回転糸切り、ヘラケズリ、回 転ナデ、ナデ	白色の砂粒を含む	良好	青灰色	宝塚つまみ、芯み大
47-22		東西大濠ハウス 731105	須恵器	蓋	(16.0)	2.2	2.2	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	白色の小砂粒を少量 含む	やや軟質	灰色	宝塚つまみ
47-23		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	22.4	3.4	3.4	回転糸切り、回転ヘラケズリ、 回転ナデ、ナデ	1~2mm大の砂粒を含む	良好	灰-暗青灰 色	宝塚つまみ
47-24	36	東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	20.3	3.3	3.3	回転ナデ、回転ヘラケズリ、 目コナデ	底、2mm以下の白色 砂粒が少量混入	良好	灰色	ボタン状つまみ、地 盤整備報告書第1104-2
47-25	36	東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	13.1	2.8	2.8	ヘラケズリ、回転ナデ、ナデ	白色の小砂粒をやや 多く含む	良好	くすんだ青灰 色	ボタン状つまみ
47-26		東西大濠ハウス 731109	須恵器	蓋	13.9	2.9	2.9	回転ヘラケズリ後回転ナデ、 回転ナデ、ナデ	底、1mm以下の白色 砂粒を少量に含む	不貞	淡赤褐色	ボタン状つまみ
47-27		東西大濠ハウス 731107	須恵器	蓋	(13.5)	2.9	2.9	ヘラケズリ、回転ナデ、ナデ	白色砂粒を多く含む	良好	暗青灰色	ボタン状つまみ
47-28		東西大濠ハウス 731114	須恵器	蓋	(13.6)	2.6	2.6	ヘラケズリ、回転ナデ、ナデ	白色の砂粒をやや多 く含む	良好	灰色	輪状つまみ
48-1		東西大濠ハウス 731105	須恵器	高台付坏	11.8	8.0	4.0	回転糸切り後ナデ、回転ナデ、 ナデ	1mm以下の砂粒を顔 6に含む	良好	灰-赭灰色	
48-2		東西大濠ハウス 731105	須恵器	高台付坏	(11.5)	(8.2)	4.5	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	白色の小砂粒を含む	良好	灰色	
48-3	36	東西大濠ハウス 731107	須恵器	高台付坏	(10.2)	(6.5)	3.8	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	底、2mm以下の砂粒・ 白色砂粒を含む	良好	明灰色	灰被り、地盤整備 報告書第1104-24
48-4		東西大濠ハウス 731105	須恵器	高台付坏	(11.9)	(7.4)	4.4	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	白色・黒色の砂粒を 含む	やや軟質	灰色	
48-5		東西大濠ハウス 731107	須恵器	高台付坏	13.1	10.8	5.4	回転糸切り後ナデ、回転ナデ、 目コナデ	白色の小砂粒を含む	やや軟質	内：白色 外：明灰色	駒付高台
48-6	37	東西大濠ハウス 731107	須恵器	高台付坏	13.1	8.7	4.3	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	やや中層、3mm以下の 砂粒を多く、白色細 砂粒を少し含む	良好	明灰色	地盤整備報告書第 1104-25
48-7		東西大濠ハウス 731105	須恵器	高台付坏	13.2	8.4	3.3	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	1mm大の砂粒を含む	良好	灰-青灰色	
48-8		東西大濠ハウス 731107	須恵器	高台付坏	(13.3)	(10.2)	5.8	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	白色の小砂粒を含む	良好	赭灰-暗赤 褐色	
48-9		東西大濠 731107	須恵器	高台付坏	13.2	9.6	4.0	回転糸切り、回転ナデ、ナデ	1mm大の白色砂粒を 含む	良好	灰色	駒付高台

綱目 番号	写真 図説	出土遺構名 出土層/方位	種別	跡種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
88-10		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	13.6	9.5	7.0	回転糸切り、回転ナサ	白色の小砂粒をやや多く含む	良好	灰～灰褐色	縄地整備報告書第11 図-15
88-11		東西大溝ハウス 731106	須恵器	高台付杯	16.3	10.8	6.5	回転ナサ、ナサ	1mm以下の砂粒を粗か らに含む	良好	灰色	重ね焼き痕、灰積り
88-12		東西大溝ハウス 731105	須恵器	高台付杯	13.1	8.3	3.6	回転ナサ、ナサ、縦目状厚層	白色の小砂粒を多く含 む	良好	灰褐色	外面に横付着
88-13		東西大溝ハウス 731106	須恵器	高台付杯	16.6	11.2	7.4	回転糸切り、回転ナサ	2～3mm大の白色砂粒 を含む	良好	灰褐色	胎付高台
88-14		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	14.9	10.7	3.8	ヘアワリイ後ナサ、回転ナサ、 ナサ	白色砂粒を多く含む	良好	暗青灰色	胎付高台 縄地整備報告書第11 図-27
88-15	37	東西大溝ハウス 731106	須恵器	高台付杯	8.9	5.6	5.7～ 6.0	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	微細砂粒を多く含む	良好	暗青灰～灰 褐色	胎付高台 縄地整備報告書第11 図-27
88-16	37	東西大溝ハウス 731107	須恵器	杯	11.3	6.4	4.4	回転糸切り、ヨコナサ、ナサ	やや精良、1mm未満 の白色砂粒を多く、3 ～1mm大の白色砂粒 を数粒含む	良好	外：暗～暗 青、内：淡～暗 褐色	ほぼ定形、重ね焼き痕。 縄地整備報告書第11 図-13
88-17		東西大溝ハウス 731107	須恵器	杯	11.6	9.4		回転糸切り、回転ナサ、ナサ	細小の白色砂粒を含む	良好	淡灰色	善地風味
88-18		東西大溝ハウス 731106	須恵器	杯	11.3	8.4	4.0	回転糸切り後ナサ、回転ナサ、 ナサ	白色の小砂粒を含む	良好	青灰色	内面に横付着
88-19		東西大溝ハウス 731107	須恵器	杯	12.8	9.0	3.5	回転糸切り後ナサ、回転ナサ	胎、白色砂粒を粗か らに含む	良好	灰褐色	
88-20		東西大溝ハウス 731107	須恵器	杯	10.8	7.4	4.7	回転糸切り後ナサ、回転ナサ、ナサ	胎、白色砂粒をやや多 く含む	やや軟弱	灰褐色	
88-21		東西大溝ハウス 731109	須恵器	杯	13.0	7.6	4.1	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1mm大の砂粒を粗か らに含む	良好	灰～青灰色	
88-22		東西大溝ハウス 731108	須恵器	杯	12.8	8.4	3.9	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1mm以下の砂粒を含む	やや不貞	灰～赤灰色	
88-23		東西大溝ハウス 731112	須恵器	杯	13.4	8.4	3.5	回転糸切り、回転ナサ	白色の小砂粒を含む	良好	灰～赤褐色	
88-24	37	東西大溝ハウス 731105	須恵器	杯	11.0	7.5	3.9	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	胎、大きな砂粒が多 量に混入	良好	暗灰色	
88-25		東西大溝ハウス 731105	須恵器	杯	11.2	8.2	3.6	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1mm大の砂粒を含む	良好	灰～暗灰色	
88-26		東西大溝ハウス 731105	須恵器	杯	12.9	9.0	3.8	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1～2mm大の砂粒を含む	良好	灰～暗灰色	
88-27		東西大溝ハウス 731105	須恵器	杯	11.4	7.6	4.4	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1mm大の砂粒を含む	良好	灰～青灰色	
88-28	37	東西大溝ハウス 731105	須恵器	杯	10.3	12.1	5.0	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	やや劣、3mm以下の 混入を全体に、砂 粒を少し含む	良好	明灰色	縄地整備報告書第11 図-10
88-29	37	東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	11.6	8.3	4.1	回転糸切り、回転ヘアワリ、 回転ナサ、ナサ	1mm前後の砂粒を含む	良好	青灰～灰色	縄地整備報告書第11 図-11
89-1		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	20.0	13.2	3.2	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1mm以下の砂粒を粗か らに含む	良好	灰～暗灰色	胎付高台
89-2		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	18.0	11.2	4.1	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1mm以下の白色砂粒を 含む	良好	灰～褐色	胎付高台、重ね焼き 痕
89-3		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	17.5	10.5	3.9	回転ナサ、ナサ	白色の小砂粒をやや多 く含む	やや軟弱	青灰色	
89-4		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	17.0	11.6	3.7	回転糸切り後ナサ、回転ナサ、 ナサ	胎、2mm程度の粗小 白色砂粒を含む	良好	青灰色	
89-5	37	東西大溝ハウス 731108	須恵器	高台付杯	17.4	11.5	3.8	糸切り後ナサ、回転ナサ、ヨ コナサ	胎、大きな砂粒、1mm 以下の形色粒子が多 量に混入	良好	青味がかった 暗灰色	胎付高台、縄地整 備報告書第11図-32
89-6		重小50m地点 750115	須恵器	高台付杯	19.6	12.6	3.6	回転ナサ、回転糸切り	胎、3mm以下の 砂粒を多く、白色 砂粒を少し含む	やや不貞	淡褐色	内外面横付着、縄地 整備報告書第11図-17
89-7		東西大溝ハウス 731105	須恵器	高台付杯	24.8	20.0	3.2	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	胎、1mm大の砂粒を多く 含む	良好	灰色	胎付高台
89-8		東西大溝ハウス 731109	須恵器	高台付杯	16.2	7.0	3.2	回転ナサ、ナサ	灰色の砂粒をやや少 く含む	良好	明灰色	胎付高台、口縁に受 け口
89-9	36	東西大溝ハウス 731120	須恵器	高台付杯	17.7	12.5	3.2～ 3.5	回転糸切り後ナサ、回転ナサ、 ナサ	胎、石質片を少量含 む	やや不貞	灰色	縄地整備報告書第11 図-16
89-10	37	東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	20.4	15.6	3.9	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1～2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	胎付高台
89-11		東西大溝ハウス 731106	須恵器	高台付杯	23.6	18.6	2.3	回転ナサ、ナサ	白色の砂粒を非常に多 く含む	良好	青灰色	底面内面ヘア記号「/」
89-12		東西大溝ハウス 731107	須恵器	皿	13.0	9.2	2.9	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	白色の小砂粒を含む	やや軟弱	灰色	
89-13		東西大溝ハウス 731105	須恵器	皿	14.2	9.0	2.2	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1mm大の白色砂粒を 含む	良好	灰～暗灰色	
89-14		東西大溝ハウス 731108	須恵器	皿	13.8	9.4	2.1	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	1～2mm大の砂粒を含む	良好	灰～淡褐色	
89-15		東西大溝ハウス 731106	須恵器	皿	14.2	10.2	2.2	回転糸切り、回転ナサ	精良、砂粒含まない	不貞	灰色	
89-16		東西大溝ハウス 731106	須恵器	皿	26.6	21.9	2.6	ヘアワリ後ナサ、回転ナサ	胎、白色微細砂粒を 含む	良好	明灰色	
89-17		東西大溝ハウス 731106	須恵器	皿	14.6	10.4	2.5	回転糸切り、ナサ	1mm以下の砂粒を含む	良好	外：灰褐色 内：灰色	
89-18		東西大溝ハウス 731107	須恵器	皿	14.4	9.4	2.8	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	白色の砂粒を少量含 む	良好	青灰色	底面外面に胎土付着
89-19	38	東西大溝ハウス 731107	須恵器	皿	13.7	10.8	2.5	回転糸切り、回転ナサ、ナサ	胎、3mm以下の砂粒、 白色微細砂粒を多く含 む	良好	暗灰～明 灰色	縄地整備報告書第11 図-21
89-20		東西大溝ハウス 731109	須恵器	皿	(17.0)			回転ナサ	胎、細かい白色砂粒 を多く含む	良好	外：暗青灰色 内：淡灰色	内面に横付着
89-21	37	東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台杯	27.6			回転ナサ、ナサ	胎、長石を少量含む	良好	灰色	口縁三方通かし、縄 地整備報告書第11図 -29
89-22	38	東西大溝ハウス 731105	須恵器	高台杯		14.0		回転ナサ、ナサ	1～1.5mmの砂粒を含む	良好	白灰色	
89-23		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台杯	(26.4)			回転ナサ、ナサ	胎、2mm以下の白色 砂粒を含む	良好	外：青灰色 内：淡灰色	口縁外面に黒色付着 物

標品 番号	写真 25/26	出土遺構名 出土層目録	種別	跡様	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
89-24		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高坪		18.0		回転ナデ	胎、1mm以下の白色 砂粒を含む	良好	外：灰白色 内：黄灰色	
89-25		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高坪		16.4		回転ナデ	胎、3mm次の右裏・ 縁と2mm以下の白色 砂粒を含む	良好	外：黄灰色 内：黄褐色	産出し不明
89-26	37	東西大溝ハウス 731107	須恵器	高坪		13.9		回転ナデ、ナデ、シゴリ	胎、3mm以下の白色 砂粒を含む	良好	淡灰～青灰 色	
50-1		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕				流状文、沈瀬	1mm以下の砂粒を含む	やや不良	灰～黒灰色	灰被り
50-2		東西大溝ハウス 731108	須恵器	大甕				流状文、沈瀬、回転ナデ	胎、白色砂粒を多く 含む	良好	外：黒灰色 内：淡灰白色	
50-3		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕*				平行タテキ、ココナテ、沈瀬	1mm以下の砂粒を多 く含む	良好	外：黄褐色 内：灰白色	
50-4		東西大溝ハウス 731113	須恵器	甕	15.4			タテキ、回転ナデ、当て具残	胎、白色砂粒を含む	良好	外：灰白～黒 褐色 内：黄褐色	甕部外面へら突起付、 自然熱
50-5		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕				回転ナデ、格子目タテキ、 当て具残	胎、2mm以下の白色 砂粒を多く含む	良好	外：灰白色 内：黄灰色	
50-6		東西大溝ハウス 731115	須恵器	甕*				タテキ、回転ナデ、当て具残 後ナテ	胎、白色砂粒を含む	良好	外：灰白色 内：灰白色	内面付着物*
50-7		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕*				流状文、凹線、ナデ	胎、白色砂粒を含む	良好	黄褐色	
50-8		東西大溝ハウス 731109	須恵器	甕				回転ナデ、格子目タテキ、当て 具残	胎、白色砂粒を多く 含む	良好	黄褐色	
50-9		東西大溝ハウス 731110	須恵器	甕				格子目、タテキ目、回転ナデ、 当て具残ナデ	胎、白色微細砂粒を 多く含む	良好	透明灰色	
50-10		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕	18.4			タテキ、回転ナデ、ナデ、当て 具残	胎、2mm以下の白色 砂粒を多量に含む	良好	外：黄褐色 内：黄灰色	
50-11		東西大溝ハウス 731107	須恵器	甕	18.8			回転ナデ、ナデ	胎、2mm以下の白色 砂粒を多量に含む	良好	黄褐色	
50-12		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕	18.8			タテキ、回転ナデ、当て具残、 底面正圧	胎、1mm以下の白色 砂粒を多く含む	良好	外：灰白色 内：黄褐色	
50-13		東西大溝ハウス 731107	須恵器	甕	17.6			タテキ、回転ナデ、当て具残	胎、白色砂粒を含む	良好	黄褐色	
50-14		東西大溝ハウス 731109	須恵器	甕	24.0			タテキ、回転ナデ、当て具残	胎	良好	外：黄褐色 内：黄灰色	口縁内面付着物
50-15		東西大溝ハウス 731107	須恵器	甕	16.8			回転ナデ、ナデ	2mm以下の白色砂粒・ 塵を含む	良好	黄褐色	
51-1		東西大溝ハウス 731106	須恵器	甕		9.4		回転ヘラケズリ、回転糸切り、 回転ナデ	胎、1mm次の砂粒を 少し含む	良好	灰白色	緑色の自然付着
51-2		東西大溝ハウス 731107	須恵器	甕*		12.4		回転ナデ、ナデ	胎、1mm程度の白色 砂粒を多く含む	良好	黄褐色	
51-3		東西大溝ハウス 731107	須恵器	甕*		6.8		回転ナデ、ナデ	胎、4mmの小礫と1mm 以下の白色砂粒を含む	やや不良	外：黒灰色 内：黄褐色	職人土器*
51-4	28	東西大溝ハウス 731106	須恵器	甕	11.8	11.6	23.4	回転ナデ、タテキ後ナテ、 ヘラケズリ後ナテ、ナデ	胎、3mm以下の白色 小礫と細かい白色砂 粒を多く含む	良好	黄褐色	灰被り
51-5	38	東西大溝ハウス 731105	須恵器	甕	13.6		5.3	回転ナデ、ナデ	胎、3mm以下の砂粒・ 白色砂粒を多く含む	良好	明灰～黄灰 色	甕部底面、空筒つまみ、 甕地整備書第11 図-9
51-6		東西大溝ハウス 731114	須恵器	甕*		11.9		回転ナデ、ヘラケズリ	1mm以下の砂粒を含む	良好	灰色	
51-7		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕*				回転ナデ、ナデ	やや粗、1mm程度の 砂粒を多く含む	良好	黄褐色	自然熱
51-8		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕*		11.8		ヘラケズリ後ナテ、ナデ	胎、1mm程度の白色 砂粒を含む	良好	黄褐色	
51-9		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕*		9.6		ヘラケズリ後ナテ、回転ナデ、 ナデ	胎、3mm程度の小礫・ 細かい白色砂粒を多 量に含む	やや良好	黄褐色	甕部内面に自然熱付 着
51-10		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕		8.4		回転糸切り後ナテ、回転ナデ	胎、細かい白色砂粒 を多量に含む	やや良好	黄褐色	
51-11		東西大溝ハウス 731107	須恵器	甕				回転ナデ	白色の砂粒を少量含 む	良好	黄褐色	湯付着
51-12		東西大溝ハウス 731107	須恵器	甕		5.6		回転ナデ	1mm以下の黒色砂粒 を含む	良好	黄褐色	湯付着
52-1		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付鉢	19.3	10.6	10.9	回転糸切り後ナテ、回転ヘラ ケズリ、回転ナデ、ナデ	胎、1mm以下の白色 砂粒を含む	良好	淡灰～黒 褐色	
52-2		東西大溝ハウス 731107	須恵器	片口鉢	17.4	10.9	8.8	回転ナデ、ナデ	白色砂粒、2-3mmの 砂粒を含む	良好	灰～灰褐色	甕地整備書第11 図-14
52-3		東西大溝ハウス 731111	須恵器	肥子付鉢*	23.8			タテキ、回転ナデ、当て具残	胎、1mm以下の白色 砂粒を含む	良好	淡灰白色	
52-4		S003 東西大溝 ハウス731109	須恵器	鉢*	18.8			ヘラケズリ、回転ナデ	白色の小砂粒をやや 多く含む	良好	灰色	
52-5		東西大溝ハウス 731106	須恵器	甕				ナデ、平行タテキ、同心円当 て具残	1mm以下の砂粒を多 く含む	やや不良	灰色	
52-6		東西大溝ハウス 731115	須恵器	甕				ココナテ、平行タテキ、タテ キ当て具残*	胎	やや不良	灰色	
52-7		東西大溝ハウス 731109	須恵器	鉢	46.0			タテキ、回転ナデ、ナデ、当 て具残	胎、微細砂粒を含む	良好	淡灰褐色	
52-8		東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕	34.8			タテキ、回転ナデ、当て具残	胎、2mm以下の白色 砂粒を含む	良好	黄褐色	
52-9		東西大溝ハウス 731106	須恵器	甕				回転ナデ、ナデ、沈瀬4条	胎、2mm以下の白色 砂粒を含む	良好	灰色	
52-10		東西大溝ハウス 731105	須恵器	鉢				タテキ、回転ナデ、ナデ、当 て具残	胎	良好	透明灰色	
52-11	38	東西大溝ハウス 731110	須恵器	鉢*				平行タテキ後ナテ目、同心円 当て具残	1mm大の白色砂粒を 多く含む	良好	外：灰色 内：黄褐色	
52-12		東西大溝ハウス 731107	須恵器	鉢*				1条の凹線、タテキのちナデ、 ナデ、当て具残のちナデ	胎、2mm以下の白色 砂粒を多く含む	良好	外：灰白色 内：灰白色	
52-13	38	東西大溝ハウス 731108	須恵器	甕*				平行タテキ後ナテ目、ナデ、 当て具残	胎、1-2mm大の砂粒を 含む	良好	灰～黄褐色	
53-1		東西大溝ハウス 731106	須恵器	甕	14.2	9.7	24	回転ナデ、回転糸切り、ナデ	胎、白色砂粒・1mm以 下の黒色砂粒を多く 含む	良好	灰白色	甕部外面に湯付着、 甕地整備書第11 図-25

標品 番号	写真 25/26	出土遺構名 出土層/層位	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
33-2		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	12.4	4.0	9.1	回転ナデ、ナデ、回転糸切り	白色の砂粒を含む	やや不貞	灰色	軟質、底部外面黒書「本」
33-3		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	11.2	8.8	3.8	回転ナデ、ナデ、回転糸切り	0.5mm以下の黑色砂粒を含む	良好	淡灰色	底部外面黒書「本」 底部外面ヘラ記号「十」
33-4		東西大溝ハウス 731106	須恵器	高台付杯			(8.0)	回転ナデ、回転糸切り、ナデ割し	1mm大の黑色砂粒を含む	良好	暗灰色	底部外面黒書「石□」
33-5		東西大溝ハウス 731107	須恵器	杯			(5.8)	回転ナデ、回転糸切り	0.5mmの黑色砂粒を含む	良好	灰褐色	底部外面黒書「□」 注キ
33-6		東西大溝ハウス 731107	須恵器	蓋	15.9		4.0	ナデリ、回転ナデ、回転ヘラ ナデリ、ナデ	0.5mm大白色砂粒を含む	良好	暗灰色	輪杖つまみ 底部外面黒書「上」 底部外面黒書第11回-8
33-7		東西大溝ハウス 731107	須恵器	高台付杯	15.2	10.5	3.4	回転ナデ、ナデ、回転糸切り	1mm以下の白色砂粒を含む	良好	赤褐色	底部外面黒書「本」
33-8		東西大溝ハウス 731107	須恵器	皿	13.5	(8.8)	2.1	回転ナデ、回転糸切り、一部 ナデ目	1mm程度の砂粒を多く含む	良好	青灰色	底部外面黒書「□」
33-9		東西大溝ハウス 731108	須恵器	皿			(10.0)	回転ナデ、ナデ	微細な砂粒をごく少量含む	やや不貞	褐色	軟質、底部外面押印 あり
33-10		東西大溝ハウス 731108	須恵器	蓋	15.6			回転ナデ、ナデ	白色の砂粒を含む	良好	赤味がかった 灰褐色	私用型
33-11		東西大溝ハウス 731107	須恵器	皿			9.2	回転ナデ、不定ナデ、回転糸 切り	1mm以下の白砂を含む	良好	青灰色	私用型
33-12		東西大溝ハウス 731106	須恵器	皿	13.7	7.0	1.6	回転ナデ、ナデ、回転糸切り	1mm以下の砂粒を含みまれに小石(5mm 大)を含む	良好	淡青灰色	底部外面黒書第11回-18
33-13		東西大溝ハウス 731105	須恵器	円形皿			25.4	回転ナデ	白色の小砂粒を含む	良好	暗青灰色	方形底付し、直歯焼 付、自然色
33-14		東西大溝ハウス 731105	須恵器	瓶子碗				ヘラナデリ後ナデ	1mm以下の白色砂粒を 少し含む	良好	灰色	漆塗り
34-1		東西大溝ハウス 731109	土師器	高台 杯			(14.6)	ココナデ、沈瀬6巻	密	良好	灰白色	内外赤彩色
34-2		東西大溝ハウス 731110	土師器	高台 杯	18.4			ナデ	密	良好	褐色	
34-3		東西大溝ハウス 731110	土師器	高杯				ナデ、曲淵匠直	精良(水漏れ)	良好	黄褐色	面取り、赤彩
34-4		東西大溝 731209	土師器	高台付皿	9.2	5.7	2.9		密、微細砂、白色細 砂粒を多く含む	良好	橙白色	底部外面黒書第12回-5
34-5		東西大溝 731219	土師器	高台付皿	9.2	4.9	2.9		1mm以下の砂粒を含む	不貞	淡橙白色	底部外面黒書第12回-4
34-6		東西大溝ハウス 731105	褐色土器	碗	16.0			ミゴキ	1mm以下の砂粒を含む	やや不貞	黄褐色	内黒
34-7		東西大溝ハウス 731108	白磁	碗			6.0	ヘラナデリ	密	やや不貞	灰褐色	見込み、能の軸跡 陶器類
34-8		東西大溝ハウス 731115	会田部生 産陶器 類	壇皿+取 物					1mm以下の砂粒を含む	やや不貞	赤褐色	
34-9		東西大溝ハウス 731107	製磁土器	製磁土器			10.9	子粒ね	砂粒を殆ど含まない	やや不貞	明褐色	軟質
34-10		東西大溝ハウス 731107	製磁土器	製磁土器				子粒ね	赤色の砂粒を含む	やや不貞	褐色	軟質
34-11		東西大溝ハウス 731105	製磁土器	製磁土器	12.4			曲淵匠直	密、微細砂を含む	良好	淡橙白色	
34-12		東西大溝ハウス 731105	製磁土器	製磁土器	13.2			曲淵匠直	細密	不貞	明白褐色	
34-13		東西大溝ハウス 731105	製磁土器	製磁土器	10.2			ナデ	やや密、微細砂を 多く含む	やや不貞	明褐色	
34-14		東西大溝ハウス 731105	製磁土器	製磁土器	9.6			曲淵匠直	やや密、2mm以下の 砂粒を含む	やや不貞	淡褐色	
34-15		東西大溝ハウス 731105	製磁土器	製磁土器	12.8			ナデ	微細な、赤色の小砂粒 を多く含む	軟質	くすんだ赤 褐色	焼熱により器面にヒビ 割れ
34-16		東西大溝ハウス 731107	土製品	移動式竈				ハナ目	1mm前後の砂粒を多 く含む	良好	淡黄白-橙 褐色	
34-17		東西大溝ハウス 731107	土製品	移動式竈				ナデ、ヘラナデリ後ナデ	やや密、2mm以下の 微細砂粒を多く含む	良好	暗青褐色	底内面漆付
34-18		東西大溝ハウス 731106	土製品	移動式竈				ナデ	2mm以下の砂粒を少 量含む	良好	明黄-白褐色	
34-19		東西大溝ハウス 6-311「丁」	埴輪	円筒埴輪				縦ハナメ 横ハナメ一部ナデ	密 白色砂粒を含む	良好	暗褐色	良好
34-20		東西大溝ハウス 731115	埴輪	円筒埴輪				ココナデ、尾付突部、ハナ目 (一部ナデ目)	密、白色砂粒を含む	良好	暗褐色	円筒透かし
34-21		東西大溝ハウス 731107	埴輪	円筒埴輪	(17.2)			ココナデ、ハナ目ナデ、ナデ、 曲淵匠直、ヘラナデリ	密、白色微細砂粒を 多く含む	良好	淡黄褐色	
35-1		東西大溝ハウス 731105	瓦	平瓦				凸・格子タタキ20 凹・毎日瓦	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	軟質
35-2		東西大溝ハウス 731105	瓦	平瓦				凸・縦タタキ 凹・横タタキ 凹・横タタキ	微細な赤色・白色砂粒 を含む	良好	暗灰色-暗 青灰色	輪巻き作り
35-3		東西大溝ハウス 731114、南北溝 ハウス731113	瓦	平瓦				凸・縦タタキ 凹・横タタキ	1mm以下の白色砂粒 を多く含む	良好	淡赤灰色	須恵質
35-4	40	東西大溝ハウス 731117	瓦	不明道具 瓦				凸・ナデ 凹・毎日瓦	1mm以下の白色砂粒 を含む	良好	青灰色	
35-5	40	東西大溝ハウス 731117	瓦	丸瓦				凸・ナデ 凹・毎日瓦	1mm程度の砂粒を含む	良好	淡褐色	
35-6		東西大溝ハウス	瓦	丸瓦				凸・ナデ 凹・毎日瓦	15mm以下の白色砂粒 を非常に多く含む	良好	暗灰色-淡 灰色	
36-1	40	東西大溝ハウス 731107	瓦	丸瓦				凸・ナデ 凹・毎日瓦	微細砂を多く含む	良好	淡黄色	無段式丸瓦、長さ 36.3cm 広幅部幅14.8cm 狭幅部幅10.5cm
36-2	39	東西大溝ハウス 731108	瓦	丸瓦				凸・ナデ 凹・毎日瓦	8mm大の礫を含む	やや不貞	暗灰色	無段式丸瓦
36-3		東西大溝ハウス 731109	瓦	丸瓦				凸・ナデ 凹・毎日瓦	1mm以下の砂粒を多 く含む	良好	灰色	有段式丸瓦 基部高 11.5cm

棟目 番号	写真 256	出土遺構名 出土層目	種別	跡様	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形跡・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
37-1		東北大溝ハウス 73113	須窓部	蓋	13.8		2.5	回転ヘラケズリのみ回転ナ デ、ナデ	黒、2mm以下の白色 砂粒を含む	良好	青灰色	
37-2	36	東北大溝ハウス 73113	須窓部	蓋	14.5	29		回転ナデ、回転ケズリ、ヨコ ナデ	黒、大きめの砂粒が 少量混入	良好	灰色	輪切つまみ、遺地整 備報告書第11回-31
37-3		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	16.4	10.1	5.6	ナデ、回転ナデ、回転ケズリ、 回転糸切り	黒、白色細砂粒を全 体多く含む	良好	緑灰色	遺地整備報告書第11 回-33
37-4	39	東北大溝ハウス 73110	須窓部	高台付床	13.0	8.4	4.3~ 4.6	回転ナデ、静止糸切り	黒、砂粒を少量含む	良好	灰青灰色	
37-5		東北大溝ハウス S0004 73113	須窓部	高台付床	8.6			回転ナデ	白色の小砂粒を少量 含む	良好	緑灰色	
37-6		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	12.0	8.0	4.2	回転ナデ、回転糸切り後回転 ナデ、ナデ	黒、1mm以下の白色 砂粒を含む	良好	緑青灰色	
37-7		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	10.8	7.0	3.5	回転ナデ	2mm以下の白色細砂 粒を含む	良好	灰色	
37-8		西溝北端73013	須窓部	高台付床	13.6	7.3	5.1	回転ナデ、ナデ	黒	良好	灰~灰青灰色	遺地整備報告書第11 回-25
37-9		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	10.8			回転ナデ、回転糸切り後ナ デ、ナデ	1mm大の白色砂粒を 含む	良好	灰色	
37-10		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	13.4	9.0	5.3	回転ナデ、回転糸切り後回転 ナデ、ナデ	黒、1mm以下の白色 砂粒を多く含む	良好	外：黒灰~灰 白 内：緑青灰色	底部外面へラ 記号 「×」
37-11		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	8.3			回転ナデ、ナデ	黒	良好	明灰色	底部外面へラ 記号「×」
37-12		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	13.4	8.2	4.8	回転ナデ、ナデ	1mm以下の白色細砂 粒を含む	良好	外：緑灰色 内：灰色	
37-13		東北大溝ハウス 73114	須窓部	高台付床	8.4			回転ナデ、ナデ	1mm以下の白色細砂 粒を含む、気泡目立つ	良好	緑青灰色	転用型+
37-14		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	14.2	7.8	5.2	回転ナデ、回転糸切り後回転 ナデ、ナデ	2mm程度の小礫と白 色砂粒を含む	良好	外：青灰~赤 褐色 内：緑灰色	
37-15	39	東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	10.3	6.1	3.1	回転ナデ、回転糸切り、ナ デ	粘土	良好	緑灰色	遺地整備報告書第11 回-25
37-16		東北大溝ハウス 73114	須窓部	高台付床	20.0	11.0	6.8	回転ナデ、回転糸切り、ナ デ	1~2mm大の砂粒を含む	良好	外：緑青灰色 内：青灰色	
37-17		東北大溝ハウス 73113	須窓部	高台付床	9.9			回転ナデ、ナデ	1~2mm程度の砂粒を 含む	良好	灰色	底部外面黒書「□黒 文」
37-18		東北大溝ハウス 73120	須窓部	床	12.8	6.6	4.9	回転ナデ、静止糸切り、ナ デ	黒、1mm以下の白色 砂粒を含む	良好	灰色	
37-19		東北大溝ハウス 73113	須窓部	床	24.0	9.0	3.9	回転ナデ、回転糸切り、ナ デ	黒、白・黒色細砂粒 を多く含む	良好	明灰~赤灰	遺地整備報告書第11 回-28
37-20		東北大溝21120	須窓部	床	13.8	9.0	4.3	回転ナデ、回転糸切り	黒、白色砂粒を含む	良好	青灰色	
37-21		東北大溝73111	須窓部	床	13.8	9.4	4.1	回転ナデ、回転糸切り、ナ デ	黒、白色細砂粒を多 く含む	やや不良	外：黒褐色 内：黒灰色	遺地整備報告書第11 回-12
37-22		東北大溝ハウス 73113	須窓部	床	12.2	8.4	4.1	回転ナデ、回転糸切り、ナ デ	黒、2mm以下の白色 砂粒を含む	良好	緑青灰色	
37-23		東北大溝ハウス 73112	須窓部	床	13.0	9.0	4.3	回転ナデ、回転糸切り後ナ デ、ナデ	黒、1mm以下の白色 砂粒、2mm程度の礫 を含む	良好	灰色	外面黒書、漆+
37-24		東北大溝ハウス 73120	須窓部	床	11.2	7.0	2.8	回転ヘラケズリ、回転糸切 り、ナデ	1mm大の砂粒を含む	良好	灰色	
37-25		東北大溝ハウス 73113	須窓部	床	8.8	6.4	3.2	回転ナデ、回転糸切り、ナ デ	黒	良好	緑灰色	
37-26		S0004 東北大溝 ハウス 73114	須窓部	床	10.1	7.0	3.0	回転糸切り、回転ナデ、ナ デ	白色の砂粒を少量含 む	良好	灰色	石目型票、口縁部 ナール付着
37-27		東北大溝ハウス 73113	須窓部	床	7.9	5.5	2.3	回転ナデ、静止糸切り	1mm程度の白色の砂 粒を多く含む	良好	緑青灰色	石目型票1部
37-28		東北大溝ハウス 73114	須窓部	高台付床	18.0	11.5	2.3	回転ナデ、ナデ	黒、微砂粒を多く含 む	良好	橙~灰色	遺地整備報告書第11 回-33
38-1		東北大溝ハウス 73114	須窓部	蓋	12.3		4.7	回転ナデ、ヘラケズリ、ナ デ	白色のやや大きな砂 粒を含む	良好	緑灰色	赤書、定切つまみ、今 や破損
38-2		東北大溝ハウス 73112	須窓部	蓋	18.0			回転ナデ	黒、1mm以下の白色 砂粒を含む	良好	青灰~灰 白色	
38-3		東北大溝ハウス 73115	須窓部	蓋	18.6			回転ナデ、タタキ、当て具 使用	黒、1mm以下の白色 砂粒を多く含む	良好	緑青灰~灰 白色	
38-4		東北大溝ハウス 73113	須窓部	蓋	23.6			回転ナデ、タタキ、当て具 使用、沈積1発	黒、白色砂粒を含む	良好	外：緑灰~緑 灰色 内：緑灰色	自然蝕
38-5		東北大溝ハウス 73113	須窓部	蓋	22.4			ナデ、定切タタキ、同心円 当て具使用	1mm大の砂粒を含む	良好	緑灰色	
38-6		東北大溝ハウス 73113	須窓部	蓋				成法文、ヨコナデ	白色の砂粒を多く含 む	良好	緑灰色	今や破損
38-7	39	東北大溝ハウス 73113	須窓部	原屋敷	8.9	6.5	5.4	回転ナデ、回転ヘラケズ リ	黒、1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	緑青灰~灰 白色	遺地整備報告書第11 回-26
38-8		東北大溝ハウス 73113	須窓部	床		6.0		糸切り後ナデ、ヘラケズ リ後ナデ、ナデ	黒、1mm以下の白色 砂粒を含む	良好	緑灰色	継入品+
38-9		東北大溝ハウス 73113	須窓部	不明				ナデ、削面直前、当て具 使用	1mm大の砂粒を含む	良好	灰~緑灰色	
38-10		東北大溝ハウス 73114	須窓部	鉢 鉢	35.0			平打タタキ後ヨコナデ、ヨ コナデ、沈積2発	1~2mm大の砂粒を含 む	良好	灰~灰褐色	
38-11		東北大溝ハウス 73113	須窓部	鉢 鉢	17.6			回転ナデ	白色の小砂粒を少量 含む	良好	青灰色 断面 は橙褐色	両面に黒褐色付着物
38-12		東北大溝ハウス 73110	須窓部	須窓部				格子状タタキ、回転ナデ、同 心円当て具使用	黒、白色砂粒を少 し含む	良好	緑灰色	
38-13		東北大溝ハウス 73110	須窓部	蓋	5.6			回転ナデ、回転ヘラケズ リ、回転ヘラケズリ後ナ デ、ナデ	黒、白色砂粒を含む	良好	灰白色	漆付着
38-14		東北大溝ハウス 73114	須窓部	蓋				回転ナデ	砂粒を多く含まない	良好	灰色	注口に赤色付着物、 漆+
38-15	39	東北大溝ハウス 73113	須窓部	蓋	5.3	7.5		回転ナデ、回転ヘラケズ リ	黒、1~2mmの白色砂 粒を多く含む	良好	灰青~灰色	漆付着、遺地整備 報告書第11回-37
38-16	39	東北大溝ハウス 73110	須窓部	床身	12.8	8.4	4.0	回転ナデ、回転糸切 り	1mm以下の白色細砂 粒を含む	やや不良	緑青灰色	内面に漆付着
38-17		東北大溝ハウス 73106	須窓部	鉢 鉢	17.8	13.4	2.1	回転ナデ、ナデ、回転糸切 り	0.5mm以下の砂粒を含 む	良好	灰褐色	底部外面に黒書「大」 遺地整備報告書第12 回-6

標品 番号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種別	跡様	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
38-18		東北大瀧ハウス 73114	灰忠器	坏身		9(3)		回転ナデ、ナデ	1~2mm程度の砂粒を含む	良好	灰色	底部外面に墨書「玉女」 燧地整備報告書第1298-5
38-19		東北大瀧ハウス 73114	灰忠器	坏身	14.0	9(2)		回転ナデ、ナデ、回転糸切り	密、微細な砂粒をよく少量含む	良好	灰褐色	底部外面に墨書
38-20		東北大瀧ハウス 73118	灰忠器	高台付坏		7(0)		回転ナデ、回転ケズリ、ナデ	微細な砂粒をごく少量含む	良好	灰色	底部外面にヘラ跡「御」 燧地整備報告書第1298-9
39-1		東北大瀧 73114	灰忠器	蓋	15.0		20	回転ヘラケズリ後ナデ、回転ナデ、ナデ	密、白色砂粒を少量含む	良好	灰褐色	外：鉛筆周-9灰色 内：鉛筆周-9
39-2		東北大瀧ハウス 73112	灰忠器	高台付耳		12.1		回転ナデ ナデ	1~2mm以下の砂粒を含む	良好	青灰色	墨画、転用碗、軸状つまみ
39-3	38	東北大瀧ハウス 73112	灰忠器	碗		12(2)		回転ナデ、沈殿染	精良	良好	青灰色	方形通し孔(横32mm)
39-4		東北大瀧ハウス 73113	佛土土器	羹	17(2)			ヨコナデ、ハケ目、ヘラケズリ	やや粗、3mm以下の砂粒を多く、白色砂粒を少し含む	良好	乳褐色	燧地整備報告書第1298-1
39-5		東北大瀧ハウス 73114	土師器	羹		16(8)		ヨコナデ、ヘラケズリ	粗、1~2mm以下の砂粒・白色砂粒を多く含む	良好	乳褐色	口縁保存者、燧地整備報告書第1298-2
39-6		東北大瀧ハウス 73113	土師器	羹	28(9)			ヨコナデ、ハケ目、ヘラケズリ	やや粗、1mm以下の砂粒・白色砂粒を多く含む	良好	橙褐色	内面保存者
39-7		東北大瀧ハウス 73114	土師器	羹	25(4)			ヨコナデ、ヘラケズリ	やや粗、微細砂粒を多く含む	良好	乳褐色	外面保存者
39-8		SD04 東北南ハウス 73113	土師器	羹	34(9)			ヘラケズリ	1~2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	
39-9		東北大瀧ハウス 73114	土師器	鉢		11(2)		回転ヘラケズリ、ナデ	密、微細砂粒・石灰片を多く含む	良好	白褐色	内外面赤彩
39-10		東北大瀧ハウス 73114	土師器	鉢		31(2)		密	やや不貞	不良	淡黄褐色	
39-11		東北大瀧ハウス 73114	土師器	鉢				ヘラケズリ、ナデ	密	良好	淡黄褐色	
39-12		東北大瀧ハウス 73114	土師器	坏	17(9)			ヘラミガキ、放射状刷文	密、白・黒細砂粒を多く、2mm以下の砂粒を散ら含む	良好	橙褐色	内外面赤彩 外周に付着物、縦・部、燧地整備報告書第1298-3
39-13		東北大瀧ハウス 73113	土師器	柱状高台付皿		8(8)			2mm以下の塵・白色砂粒を多く含む	やや不貞	黄褐色	
39-14		東北大瀧ハウス 73113	土師器	柱状高台付皿		6(0)		回転糸切り後ナデ	密	良好	淡黄褐色	
39-15		東北大瀧ハウス S204+73113	製磁土器	製磁土器				ナデ	密、微細砂粒を含む	やや不貞	淡褐色	
39-16		東北大瀧ハウス S204+73113	製磁土器	製磁土器				ナデ	粗、3mm以下の砂粒を多く含む	やや不貞	淡粉白色	
39-17		東北大瀧ハウス 73114	製磁土器	製磁土器				ナデ	密、微細砂粒を含む	やや不貞	白褐色	
39-18		東北大瀧ハウス 73112	白磁	瓶		4.2		ヘラケズリ	密	良好	灰白色	蓋付瓶
39-19		東北大瀧ハウス 73113	白磁	瓶		6.4		ケズリ 施釉	緻密	良好	明ナリープ灰	編摩瓶
39-20		東北大瀧ハウス S204+73114	白磁	瓶		5.8		ヘラケズリ	密、2mm以下の砂粒を散ら含む	良好	灰色	横目筋、ケズリだし高台
40-1		東北大瀧ハウス 73113	瓦	軒丸瓦				ナデ、密押圧痕	密	良好	灰白色	燧地整備報告書第1298-7
40-2	40	東北大瀧ハウス 73113	瓦	平瓦				横目 布目 板状圧痕	2~3mm以下の砂粒を含む	不良	青灰色	横谷5作付
40-3		東北大瀧ハウス 7311-上	瓦	丸瓦				ナデ 布目	1mm以下の白砂を含む	良好	灰色	
100-1	写真 4	東北大瀧ハウス 1973112	瓦	丸瓦				凸・凹コ方向のハケのちナデ方向のナデ 凹・ヨココ方向のケズリ	1~2mm以下の砂粒を多く含む	良好	凸：赤褐色 凹：灰白色	表裏施釉
41-1		41x	灰忠器	高台付皿	10(2)			ナデ、回転ナデ、回転糸切りナデ、回転ナデ、回転糸切りナデ頭上	0.5mm以下の砂粒を含む	良好	紺灰色	底部外面墨書「因」
41-2		41x	灰忠器	高台付坏		8.9		ナデ、回転ナデ、回転糸切りナデ頭上	0.5mm大の黒色砂粒を含む	良好	紺灰色	底部外面墨書「大」
41-3		不明	白磁	瓶		6.7		ケズリ	2~3mm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	編摩瓶
41-4		73年	灰忠器	蓋	12.4		3.9	回転ナデ、回転ヘラケズリ、ヘラケズリ	密、細砂粒を少し、白色細砂粒を多く含む	良好	紺灰色	穴状つまみ
41-5		730716	土師器	瓶(肥子)					粗、4mm以下の砂粒を多く含む	やや不貞	白褐色	外面保存者
41-6		75年10月跡	灰忠器	坏	10(2)	6(5)	3.5	回転ナデ、ナデ	やや粗、6mmの砂・1mm以下の砂粒・白色細砂粒を多く含む	やや不貞	灰白色	燧地整備報告書第1198-20
41-7	34	表探730416	瓦	軒丸瓦					白色砂粒・ガラス質砂粒を多く含む	良好	淡黄~灰色	部分欠割
41-8	36	表探730416	瓦	軒丸瓦					4mm以下の砂粒を少量含む	やや不貞	灰~黄白褐色	部分欠割

第37表 1974年度環境整備事業出土鏡觀察表

検出番号	写真図版	種別	器種	出土地点	寸法			備考
					径 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
43-1	35	銅製品	鏡	北朝素掘復元溝1区	11.1	0.9	302.29	板蓋式鏡、柳南文帯、二重円文帯、亀形の紐、環境整備報告書第12図-8

第38表 1972～1974年度環境整備事業出土陶磁器分類表

種別	分類	計
白磁碗	II類	1
白磁碗	IV類	2
白磁碗	樽類	2
白磁皿	VI類	1
合計		6

第39表 1973～1975年度環境整備事業玉作関係遺物石材別集計表

水品	原石・石核						彫刻						彫打						計		
	碑状		結晶体		碑状		結晶体		碑状		結晶体		平玉		丸玉		彫片・チップ				
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)			
東西 復元溝	2	231.64			1	365.07					1	19.06							4	416.97	
南北 復元溝	1	238.01																	1	238.01	
北朝素 掘復元溝2区							1	99.48					1	6.07					1	105.55	
同3区																					
同4区											1	77.3						1	3.3	2	80.6
同5区																					
不明																					
計	3	469.65			1	365.07			1	99.48	1	19.06	1	77.3	1	6.07		1	3.3	9	811.13

実水品	原石				計	
	碑状		結晶体		点数	重量 (g)
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)		
東西 復元溝						
南北 復元溝						
北朝素 掘復元溝2区	1	11.18			1	11.18
同3区						
同4区						
同5区						
不明						
計	1	11.18			1	11.18

碧玉	石核		素材片		彫片・チップ		計	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
	東西 復元溝	2	212.05	1	65.53			
南北 復元溝								
2区								
3区					1	8.65	1	8.65
4区								
5区	1	521.37						
不明					1	1.55	3	521.37
計	3	733.42	1	65.53	2	10.20	6	799.8

カド石	叩き石				計	
	点数		重量 (g)		点数	重量 (g)
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)		
東西 復元溝	1	134.34	1	134		
南北 復元溝						
北朝素 掘復元溝2区						
同3区						
同4区						
同5区						
不明						
計	1	134.34	1	134.34		

石英	原石		計	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)
	東西 復元溝	1	38.52	
南北 復元溝				
北朝素 掘復元溝2区				
同3区				
同4区				
同5区				
不明				
計	1	38.52	1	38.52

地区	種別	計	
		点数	重量 (g)
		東西 復元溝	1
南北 復元溝			
不明			
計	1	257.75	

第40表 1968～1970年度調査ほか出土遺物観察表

陣番 号	写真 図説	出土遺物名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	施 成	色 調	備 考
65-1		ES-36赤土片(黒褐色)土 169238	灰磁器	片	(13.4)	(9.0)	3.9	回転ナデ、回転赤切り	2mm以下の砂粒を微量 に含む	良好	灰色	漆付着
65-2		ES-36赤土片(黒褐色)土 169238	灰磁器	皿*				回転ナデ、ナデ	3mm以下の砂粒を少量 含む	やや不良	黒褐色、灰褐色	円形漆かきあり
65-3		6XIN-ES36黄褐色 粘土・AC20黄褐色 粘土	土製品	土製支脚				ナデ	1-2mm大の砂粒を 含む	良好	灰青褐色	三方方向に突起
65-7		G029赤土片 491107	土師器	壺				腹部に突起、ナデ	4-5mm内の塵を含む	良好	濃い黄褐色	
65-8		B71黒褐色土	土製品	土製支脚				胎ナデ	2mm以下の砂粒を微量 に含む	良好	黒褐色	
66-1		AP18ガラス 491113	灰磁器	器台				2条花線、波状文、ヨコナ デ	胎土、1mm以下の砂粒 を微量に含む	良好	灰白色	通かし二方向
66-2		AP15黄褐色土 491113	灰磁器	蓋	9.2		2.7	回転ヘラケズリ、回転ナデ	0.5-1mmの砂粒を含む	良好	灰色	内面にヘラ記号「×」
66-3		AP15黄褐色土 491113	灰磁器	杯	(8.6)		3.4	回転ナデ、回転ヘラケズリ	胎、白色粒子を含む	良好	黒灰～灰色	
66-4		AK16ガラス 491109	灰磁器	蓋				回転ナデ、回転ヘラケズリ、 ナデ	1-2mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	外周スタンプ「□」
66-5		A19ガラス 491121	灰磁器	杯				回転赤切り	1-2mm以下の砂粒を 含む	良好	黒褐色	底部外面へラ記号
66-6		AP17ガラス 491113	灰磁器	杯				回転ナデ	1mm以下の砂粒を多く 含む	良好	灰色	外面へラ記号「×」
66-7		AK13灰褐色粘土 491111	灰磁器	高台付杯*		2.9		回転ナデ、ナデ	1-2mm以下の砂粒を 含む	良好	淡青灰色	外面へラ記号「-」、高 台部二方向から切込み
66-8		AS18ガラス 491125	灰磁器	壺+蓋				平行タタキ、当て具煎	1mm以下の砂粒を微量 に含む	良好	灰色	
66-9		AS21-2 A120-2 ガラス土	灰磁器					ナデ	1-2mm大の砂粒を 含む	良好	灰白色	内面に重ね焼き痕
66-10		AM東西漆 520010	土師器	高杯				外面：赤漆 内面：ナデ	1mm大の砂粒を含む	良好	黄褐色	
66-11		A14灰緑色0204	土師器	柱状高台 付皿	8.8	5.6	4.6	回転ナデ	2mm以下の長土を微量 量、3mm以下の黒色粒 子を少量含む	良好	淡褐色	内面に黒色付着物あり
67-1		IK30黄褐色土 491119	灰磁器	杯		8.0		ナデ、回転赤切り	1mm以下の白色・黒色 粒を微量に含む	良好	灰色	外面に黒色付着物あり
67-2		IK37灰褐色土 491125	灰磁器	高台付杯	(8.4)			ナデ、回転赤切り、爪状 圧痕	1mm以下の白色粒子を 微量に含む	良好	灰色	
67-3		IK20黄褐色砂 491125	灰磁器					回転ナデ、赤切り、ナデ	1-2mm以下の砂粒を 含む全体に、5mm大の 小石をわずかに含む	良好	青灰色	
67-4		IK20黄褐色土 491115	灰磁器					回転ナデ、回転赤切り、ナ デ	1-2mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	
67-5		IK20黄褐色内 491115	灰磁器	皿	(13.1)			回転ナデ	1mm以下の砂粒を含む	良好	外：淡青灰色 内：黒褐色	
67-6		IK30黄褐色土 491125	灰磁器	皿	(10.3)	(6.8)	3.1	回転ナデ、静止赤切り、 ナデ	2-3mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	右明細型土器
67-7		IK20黄褐色内 491215	灰磁器	壺+蓋	(19.4)			回転ナデ、回転ヘラケズリ、 胎土煎	2-3mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	底部粘土塊滑着
67-8		IK31黄色土内 491115	灰磁器	壺				胎子タタキ、当て具煎後 ハケム、回転ナデ	2-3mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	
67-9		IK32黄色土内 491114	灰磁器	壺*				タタキ、当て具煎	2-3mm以下の砂粒を 含む	良好	外：黒褐色 内：灰色	
67-10		IK30黄色土内 491115	灰磁器	壺				胎子タタキ、当て具煎後 ハケム、回転ナデ	3-4mm以下の砂粒を 含む	良好	黒青灰色	
67-11		IK31黄色土内 491114	灰磁器	壺*				タタキ、胎子煎当て具煎、 刷毛文で仕上げ	1-2mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	
67-12		IK20ガラス 491114	灰質*	壺				胎子タタキ後ナデ、当て具 煎後ハケム	2-3mm以下の砂粒を 含む	良好	灰色	
67-13		IK30黄色土内 491115	土師器	杯	(6.4)			回転赤切り、回転ナデ	2-3mm以下の砂粒を 含む	良好	外：黒褐色 内：黒褐色	
67-14		IK26ガラス 701201	土師器	皿	9.1	4.1	2.1	回転赤切り	1-2mm以下の砂粒を 含む	良好	外：灰白色 内：黒褐色	
67-15		IK4黄褐色土36 701201	土師器	柱状高台 付杯+皿	7.2			回転赤切り、沈澱	2-3mm以下の砂粒を 含む	良好	灰色	高台台下部泥状赤漆あり
67-16		IK29赤土 黄褐色土、491129	灰磁器	杯*				ナデ	胎土煎	良好	灰色	内外面を焼着
67-17		IK28ガラス 701202	土製品	土師				ナデ	長石、白～黒色粒子 を少量含む	良好	淡褐色	長53.0cm、外径20cm、 内径15cm、C型
67-18		IK28ガラス 701202	土製品	土師				ナデ	1mm以下の白色・黒色 粒子を微量に含む	良好	淡褐色	長54.0cm、外径13cm、 内径10cm、C型
68-1		C13黒褐色砂 491201	灰磁器	蓋	12.8		2.6	回転ヘラケズリ、回転ナデ、 ナデ	白色砂粒を含む	良好	灰色	杯部内面にヘラ記号 「×」
68-2		CM24黒色ガラス 701124	灰磁器	蓋				回転ナデ、ナデ	密	良好	明灰色	
68-3		CM26ガラス 701201	灰磁器	杯		10.0		回転ナデ、ナデ、回転赤 切り	1mm以下の白色砂粒を 極少量含む	良好	薄赤灰色	油煙付着
68-4		CK16ガラス土	灰磁器	高台付杯				回転赤切り、回転ナデ		良好	灰白色	
68-5		CL17灰褐色粘土 701118	灰磁器	高台付杯	(11.0)			回転ナデ、ナデ、回転赤 切り	3mm以下の白色粒子を 少量、3mm以下の黒色 粒子を微量に含む	良好	灰色	
68-6		CL18灰色ガラス 701107	灰磁器	高台付杯	(10.4)			回転ナデ、ナデ	2mm以下の白色砂粒を 微量に含む、黒色粒 子を少量含む	良好	灰色	
68-7		C13黒褐色砂 491201	灰磁器	高台付杯	8.4			回転ナデ、回転赤切り	3mm以下の白色粒子を 少量含む	良好	灰色	底部外面にヘラ記号 「×」
68-8		C16赤西漆塊 灰粘土701117	灰磁器	杯	(11.8)	9.2	4.4	回転ナデ、ナデ、回転赤 切り、爪状圧痕	3mm以下の砂粒を少量 含む	良好	黒褐色	ヘラ記号
68-9		CM12黒褐色砂 491202	灰磁器	高台付杯	(12.4)	(9.8)	4.4	回転ナデ、ナデ	2mm以下の長石、1mm 以下の白色砂粒を不 量に含む	不良	薄褐色	油煙付着

編号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	直径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
68-10		C211バラス土 681121	灰器器	高台付杯	(117)	8.2	3.3	回転ナデ、ナデ	2cm以下の白色粒子を少量、1cm以下の黒色粒子を微量量を含む	良好	灰色	
68-11		C1919灰色粘土 701118	灰器器	高台付杯	(104)	7.6	4.5	回転ナデ	砂粒を多く含む	やや不貞	灰白色	
68-12		昭和調査	灰器器	高台付杯	(204)	12.4	6.7	回転ナデ、ナデ	3cm以下の白色粒子、1cm以下の黒色粒子を微量量を含む	良好	灰色	外部表面に腐状突起が突出
68-13		CK14灰色バラス 701117	灰器器	杯	(178)			回転ナデ	1cm以下の白色粒子を微量量を含む	良好	灰色	腐状突起
68-14		CM12バラス 691130	灰器器	皿	95	7.2	2.0	回転ナデ、ナデ	砂粒を多く含む	良好	灰～褐色	有明製土器
68-15		C16灰色西高内 色粘土701117	灰器器	皿	(102)	16.0	2.7	回転ナデ、回転赤切り	2cm以下の白色砂粒を微量量を含む	良好	灰色	有明製土器
68-16		CM12黄褐色 691202	灰器器	高杯	176			回転ヘラケズリ、回転ナデ	2cm以下の白色粒子・砂粒を微量量を含む	やや不貞	薄灰色	外部表面にヘラ記号あり
69-1		C124緑台土 701122	灰器器	蓋	(134)	4.0		回転ヘラケズリ、回転ナデ	2cm以下の白色・赤色粒子を少量含む	良好	緑灰色	蓋の蓋*
69-2		C121灰色粘質土 701107	灰器器	壺				回転ヘラケズリ、回転ナデ	2cm以下の砂粒を多く含む	良好	緑灰色	
69-3		CI112バラス 691201	灰器器	壺	(126)			ヨコナデ	1cm以下の砂粒を微量量を含む	良好	灰色	白線部にヘラ記号
69-4		CK14灰色バラス 土701117	灰器器	壺				回転赤切り、回転ナデ	1cm以下の砂粒を含む	やや不貞	淡灰色	内面に漆付着
69-5		CE17黄褐色粘 土701125	灰器器	壺	12.0			回転ヘラケズリ、回転ナデ	泥	良好	灰白色	
69-6		C124灰色西高内 色粘土701125	灰器器	壺	(184)			ナデ、当て共焼、ナデ	1cm以下の白色・黒色粒子を微量量を含む	良好	灰色	
69-7		CI100バラス土 681121	灰器器	壺				ハケ	泥	良好	青灰色	平安後期
69-8		CL12黄褐色砂 691202	灰器器	鉢				回転ナデ	砂粒を含む	良好	灰色	
69-9		CM12黄褐色砂 691202	灰器器	鉢	(178)		(66)	ヘラケズリ後回転ナデ、回転ナデ、ナデ	白色砂粒を多く含む	良好	灰色	鉄鉢土器
69-10		CI13バラス 691130	土師器	壺				風化	泥	やや不貞	褐色	
70-1		DK41バラス 701111	灰器器	平皿				ヘラケズリ	1cm以下の砂粒を含む	良好	淡灰色	肥子
70-2		黄褐色粘土 701101	灰器器	蓋	18.7	2.9		回転ナデ、ナデ	白色砂粒を含む	不貞	灰～褐色	
70-3		68-70	灰器器	杯	(96)			回転ナデ、回転赤切り	2cm以下の砂粒を少量含む	良好	灰色	底部縁部に取付工具による押痕あり
70-4		68-20(70)	灰器器	杯*	7.0			ナデ、回転ナデ、静止赤切り	2cm以下の砂粒を少量含む	良好	灰色	内面に取付状にナデを施す
70-5		不明	灰器器	壺				回転ナデ、ナデ	泥	良好	灰色	
70-6		CI13黄褐色土 製品	土製支脚	ハケ後ナデ					1cm大の砂粒を含む	良好	浅黄褐色～灰色	二方向に突起、径3cm長さ2cmの孔
74-1		AN13黄褐色土	灰器器	蓋				回転ナデ、ナデ	砂粒を多く含む	良好	緑灰色、褐色	外部内面に漆着「私印」
74-2		A1206緑灰色土 691206	灰器器	杯*				回転赤切り、ナデ	1cm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	外面に漆着
74-3		AB25灰色粘土 701107	灰器器	杯	(180)			回転ナデ、ナデ	2cm以下の白色粒子を微量量を含む	良好	灰色	外部内面に漆着*
74-4		CK24灰色バラス 701122	灰器器	高台付杯	(92)			ナデ、回転赤切り	2cm以下の白色・黒色粒子を微量量を含む	良好	灰色	良好
74-5		CL14褐色土 701119	灰器器	蓋				回転赤切り、回転ナデ	1~2cm大の砂粒を含む	良好	灰色	内面に漆着「私印」
74-6		CM14灰色バラス 701107	灰器器	高台付杯	11.6			回転ナデ、ナデ、静止赤切り	1cm以下の砂粒を微量量を含む	良好	灰色	蓋のスタンピング
74-7		AL12バラス 691125	灰器器	高台付杯	(82)			ナデ、回転赤切り	1cm以下の白色・黒色粒子を微量量を含む	良好	灰色、薄灰色	内面に刺青あるいは凹
75-1		K007バラス 691119	灰輪陶器	壺	(120)			回転ナデ	粘焼、1cm以下の砂粒を微量量を含む	良好	灰白色	
75-2		IS27黄東内 701200	灰輪陶器	匣蓋	(140)			回転ナデ	2cm以下の白色・黒色粒子を微量量を含む	良好	灰色	
75-3		CI113バラス 691111	灰輪陶器	盃付蓋				回転ナデ、ナデ	粘焼、黒色砂粒を含む	良好	灰黄色	施焼、穴後半以降
75-4		CI16黄褐色粘 701101	灰輪陶器	小瓶	(110)			回転ナデ、ケズリ、回転ヘラケズリ	2cm以下の砂粒を微量量を含む	良好	灰色	
75-5		A300味土下 691106	緑輪陶器	高台付杯	(81)			沈瀬	粘質	良好	粘土・灰色・緑色	施焼
75-6		CT24黄褐色土 バラス 701122	緑輪陶器	杯				細密	良好	明緑灰色	口縁部玉縁状に肥厚	
75-7		CI19黄褐色土 701122	緑輪陶器	瓶	(89)			回転ナデ	粘質	良好	灰白色	施焼、表面もしくは縁部
75-8		不明	褐色土器	碗				細密	良好	外：灰白色 内：褐色	内面黄化処理、口縁部黄化著者	
75-9		不明	白磁	碗	6.2			回転赤切り	細密	良好	灰白色	内面施焼
75-10		不明	白磁	蓋*				北條2条、クシ羅文、ナデ	細密	良好	灰白色	外部施焼
75-11		CK32バラス土 681118	肥前系陶器	皿	4.8			細密	良好	淡褐色	施焼、ケズリ出し高台、3ヶ所に凹線	
77-1		一貫瓦バラス面 G02609112	瓦	軒瓦瓦					1~2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	軟質
77-2	2H	一貫瓦G208R土 下 691106	瓦	軒瓦瓦				凸：粘土ナデ、磨れ磨削 凹：赤井正成ケズリ	1~2cm大の砂粒を含む	良好	灰白色	粗密、厚さ3.7cm
77-3	2H	G28味土下 691107	瓦	軒瓦瓦				凸：粘土ナデナデ 凹：ケズリ、赤井正成	5cm大の礫を含む	やや不貞	浅黄褐色	軟質、厚さ3.8cm、 径1.5~2cmの垂形粘土
77-4		AC20黄褐色土 701104	瓦	軒瓦瓦				ナデ	白色の砂粒を含む	良好	灰白色	外部：灰白色 内面：灰白色
77-5		AB12バラス 691126	瓦	軒瓦瓦				凸：ナデ	2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	軟質、固分32%
77-6		AM10味土下 691104	瓦	軒瓦瓦					1cm以下の砂粒を多く含む	やや不貞	黄褐色	固分32%、5~156-10

標品 番号	写真 25%	出土遺構名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
77-7		AL1150茶色粘土 091112	瓦	軒丸瓦					積瓦	やや不貞	灰色～黒灰色	国分寺2期, 5-156-11
77-8		AT18棕色大ビッド 091126	瓦	軒丸瓦				5mm角の襷を含む	やや不貞	浅黄褐色	鉄質, 国分寺2期, 瓦当面磨滅	
77-9	25	AT18ビッド(大) 茶色091126	瓦	軒丸瓦				1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 国分寺2期, 瓦当の磨滅が著しい	
77-10		AM18茶西濃 SD10 091104	瓦	軒丸瓦				白色の小砂粒を含む	やや不貞	くすんだ灰色	鉄質, 国分寺3期, 5-132-15	
77-11		AK159灰色砂 091111	瓦	軒丸瓦				5-6mm角の襷が顕著	やや不貞	浅黄褐色	鉄質, 国分寺3期	
77-12		AR17ガラス 691125	瓦	軒丸瓦				1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	赤褐色	鉄質, 国分寺3期	
77-13		宮の庵AM13(9)S 091106	瓦	軒丸瓦				1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 国分寺3期, 瓦文との場合は印痕のきざ、遺あり	
78-1	35	AM12E上下 091191	瓦	軒丸瓦				凸:ナズリ 凹:ナズリ	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質
78-2	35	AM12E西濃 (SD00) 091104	瓦	軒丸瓦				凹:1mm以下の砂粒を多く含む	良好	淡灰色～灰白色	鉄質	
78-3		AQ20オオコシ茶 色1691127	瓦	軒丸瓦				凸:ナズリ 凹:春日瓦重, ナズリ	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 瓦当面の外れたため、先端を側面磨りして復元にする
78-4		宮の庵AM11(9)S 091106	瓦	軒丸瓦				1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	浅黄褐色	鉄質, 丸瓦部	
78-5		AK 091208	瓦	軒丸瓦				春日瓦重	1mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	
78-6		丸_39(9)ガラス 091107	瓦	軒丸瓦				春日瓦重	2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	
78-7	27	宮の庵A19黄褐色 粘土	瓦	軒丸瓦				凹:春日瓦重, ナズリ	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質
78-8		宮の庵AD10(9)S 1691124	瓦	軒丸瓦				凸:ナズリ 凹:ナズリ, 春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 丸瓦部
78-9		A13茶色 P469117	瓦	軒丸瓦				凹:春日瓦重	2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	鉄質, 丸瓦部
78-10		AM17茶西濃 SD10 091104	瓦	軒丸瓦				ナズリ	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	黒灰色	鉄質
78-11	25	AB17(9)ガラス	瓦	軒丸瓦				凸:ナズリ 凹:春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質
79-1	35	HL309灰色内堀	瓦	軒丸瓦				凸凹面に磨み	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	丸瓦部
79-2	25	宮の庵BN27(9)S 68-70	瓦	軒丸瓦				凹:ナズリ	2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 国分寺3期
79-3		IK20(9)ガラス 701203	瓦	軒丸瓦				ナズリ, 春日瓦重	1mm以下の白色の砂粒を多く含む	やや不貞	灰白色	鉄質, 5-156-8
80-1		CR24 茶色(9)S 170112	瓦	軒丸瓦				砂粒を含む	良好	灰～淡黄褐色	国分寺2期, 5-156-1	
80-2		宮の庵C17上堀 茶色70111	瓦	軒丸瓦				1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 国分寺2期	
80-3		CL19茶濁粘 701112	瓦	軒丸瓦				1-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質	
80-4		CF18茶濁色粘土 701031	瓦	軒丸瓦				2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色～灰白色	鉄質	
80-5		CF19緑作土	瓦	軒丸瓦				2mm以下の白色砂粒を少し含む	やや不貞	灰色	国分寺2期, 5-156-9	
80-6		CM17(9)S土 701103	瓦	軒丸瓦				2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 国分寺3期	
80-7		CL1上(9)S土 701103	瓦	軒丸瓦				ナズリ	白色の砂粒をやや多く含む	良好	外面:黒灰色 断面:灰白色	国分寺3期, 5-156-3
80-8		CL14灰色(9)S土 1701107	瓦	軒丸瓦				ナズリ	白色の小砂粒を少量含む	やや不貞	外面:黒灰色 断面:黄白色	鉄質, 国分寺3期, 5-156-2
80-9		CR(9)S土 701102	瓦	軒丸瓦				ナズリ	白色の砂粒を含む	やや不貞	外面:黒灰色 断面:明褐色	鉄質, 5-156-5
80-10		CJ20茶西濃 (SD00) 灰濁砂701108	瓦	軒丸瓦				春日	白色の砂粒を含む	やや不貞	明灰色	鉄質, 5-122-22
80-11		CM159色(9)S土 1701117	瓦	軒丸瓦				春日瓦重	3-5mm大の襷を含む	やや不貞	黒灰色	丸瓦部
80-12		CL18黄濁色粘土 701101	瓦	軒丸瓦				春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	浅黄褐色	丸瓦部
80-13		CJ19黄濁色粘土 701102	瓦	軒丸瓦				2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	丸瓦部	
80-14		CJ11 稲葉砂 691223	瓦	軒丸瓦				春日瓦重	2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	黒灰色	丸瓦部
81-1	27	CL16茶濁砂 701111	瓦	軒丸瓦				先端部および凹面に磨み	1-2mm以下の砂粒を含む	良好	明灰色	鉄質
82-1	25	CF11赤ちこみ茶 色1691202	瓦	軒丸瓦				1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	鉄質, 幅0.1mmの字尻の磨み	
82-2	28	CH12 黄濁色土 091210	瓦	軒丸瓦				春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	丸瓦部
83-1		C17茶西濃 SD00 灰濁色砂701119	瓦	軒丸瓦				ナズリ	白色の砂粒を含む	やや不貞	茶褐色・明褐色	鉄質, 5-122-23
83-2		1968-1970	瓦	軒丸瓦					1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	国分寺2期
83-3		鎌作土701128	瓦	軒丸瓦				ナズリ, 春日瓦重	丸瓦部は白色の砂粒を含む。襷部粘土部分は1mm大の砂粒を多く含む	やや不貞	にごった灰色 断面:白色	鉄質～瓦質, 瓦当部は磨滅 5-156-7
83-4		1968-1970	瓦	軒丸瓦				春日瓦重	1mm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	丸瓦部
83-5		1968-1970	瓦	軒丸瓦				ナズリ, 春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	丸瓦部
83-6		1968-1970	瓦	軒丸瓦				ナズリ	2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	丸瓦部

標品 番号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
83-7		1968-1970	瓦	軒丸瓦				ナデ、春日庄直	1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	丸瓦部
84-1		B10敷溝/ワス 70119	瓦	軒丸瓦					1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	数貫、固分全3期
84-2		伊10敷溝 70122	瓦	軒丸瓦					白色の小砂粒を含む	やや不貞	青灰色	数貫、固分全3期
84-3		B096灰白色溝	瓦	軒丸瓦					1-3cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白～浅黄褐色	固分全3期
84-4		B470119	瓦	軒丸瓦				凸：ナデのちナデ 凹：ナデ、春日庄直	1cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	数貫
84-5		B011330	瓦	軒丸瓦					1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	青灰色	数貫
84-6		B10130 70111、12	瓦	軒丸瓦				凸：ナデ 凹：春日庄直	1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	
89-1	28	C16東西溝SD05 丸瓦砂 70120	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ 凹：横骨板、縦線ナギネ	2-3cm以下の砂粒を含む	良好	凸：灰色凹 灰白色	備後5作り
89-2		AM12東西溝29 SD10 601109	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ 凹：横骨板、縦線ナギネ	2-3cm以下の砂粒を含む	やや不貞	灰色	備後5作り
89-3	28	AM12東西溝29 SD10 601109	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ 凹：横骨板、縦線ナギネ	2-3cm以下の砂粒を含む	良好	凸：灰～白に 濃い黄褐色 に濃い黄褐色	備後5作り
89-4	51	C1111 60123	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ、ユビオヤエ 凹：横骨板、ナデ方向の ナデ、布の合わせ目	1-3cm大の砂粒を多く 含む	良好	灰色	備後5作り
89-5	51	AM6東西溝29 601108	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ、縦線 ナギネ 凹：横骨板、ナデ ナデ、布の合わせ目	1cm以下の砂粒を多く 含む	良好	凸：灰色凹 赤褐色	備後5作り
89-6	51	CM31/ワス 70122	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ 凹：横骨板、ナデナデ	1cm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	備後5作り
90-1		C17黄褐色粘土 70112	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ 凹：縦線ナギネ	1cm以下の砂粒を含む	やや不貞	浅黄褐色	
90-2		AN7/ワス 601111	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ 凹：縦線ナギネ	1-3cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	軒平瓦の平瓦部
90-3		AN21-22 AI321-25/ワス 168120	瓦	平瓦				凸：縄ナギネ 凹：横骨板	2cm以下の砂粒を少し 含む	良好	凸：明褐色 凹：濃い 褐色	
90-4		AM6/ワス 601107	瓦	平瓦				凸：ナデ 凹：糸切り直 筋線・縦線ナデ	粘土、砂粒を含まない	やや不貞	灰白～白	ナゲナデが
91-1	29	CM128 60111	瓦	丸瓦				凸：縄ナギネのちナデ 凹：春日庄直、縦線ナギネ	1-2cm大の砂粒を含む	良好	灰色	有段式
92-1	29	CG19丸部70111	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、縦線ナギネ	2cm以下の砂粒を多く 含む	良好	明灰色	有段式
92-2	30	AN-AI23- 25丸褐色粘土層 60121	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、端部縦 ナギネ	1cm以下の砂粒を含む	良好	青灰色	有段式・玉縁部
92-3	30	AD18黄褐色粘土	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直	1cm以下の砂粒を含む	良好	青灰色	有段式
92-4	30	CL18餅作土 70102	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、縦線ナギネ	1cm以下の砂粒を多く 含む	良好	明灰色	有段式
92-5	30	CE30黄褐色粘土	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、縦線ナギネ	1cm大の砂粒を少量含む	良好	青灰色	有段式
92-6	30	K09餅作土 70128	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直	1.5cm以下の砂粒を多く 含む	良好	濃い黄褐色	有段式
92-7		A011/ワス 601114	瓦	丸瓦				凸：ナゲのちナデ 凹：ナゲ	1cm大の砂粒を含む	やや不貞	凸：灰色凹 灰白色	有段式
92-8		60126	瓦	丸瓦				凸：縄ナギネのちナデ 凹：春日庄直	1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	有段式
92-9		CL130灰色粘土 601122	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直	1-2cm大の砂粒を含む	不貞	灰白色	有段式
93-1	30	A07黄褐色粘土 20111	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、ナデ	2cm以下の砂粒を含む	やや不貞	黄褐色	有段式
93-2	30	AL150灰色粘土 60111	瓦	丸瓦					1cm以下の砂粒を含む	やや不貞	黄褐色	有段式
93-3	30	AM18東西溝 SD10 601104	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：糸切り直	1cm以下の砂粒を多く 含む	やや不貞	淡茶褐色	有段式
94-4	30	AN14/ワス 601114	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：糸切り直	1cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	有段式
94-1	31	CL19/ワス丸 褐色粘土 701102	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：糸切り直、春日庄直	1-3cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	無段式
94-2		CL19/ワス 701102	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、縦線ナギネ	5cm大の粒を含む	やや不貞	浅黄褐色	無段式
94-3		CL19/ワス 701102	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、端部に 砂粒付着	2cm大の砂粒を含む	やや不貞	黄褐色	無段式
94-4	31	丸10 70123	瓦	丸瓦				凸：ナゲ 凹：春日庄直、縦線ナギネ	1-2cm大の砂粒を含む	良好	灰～灰白色	
95-1		伊09敷溝/ワス 70119	瓦	覆斗瓦				凸：格子ナギネ、磨れ跡 凹：春日庄直	1-3cm大の砂粒を含む	良好	灰白～浅 黄褐色	
95-2		伊09敷溝/ワス 70119	瓦	覆斗瓦				凸：縄ナギネ 凹：春日庄直	3-4cm大の砂粒を含む	良好	灰白色	
95-3		伊09敷溝/ワス 70119	瓦	覆斗瓦				凸：格子ナギネ2、磨れ跡 凹：春日庄直、糸切り直	1cm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	
95-4		伊10	瓦	覆斗瓦				凸：格子ナギネ、磨れ跡 凹：春日庄直	1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	
95-5		伊10A 70111	瓦	覆斗瓦				凸：格子ナギネ2、磨れ跡 凹：春日庄直、糸切り直	1cm以下の砂粒を含む	やや不貞	灰色	
95-6		伊13 70122	瓦	覆斗瓦				凸：磨れ跡 凹：春日庄直、糸切り直	5cm角の粒を含む	良好	灰色	
95-7		K09餅作土 70129	瓦	覆斗瓦				凸：格子ナギネ2 凹：春日庄直	1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	
95-8		K09餅作土 70129	瓦	覆斗瓦				凸：格子ナギネ、磨れ跡	1-2cm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	
95-9		K09 70128	瓦	覆斗瓦				凸：格子ナギネ、磨れ跡 凹：春日庄直	1cm以下の砂粒を含む	やや不貞	凸：灰色 凹：灰白色	

標品 番号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種別	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
95-10		R099 群作土	瓦	覆斗瓦				凸：縦目タタキ 凹：春日瓦重	3-4mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	
95-11		R010 黒褐色土	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ 凹：春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	
95-12		R010黄褐色 701120	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ 凹：春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	
95-13		R011	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ2	1mm以下の砂粒を含む	良好	灰白色	
96-1		R009黄褐色	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ 凹：春日瓦重	1-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	浅黄褐色	
96-2	31	R0996.黒色土	瓦	覆斗瓦				凸：縦目タタキ、磨れ砂 凹：春日瓦重	4-5mm角のレキを含む	やや不貞	灰白色	
96-3		R099群作土 701128	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	
96-4		J5186黄褐色 701207	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：春日瓦重、赤切り疵	1-3mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	
96-5		J5186黄褐色土 701207	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	凸：灰白色 凹：灰色	
97-1		J5158黄褐色土 701206	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：赤切り疵	1-4mm以下の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	
97-2		J5158黄褐色土	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：春日瓦重	5mm大の礫を含む	やや不貞	灰白色	
97-3	31	J5158黄褐色土 701206	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：赤切り疵	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	
97-4	31	J5158黄褐色土 701205	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ2、磨れ砂 凹：春日瓦重、赤切り疵	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	
97-5	31	J5158黄褐色土 701205	瓦	覆斗瓦				凸：格子タタキ 凹：春日瓦重、赤切り疵	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰白色	
98-1	32	AS19ノラス	瓦	隅切平瓦				凸：格子タタキ、磨れ砂 凹：春日瓦重、赤切り疵	1-2mm大の砂粒を含む	良好	浅黄褐色～灰 白色	
98-2	32	IF10黄褐色ノラス 701119	瓦	隅切平瓦				凸：格子タタキ7 凹：春日瓦重	1-2mm大の砂粒を含む	良好	灰色	須恵質
98-3	32	IF09黄褐色ノラス	瓦	鬼瓦					2-4mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰白色	手門形の轆り込み
98-4	32	IF07黄褐色砂 701201	瓦	鬼瓦				ハタ、タタキ、タズリ	白色砂粒・砂粒を含む	良好	黒灰	自然剥付着
99-1		F9811225	瓦	杆丸瓦					2-3mm大の砂粒を含む	やや不貞	浅黄褐色	区分等2期
99-2		F9811225	瓦	杆丸瓦					1-2mm大の砂粒を含む	やや不貞	灰色	区分等2期
99-3	32	F9811225	瓦	薄				ナデ	0.5-1mmの砂粒を含む	良好	青灰～灰色	

第41表 1968～1970年度調査出土硯觀察表

録目 番号	写真 図説	出土遺構名 出土年月日	種類	器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	形態・手法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
71-1		A19ハラス 691121	瓶窓器	圓筒形面碗				ナデ, 回転ナデ	密, 白・黒膠砂粒を 全体に少し含む	良好	明灰色	高部, 内面磨
71-2		A178黄褐色土 691206	瓶窓器	圓筒形面碗				回転ナデ	2mm以下の砂粒を 多く含む	良好	暗灰色	
71-3		AM60ハラス土 691108	瓶窓器	蓋				回転ヘラケズリ, 回転ナデ, ナデ	4mm以下の砂粒を 含む	良好	灰色	転用履, 大耳部磨痕
71-4		AC14ハラス	瓶窓器	蓋 (106)				回転ナデ	密	良好	暗灰～灰色	転用履
71-5		A179ハラス土 691121	瓶窓器	蓋	155		(1.7)	回転ヘラケズリ, 回転ナデ, ナデ	3mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	内面磨
71-6		AT20暗灰色土 691206	瓶窓器	蓋				回転ヘラケズリ, 回転ナデ, ナデ	3mm以下の白色粒 子を少量, 1mm以下 の長石を微量含む	良好	灰色	転用履
71-7		AS20暗灰色土 691206	瓶窓器	蓋				回転ナデ, ナデ	1mm以下の白砂を 含む	良好	暗青灰色	転用履, 大耳部磨痕・ 磨痕
71-8		A地穴	瓶窓器	蓋				回転ナデ, ナデ	1mm以下の白砂を 含む	良好	茶褐色	転用履, 内面磨
71-9		AL12灰色砂69	瓶窓器	蓋*				糸切り後回転ナデ, 回転 ヘラケズリ, ナデ	1mm以下の砂粒を 含む	良好	灰色	転用履, 内面磨
71-10		A19ハラス 691121	瓶窓器	坏				回転ナデ, 回転糸切り, ナデ	1～2mm以下の砂粒, 3mm以下の小石を含む	良好	青灰色	転用履, 内面磨
71-11		A404灰土ハラス土 701103	瓶窓器	坏	(11.6)	(2.5)	(4.6)	回転ナデ, 回転糸切り	1mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	転用履, 内外面磨
71-12		AC14ハラス	瓶窓器	坏		(8.3)		回転ナデ, 回転糸切り, ナデ	1～2mm以下の砂粒 を含む	良好	灰色	転用履, 内面磨
71-13		AT18黄褐色土 691206	瓶窓器	蓋				回転糸切り, 回転ナデ	1～4mm以下の砂粒 を含む	良好	明灰色	
71-14		A419ハラス 691121	瓶窓器	坏		(7.8)		回転ナデ, 回転ヘラケズリ, 回転糸切り	1～2mm以下の砂粒 を含む	良好	灰色	転用履, 内面磨・磨 痕
71-15		AS15黄褐色土 691111	瓶窓器	坏		(7.6)		ナデ, 回転糸切り, 回転ナ デ	1mm以下の砂粒を 含む	良好	灰色	転用履, 内面磨
71-16		AQ116黒色粘土 691129	瓶窓器	高台付坏		(11.7)		回転ナデ, 回転糸切り	3mm以下の砂粒を 多く含む	良好	灰色	転用履, 内面磨
71-17		AM62床上下 691101	瓶窓器	高台付坏*				回転ナデ, ナデ	1mm以下の砂粒を 含む	良好	暗灰色	転用履, 内面磨・磨 痕
71-18		A412ハラス 691125	瓶窓器	高台付坏				回転ナデ, ナデ*	1mm以下の砂粒を 含む	良好	灰白色	転用履, 底部外面磨か に磨痕
71-19		AP12黄褐色土 691122	瓶窓器	高台付坏				回転ナデ, 回転ヘラケズリ, ナデ*	1mm以下の砂粒を 含む	良好	暗青灰色	転用履, 内面磨
71-20		AM17ハラス 691101	瓶窓器	不明				回転ナデ	1mm以下の白砂を 含む	良好	灰色	内面磨・磨痕, 裏面磨 痕, 耳部・縁部に少し 磨痕
71-21		AM60ハラス土 691108	瓶窓器	蓋*				指子タケテ, 同心円文で 具用	1mm以下の白砂を 少量含む	良好	青灰色	転用履, 内面磨・磨 痕
71-22		AM62ハラス 691108	瓶窓器	蓋		(11.3)		回転ナデ, 回転ヘラケズリ, ナデ	白砂を少量含む	良好	灰色	磨痕, 内面・底部外 面磨痕
71-23		BM2・29黄褐色 691129	瓶窓器	圓筒形面碗				回転ナデ	密, 1mm以下の白 色砂粒を多く, 赤 色砂粒を少し含む	良好	暗灰色	磨痕
71-24		BE39ハラス 691128	瓶窓器	碗				ナデ	1mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	
71-25		BM27暗灰色砂 701204	瓶窓器	蓋* 蓋		(12.5)		回転ナデ, ヘラケズリ, ナデ	密, 1mm程度の黒 色砂粒を多く, 赤 色・黒砂粒をわず かに含む	良好	明灰色	転用履, 内面底部外 面磨痕・磨痕
71-26		AN12ハラス 691112	瓶窓器	蓋* 蓋				回転ナデ	1～2mm以下の砂粒 を含む	良好	青灰色	転用履, 内面磨
72-1		CJ20黄褐色粘土 (灰色) 701102	瓶窓器	圓筒形面碗				ナデ	1mm大の砂粒を含 む	良好	灰色	磨痕の浅く, 磨身 の作り
72-2		CL11東直溝 691206	瓶窓器	蓋	(11.4)			回転ナデ, ヘラケズリ	1mmの砂粒を微量 に含む	良好	灰色	転用履
72-3		CL12黄褐色砂 691202	瓶窓器	蓋	140		27	回転ヘラケズリ, 回転ナデ	1mm以下の白色粒 子を微量含む	良好	灰色	転用履
72-4		CL24東直溝障土	瓶窓器	蓋	154	44	1.8	回転ヘラケズリ, 回転ナデ	1.5mm以下の白色 ・灰色砂粒を多く含む	良好	明灰色	転用履, 内面に磨痕
72-5		CJ13黄褐色砂 691201	瓶窓器	蓋				回転ナデ, ナデ	1mm以下の白・ 灰色砂粒を多く含む	良好	明灰色	転用履, 大耳部磨痕・磨 痕, つまみ筋 6.7 cm
72-6		CM10黄褐色砂 691202	瓶窓器	高台付坏	(12.8)	(8.9)	(4.3)	回転ナデ, ナデ, 回転糸 切り	1mm以下の白砂を 含む	良好	暗青灰色	転用履, 内面磨
72-7		CJ12暗褐色砂	瓶窓器	高台付坏		8.4		回転ナデ, ナデ	密, 2.5mmの手通 り砂粒をわずかに, 1mm以下の白・黒 色砂粒を多く含む	良好	明灰色	転用履, 内面磨
72-8		CF21黄褐色粘土 701003	瓶窓器	高台付坏		10.8		回転ナデ, ナデ	3mm以下の白色粒 子を含む	良好	灰色	高台内面を転用履, 環 部内面に朱付
72-9		CM12黄褐色砂	瓶窓器	高台付坏	(20.8)	(15.8)	(4.0)	回転ナデ, ナデ	密	良好	灰色	転用履, 底部外面磨
72-10		CL14東直溝 暗灰色砂	瓶窓器	高台付坏				静止糸切り, 回転ナデ	1mm大の砂粒を含 む	良好	灰色	内面磨
72-11		CL13暗灰色粘土 691122	瓶窓器	高台付坏		17.8		回転ナデ, ナデ	0.5～1mmの砂粒を 密に含む	良好	明灰色	転用履
72-12		CJ24黄褐色障 土691125	瓶窓器	高坏				回転ナデ, 回転ヘラケズリ	1mm以下の砂粒を 含む	良好	暗灰色	内面磨
72-13		69-70	瓶窓器	圓筒形面碗	(26.2)			回転ナデ, 同心円タケテ	1mm以下の砂粒を 含む	良好	青灰色	高部少し
72-14		69-70	瓶窓器	圓筒形面碗		22.1		ナデ, 歯直溝, 浅溝3条	1～2mmの砂粒を含む	良好	灰色	灰質, 長方形通し
72-15		暗褐色701201	瓶窓器	坏身		(4.2)		回転ナデ	密, 1mm以下の白・ 灰色砂粒を全体に 少し含む	良好	暗灰色	転用履, 外面磨痕, 内 外面磨痕, 灰質
72-16		69-70	瓶窓器	蓋				回転ナデ, ナデ	密, 1mm以下の白・ 灰色砂粒をまばら に含む	良好	明灰色	転用履, 大耳部磨痕・ 磨痕, 外面磨痕, 文具 状つまみ
72-17		69-70	瓶窓器	坏				回転ナデ	密, 0.5mm以下の白・ 灰色砂粒を全体に 少し含む	良好	明灰色	転用履, 内面磨
72-18		69-70	瓶窓器	高台付坏		(9.3)		回転ナデ, ナデ	2～3mm以下の砂粒 を含む	良好	青灰色	転用履, 高台外面・内 外面磨痕・磨痕
72-19		19611225	瓶窓器	臍字碗	ナデ			ナデ, 歯直溝	密	良好	灰色	内面磨痕・磨痕

第42表 1968~1970年度調査出土陶磁器分類表

種別	分類	種ノ口 地 區	一層底 地 區	六洲 地 區	京の埋蔵地					不明	計	種別	分類	種ノ口 地 區	一層底 地 區	六洲 地 區	京の埋蔵地					不明	計
					AZ	BSZ	CEZ	DEZ	JZ								AZ	BSZ	CEZ	DEZ	JZ		
白磁	磁石・初期				4							4	青磁	越前系系陶・赤			1	1					2
白磁	磁石・中期				4							4	青磁	越前系系小瓶			1	1					1
白磁	磁石・1期				9	1			3		13	青磁	越前系系陶・初期					4				1	3
白磁	磁石期				6	6	3				2	17	青磁	越前系系陶・1期			1						1
白磁	磁石期				3	1					4	青磁	越前系系陶・2期					1					1
白磁	磁石・2期				1	1					2	青磁	河安系系陶・1期			1	3	2			1		7
白磁	磁石期				4	2					6	青磁	河安系系陶・2期					1					1
白磁	磁石期				3	1	1	1	1		6	青磁	河安系系陶・1期					1					1
白磁	磁石・2期				1				1		2	青磁	河安系系陶			1	2	4				1	5
白磁	磁石期				2						2	青磁	河安系系陶				4	1	1				6
白磁	磁石・1期				1	1	2				4	青磁	藤										1
白磁	磁石・1期				1			2			3	青磁	龍泉系系陶・1期				2	1					3
白磁	磁石・2期				3		1	1			5	青磁	龍泉系系陶・1期				3	1					4
白磁	磁石期				10	5	3	3	3		24	青磁	龍泉系系陶・1期			10	12	2					4
白磁	磁石期						1				1	青磁	龍泉系系陶・2期			2	7	2	1	2		1	14
白磁	磁石・1期				1						1	青磁	龍泉系系陶				3						1
白磁	磁石・2期				1						1	青磁	龍泉系系陶・2期				1						1
白磁	磁石・2期							1			1	青磁	龍泉系系陶・2期			4	1	1				2	6
白磁	磁石期				2	2					4	青磁	龍泉系系陶・2期					2					2
白磁	磁石期				1	2					3	青磁	龍泉系系陶(期)				3	1				2	5
白磁	弘法赤面(平乳)				2	16	7	1	1		27	青磁	龍泉系系陶				1	1					1
白磁	磁石期				2	1					3	青磁	龍泉系系陶入形手				1						1
白磁	磁石期				4	21	16	7	1		49	青磁	龍泉系系陶(初期)										1
白磁	磁石・1期				2	19			1		22	青磁	龍泉系系陶				2	1					4
白磁	磁石期				12	3	80	58	15	7	127	100	青磁	龍泉系系陶+編入									1
白磁	磁石・1期				2						2	青磁	青磁陶				1						1
白磁	磁石期					1	1				2	青磁・白磁	不明				2						1
白磁	磁石・1期				1						1	青磁	青磁				1						1
白磁	磁石・1期				1	4	2				7	青白磁	陶・赤				2	1					3
白磁	磁石・1期・(類瓦)				1	1	1	1	1		5	青白磁	分子身				1						1
白磁	磁石・1期				1	1					2	青白磁	小池				1					1	2
白磁	磁石・1期				1						1	青白磁	小瓶				1						1
白磁	磁石・1期				1				1		2	青白磁	小瓶				1						1
白磁	磁石・1期				1						1	青白磁	瓶				1						1
白磁	磁石・1期				1						1	中国陶器	龍輪				5	2	1				8
白磁	磁石・2期				2	1	1				4	中国陶器	磁石				1						1
白磁	磁石・2期				4						4	中国陶器	磁石				4						1
白磁	磁石・2期				2						2	中国陶器	大口系陶				1						1
白磁	磁石・1期				1	1					2	中国陶器	磁石				1						1
白磁	磁石・7期							2			2	中国陶器	磁石				1	1					1
白磁	磁石・4期・(類瓦)				9	7	2				18	中国陶器	磁石						1				1
白磁	磁石期				11	5			1	2	19	中国陶器	磁石				3	3					6
白磁	磁石・1期				1						1	中国+朝鮮系	磁石				1						1
白磁	磁石期				1	3					4	灰陶器	灰陶器(類瓦)300				1						1
白磁	磁石期				2	2	1		1		6	灰陶器	灰陶器					5	1				6
白磁	磁石・1期				1						1	灰陶器	陶・磁				3				1	1	5
白磁	磁石・1期				2	3					5	灰陶器	灰陶器			1		10					1
白磁	磁石・1期				2						2	灰陶器	灰陶器+磁										1
白磁	磁石・1期										1	灰陶器	灰陶器				1		1				1
白磁	磁石・1期										1	山系陶+灰陶器	灰陶器										1
白磁	磁石期				1						1	結核陶器	灰				4	2	1			2	5
白磁	磁石期				3				1	4	結核陶器	灰				8	2	2	2	1		1	16
白磁	磁石期				1	4	3				2	10	結核陶器	灰									1
白磁	弘法赤面				7	1	1	1			10	結核陶器	磁				4	2					7
白磁	磁石赤面				9	59	57	10	6	3	137	137	結核陶器	磁									1
白磁	森田期				1	1	1				3	結核陶器	灰				1	3					4
白磁	森田期				1						1	結核陶器	香炉										1
白磁	白磁陶				2						2	結核陶器	磁				1						1
白磁	白磁期							1			1	結核陶器	陶									1	2
白磁	白磁期								1		1	結核陶器	不明				6	1		1		3	11
白磁	磁石				2						2	瓦器	伊勢										1
白磁	小瓶				1	1	1				3	日本陶器	奈良高田部				20	2	2				24
白磁	小瓶				1						1	日本陶器	大瓶/瓶										1
白磁	蓋				1						1	日本陶器	伊勢器										1
白磁	蓋								1		1	日本陶器	伊勢器										1
白磁	香・水注期前期				1	2					3	日本陶器	龍泉										3
白磁	香・水注期前期				46	27			1	2	76	日本陶器	龍泉										1
白磁	香・水注				1	4	1	2			8	日本陶器	龍泉										1
白磁	香器				1						1	日本陶器	龍泉										1
白磁	香器				4	2					6	日本陶器	陶器				1	1	1	1			5
白磁	磁石赤面				1			1			2	中国陶器	磁										2
白磁	小池系				1						1	近世陶器	陶										1
白磁	小池系				1	1					2	近世陶器	磁										1
白磁	磁石				1						1	不明陶器	不明										1
白磁	磁石				1	8	11	4			2	26	香				3	0	1	4	1	22	31
白磁	磁石				1	2	1	3			7												1
白磁	白磁				1	30	3	1	2	3	40												1
白磁	中国				1						1												1

第43表 1968～1970年度調査玉作関係遺物石材別・製作段階別集計表（補遺）

水晶	原石		変形				分割				割片・チップ		計		
	結晶体		線状		結晶体		線状		結晶体		割片・チップ		計		
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	
宮の後地区	A	1	48.22			3	38.14					1	2.09	5	88.45
	B			1	19.83									1	19.83
	C	3	68.98	4	228.25	8	332.74					1	8.86	3	21.99
	D														
不明					1	32.94			1	12.99				1	12.99
計	4	117.2	6	303.02	11	370.88	1	12.99	1	8.86	4	24.08	27	833.03	

碧玉	石核		素材片		印き石		割片・チップ		計		
	角礫		角礫		角礫		角礫		計		
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	
宮の後地区	A						2	10.76	2	10.76	
	B						1	20.68	1	20.68	
	C	2	182.25	1	20.9	1	153.28	8	149.91	12	525.34
	D										
不明											
計	2	182.25	1	20.9	1	153.28	11	181.35	15	556.78	

メノウ	原石		石核		割片・チップ		計		
	角礫		角礫		角礫		角礫		
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	
宮の後地区	A								
	B	1	16.17					1	16.17
	C	1	130.8	2	96.97	2	11.92	5	239.69
	D	1	10.29					1	10.29
不明									
計	3	157.26	2	96.97	2	11.92	7	266.15	

宮の後地区	黒色頁岩		素材		計	
	角礫		角礫		角礫	
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
A						
B						
C						
D						
J 69年						
不明					1	2.99
計					1	2.99

カド石	原石		割片・チップ		計		
	角礫		角礫		角礫		
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	
宮の後地区	A	1	63.43	1	7.11	2	70.54
	B			1	10.84	1	10.84
	C	2	244.43	1	8.1	3	252.53
	D						
不明	1	13.4			1	13.4	
計	4	321.26	3	26.05	7	347.31	

宮の後地区	サマカイト(宝山岩)		石核		計	
	角礫		角礫		角礫	
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
A						
B						
C	1	48.34	1	48.34		
D						
J 69年						
不明						
計	1	48.34	1	48.34		

宮の後地区	黒曜石		計	
	角礫		角礫	
	点数	重量(g)	点数	重量(g)
A				
B				
C				
D				
J 69年				
不明	6	14.15		
計	6	14.15		

宮の後地区	サマカイト(宝山岩)		計	
	角礫		角礫	
	点数	重量(g)	点数	重量(g)
A				
B				
C	1	293.12		
D				
J 69年				
不明				
計	1	293.12		

第44表 1968～1970年度調査出土金属器生産関係遺物観察表

検出番号	写真図録	出土遺構名	種類	胎土	色調	高さ(cm)	幅(cm)	重量(g)	備考	
65-4		F139遺構上 691124	削片	やや全量、3mm以下の砂粒を多く含む	灰褐色～灰藍色	(120)	(70)	(23)	4230	内径2.1cm、外径6.4cm、先端部に灰色～濃灰色のガラス質化層付着。胎状形成あり
65-5		F139遺構上 691124	削片	前、1.5mm以下の白・半透明色砂粒を多く含む	灰褐色～灰白色			(24)	570	内径(1.9)cm、先端部に灰色～淡緑色のガラス質化層付着。胎状形成あり
65-6		F139遺構上 691124	削片	胎、1mm以下の白色砂粒を多く含む	赤褐色～灰色			(18)	360	内径(1.6)cm

第45表 2006～2007年度調査出土金属器生産関係遺物集計表

地区遺構名	宮の後		非形状遺構		70号溝		71号溝	
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
H(□)	17	498.24						
磯化(△)	52	279.1	1	12.81	3	33.17		
磯口	14	261.21			3	111.20		
磯口先遺構物	88	256.93	1	2.60	4	10.43	1	0.52
埋蔵	1	10.39						

地区名	宮の後		穴形遺構					
	T46		T47		T49		T50	
	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
H(□)							1	129.30
磯化(△)			4	159.19	5	76.41	2	20.47
磯口	1	12.18	2	146.78				
磯口先遺構物	6	32.90	1	0.89			8	31.17
埋蔵								

第46表 環境整備事業出土瓦集計表

種別	年度および出土地点	1973年東武池袋線元工事			1973年南北線元工事			1974年京浜東北線			不明			
		破片数	張数	重量	破片数	張数	重量	破片数	張数	重量	破片数	張数	重量	
平瓦	雑草まわり	少タキ	1	1	1,010	1	0	160	1	0	300	0	0	0
		小計	1	1	1,010	1	0	160	1	0	300	0	0	0
		少タキ1	28	8	11,240	8	0	1,960	22	5	5,240	2	0	220
		少タキ2	0	0	0	0	0	0	1	0	300	0	0	0
		小計	28	8	11,240	8	0	1,960	23	5	5,540	2	0	220
		格子1	1	0	300	2	0	450	2	0	620	0	0	0
		格子2	0	0	0	0	0	0	1	0	120	0	0	0
		格子3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子4	0	0	0	0	0	0	1	0	340	0	0	0
		格子5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子7	1	0	440	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子12	1	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子15	1	0	200	0	0	0	1	0	200	0	0	0
		格子16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子17	0	0	0	0	0	0	1	0	400	0	0	0
		格子18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子19	1	0	1,040	0	0	0	2	0	560	0	0	0
		格子20	1	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		格子21	0	0	0	1	0	580	0	0	0	0	0	0
		不明(破片)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		不明(破片)	8	1	1,540	0	0	0	6	0	1,700	0	0	0
		小計	14	1	3,640	2	0	1,020	14	0	4,660	0	0	0
		浮行	1	0	640	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	1	0	640	0	0	0	0	0	0	0	0	0
欠スリ・ナデ	5	0	440	1	0	180	1	0	140	0	0	0		
小計	5	0	440	1	0	180	1	0	140	0	0	0		
少タキ不明(破片)	1	0	100	1	0	480	2	1	640	1	0	80		
少タキ不明(破片)	10	1	2,010	0	0	0	16	2	3,360	0	0	0		
小計	11	1	2,110	1	0	480	18	3	3,900	1	0	80		
合計	70	11	19,280	14	0	3,810	37	8	14,520	3	0	360		
丸瓦	有段式	瓦(破片)	1	0	20	0	0	0	1	1	60	0	0	
		瓦(破片)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計	1	0	20	0	0	0	1	1	60	0	0	
	無段式	瓦	1	1	100	0	0	0	3	3	460	0	0	
		小計	1	1	100	0	0	0	3	3	460	0	0	
	不明	破成破瓦	12	1	2,140	5	1	830	3	1	620	1	1	170
		破成破瓦	34	2	3,810	8	0	2,000	19	5	3,300	0	0	0
		小計	46	3	5,950	13	1	2,830	22	6	3,720	1	1	170
	瓦敷留壁(須磨器作り)	0	0	0	1	1	340	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	1	1	340	0	0	0	0	0	0	
合計	48	4	6,070	14	2	3,170	26	10	4,240	1	1	170		
溝瓦	短斗瓦	0	0	0	1	2	1,000	0	0	0	0	0	0	
	溝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	溝瓦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	溝切平瓦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	溝瓦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	1	2	1,000	0	0	0	0	0	0		
不明	0	0	0	0	0	0	1	0	40	1	0	40		